

大学院環境科学学院
年次報告書
平成27年度

目次

はじめに	1
I 組織	2
1 沿革	3
2 歴代研究科長, 学院長・研究院長	5
3 教員組織	6
4 事務組織	8
5 各種委員会	9
II 学生の受入	10
6 入学試験	11
7 学生定員と現員の推移	12
8 留学生数の推移と支援体制	15
III 教育活動	18
9 専攻・コース編成	19
10 カリキュラム編成	20
11 公開コースの開催	23
IV 成果	27
12 学位取得状況	28
13 研究成果発表状況	38
14 修了後の進路	88
V 補遺	90
15 規程	91
16 予算	100
17 安全管理	100
18 国際交流協定	101

はじめに

平成 27 年度の環境科学院の年次報告書を発行致します。

平成 27 年度は第 2 期中期目標期間の最終年度であり、第 2 期中期目標期間の現況調査票の作成・提出とともに、平成 28 年度から始まる第 3 期中期目標を提出しました。第 2 期では、教育の国際化と教育の質の向上に努めてきました。第 3 期では、第 2 期から進めてきた国際化のさらなる推進とともに、本学の強み・特色の 1 つである北極域に関する教育研究に対応するため、北極域研究センターの参画を得て、大学院の組織再編を行う計画です。組織再編へ向けての課題としては、若干回復の兆しも見られるものの、専攻・課程によっては、学生定員未充足も続いている点が挙げられます。その解決のためには、外部から見てさらに魅力的な、また、環境科学およびその基礎に関する学識ならびに応用力を備えた有為な人材を学界、産業界、教育界などに今よりもさらに多く輩出していけるような組織改編が必要です。特に、地球科学、生物科学、物質科学を基盤とする環境科学院は、それぞれの分野で最先端の教育研究を行うとともに総合科学である環境科学をこれら最先端同士が協力して推進できる体制を確立すること、また、異分野の研究者を組織化できる人材を育成し、修了生たちが将来にわたり学際科学推進のモデルとして参照できるような組織を目指すべきものと思っています。本報告書も、足下をしっかりと見つめながらそのような改革を進めていくための資料と致します。

北海道大学大学院環境科学院長
久保川 厚

I 組 織

1 沿革

大学院環境科学研究科

1977 (昭和 52) 年	4 月 1 日	大学院環境科学研究科が設置される
	4 月 1 日	環境計画学専攻修士課程, 環境構造学専攻修士課程, 社会環境学専攻修士課程, 環境保全学専攻修士課程が設置される
	4 月 1 日	環境計画学専攻博士後期課程が設置される
	4 月 1 日	環境構造学専攻博士後期課程が設置される
1979 (昭和 54) 年	4 月 1 日	社会環境学専攻博士後期課程, 環境保全学専攻博士後期課程が設置される
1980 (昭和 55) 年	3 月 10 日	管理棟・研究棟 (現在の A 棟)・実験棟 (6,898 m ²) 竣工
1987 (昭和 62) 年	10 月 17 日	大学院環境科学研究科創立 10 周年記念式典・祝賀会を開催
1988 (昭和 63) 年	2 月 20 日	大学院環境科学研究科創立 10 周年記念公開シンポジウムを開催

大学院地球環境科学研究科

1993 (平成 5) 年	4 月 1 日	大学院地球環境科学研究科が設置される
	4 月 1 日	地圏環境科学専攻 (修士課程, 博士後期課程), 生態環境科学専攻 (修士課程, 博士後期課程), 物質環境科学専攻 (修士課程, 博士後期課程) が設置される
	7 月 14 日	アメリカ合衆国・イリノイ大学大学院シカゴ校と部局間交流協定を締結
1994 (平成 6) 年	4 月 1 日	大気海洋圏環境科学専攻修士課程が設置される
1995 (平成 7) 年	3 月 16 日	インドネシア共和国・パランカラヤ大学と部局間交流協定を締結
1996 (平成 8) 年	2 月 9 日	イギリス・ノッティンガム大学と部局間交流協定を締結 (～2002 (平成 14) 年 2 月 6 日)
	4 月 1 日	大気海洋圏環境科学専攻博士後期課程が設置される
	12 月 2 日	研究棟 (現在の B 棟) (第一期 4,580 m ²) 竣工
1997 (平成 9) 年	10 月 17 日	ネパール連邦民主共和国・トリブバン大学科学技術研究科と部局間交流協定を締結
	11 月 17 日	中華人民共和国・蘭州大学資源環境学院と部局間交流協定を締結
1998 (平成 10) 年	1 月 16 日	マレーシア・サバ大学科学技術研究科と部局間交流協定を締結 (～ 2003 (平成 15) 年 1 月 15 日)
2000 (平成 12) 年	3 月 27 日	研究棟 (現在の C 棟) (第二期 5,282 m ²) 竣工
2003 (平成 15) 年	9 月 29 日	大学院地球環境科学研究科創立 10 周年記念シンポジウム・祝賀会を開催

大学院環境科学院

2005 (平成 17) 年	4 月 1 日	大学院地球環境科学研究院が設置される
	4 月 1 日	統合環境科学部門, 地球圏科学部門, 環境生物科学部門, 物質機能科学部門が設置される
	4 月 1 日	大学院環境科学院が設置される
	4 月 1 日	環境起学専攻 (修士課程, 博士後期課程), 地球圏科学専攻 (修士課程, 博士後期課程), 生物圏科学専攻 (修士課程, 博士後期課程), 環境物質科学専攻 (修士課程, 博士後期課程) が設置される
2006 (平成 18) 年	8 月 26 日	インドネシア共和国・パランカラヤ大学と大学間交流協定を締結
2007 (平成 19) 年	6 月 13 日	スイス連邦・スイス連邦工科大学チューリッヒ校と大学間交流協定を締結
2009 (平成 21) 年	12 月 24 日	講義棟 (614 m ²) 竣工
2010 (平成 22) 年	9 月 2 日	中華人民共和国・国立成功大学と部局間交流協定を締結
	10 月 24 日	ネパール連邦民主共和国・トリブバン大学と大学間交流協定を締結
	10 月 29 日	中華人民共和国・東南大学と大学間交流協定を締結

2011（平成23）年	4月1日	大学院地球環境科学研究院の分野を一部再編，大学院環境科学院のコースを一部再編
	4月13日	(株)星野リゾート・トマムとの間で連携協定を締結
	12月15日	環境中間支援会議・北海道との間で連携協定を締結
2012（平成24）年	5月31日	ドイツ連邦民主共和国・GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel と部局間交流協定を締結
	6月25日	中華民国・国立東華大学環境科学院と部局間交流協定を締結
	9月21日	(株)星野リゾート・トマム及び占冠村との間で連携協定を締結
2013（平成25）年	1月22日	アメリカ合衆国・ユタ大学大学院 ナノ研究所と部局間交流協定を締結
	7月29日	北海道コカ・コーラボトリング株式会社との間で連携協定を締結
2014（平成26）年	2月5日	マレーシア・サバ大学熱帯生物保全研究所と部局間交流協定を締結
	3月20日	インドネシア共和国・バンドン工科大学と大学間交流協定を締結
	9月29日	マレーシア・マレーシア大学テレンガヌ校と部局間交流協定を締結
2015（平成27）年	2月16日	ノルウェー・オスロ大学地球科学科と部局間交流協定を締結
	12月28日	中華人民共和国・香港科技大学理学院と部局間交流協定を締結
2016（平成28）年	3月17日	アメリカ合衆国・カリフォルニア大学サンディエゴ校スクリプス海洋研究所と部局間交流協定を締結

2 歴代研究科長，学院長・研究院長

職 名	氏 名	在 任 期 間
大学院環境科学研究科長	関 清 秀	1977 (昭和 52) 年 4 月 1 日～1979 (昭和 54) 年 3 月 31 日
	高 桑 栄 松	1979 (昭和 54) 年 4 月 1 日～1980 (昭和 55) 年 3 月 31 日
	明 道 博	1980 (昭和 55) 年 4 月 1 日～1982 (昭和 57) 年 3 月 31 日
	太 田 實	1982 (昭和 57) 年 4 月 1 日～1986 (昭和 61) 年 3 月 31 日
	伊 藤 浩 司	1986 (昭和 61) 年 4 月 1 日～1990 (平成 2) 年 3 月 31 日
	黒 柳 俊 雄	1990 (平成 2) 年 4 月 1 日～1992 (平成 4) 年 3 月 31 日
	小 島 豊	1992 (平成 4) 年 4 月 1 日～1993 (平成 5) 年 3 月 31 日
大学院地球環境科学研究科長	堀 浩	1993 (平成 5) 年 4 月 1 日～1995 (平成 7) 年 3 月 31 日
	戸 倉 清 一	1995 (平成 7) 年 4 月 1 日～1998 (平成 10) 年 3 月 31 日
	西 則 雄	1998 (平成 10) 年 4 月 1 日～2002 (平成 14) 年 3 月 31 日
	池 田 元 美	2002 (平成 14) 年 4 月 1 日～2005 (平成 17) 年 3 月 31 日
大学院環境科学院长長・ 大学院地球環境科学研究院长長	池 田 元 美	2005 (平成 17) 年 4 月 1 日～2007 (平成 19) 年 3 月 31 日
	岩 熊 敏 夫	2007 (平成 19) 年 4 月 1 日～2009 (平成 21) 年 3 月 31 日
	南 川 雅 男	2009 (平成 21) 年 4 月 1 日～2011 (平成 23) 年 3 月 31 日
	嶋 津 克 明	2011 (平成 23) 年 4 月 1 日～2013 (平成 25) 年 9 月 30 日
	久 保 川 厚	2013 (平成 25) 年 10 月 1 日～

3 教員組織

学院長 久保川 厚
副学院長 田中 俊逸
学院長補佐 大原 雅

27.4.1現在

専攻	コース	教授	准教授	講師	助教	助手
環境起学専攻 専攻長 山中 康裕	人間・生態システム	高田 壯則 露崎 史朗 渡邊 悌二	藤井 賢彦 石川 守 白岩 孝行 佐藤 友徳 根岸淳二郎		<u>川西 亮太</u>	
	環境適応科学	古月 文志	豊田 和弘 沖野 龍文		藏崎 正明	
	実践環境科学	山中 康裕	<u>島村 道代</u>			
	国際環境保全	田中 俊逸				
地球圏科学 専攻 専攻長 谷本 陽一	大気海洋 化学・ 環境変遷学	杉本 敦子 <u>吉川 久幸</u> <u>河村 公隆</u>	山本 正伸 鈴木 光次 山下 洋平 西岡 純 渡辺 豊 関 宰 亀山 宗彦		入野 智久 宮崎 雄三	
	雪氷・寒冷圏 科学	<u>藤吉 康志</u> 渡辺 力 グレーベ, ラフル・ギョ ンター	杉山 慎		石井 吉之 曾根 敏雄 的場 澄人 下山 宏 飯塚 芳徳	
	大気海洋物理 学・気候力学	久保川 厚 長谷部文雄 谷本 陽一 大島慶一郎 江淵 直人 三寺 史夫	藤原 正智 青木 茂 堀之内 武 深町 康 吉森 正和	中村 知裕	水田 元太 豊田 威信 川島 正行 松村 義正	

専攻	コース	教授	准教授	講師	助教	助手
生物圏科学 専攻 専攻長 柴田 英昭	生態系生物学	原 登志彦 福井 学	隅田 明洋 笠原 康裕 落合 正則		大舘 智志 小野 清美 小島 久弥 長谷川成明 寺島 美亜	
	生態遺伝学	<u>木村 正人</u> 大原 雅	鈴木 仁 三浦 徹			吉田 磨仁
	分子生物学	森川 正章	山崎 健一 三輪 京子		鷺尾 健司	
	植物生態学	甲山 隆司	工藤 岳		久保 拓弥	
	動物生態学		野田 隆史 小泉 逸郎			
	海洋圏科学	<u>平石 智徳</u> 門谷 茂	工藤 勲			
	水圏生物学	<u>上田 宏</u> 本村 泰三 山羽 悦郎 仲岡 雅裕 宮下 和士	宗原 弘幸 長里千香子 四ツ倉典滋 三谷 曜子		山本 潤 傳法 隆 伊佐田智規	
	森林圏環境学	佐藤 冬樹 日浦 勉 齊藤 隆 柴田 英昭 吉田 俊也	車 柱榮 門松 昌彦 植村 滋 揚妻 直樹 高木健太郎 内海 俊介 中路 達郎 岸田 治 中村 誠宏		野村 睦 福澤加里部 小林 真	
	耕地圏科学	荒木 肇 山田 敏彦	星野洋一郎 河合 正人		平田 聡之 三谷 朋弘	
環境物質科学 専攻 専攻長 八木 一三	生体物質科学	坂入 信夫 松田 冬彦	山田 幸司 梅澤 大樹		諸角 達也	
	ナノ環境材料	小西 克明 八木 一三 神谷 裕一	川口 俊一 廣川 淳 七分 勇勝		中田 耕 加藤 優	
	光電子科学	中村 貴義	野呂真一郎		久保 和也	
	環境触媒化学	<u>大澤 雅俊</u> 大谷 文章	叶 深 コワルスカ, エバ・カタルツ イーナ		本林 健太	

※ 斜体は特任教員・ゴシックは再雇用教員を示す。

4 事務組織

27.4.1 現在

環境科学事務部	担当	係長	主任	一般職員	契約職員等
事務長 宮内 政幸	総務	小島 将人	吉泉 綾	名取 晴香	梅原 美佳 (事務補佐員) 斉藤 利奈 (事務補助員)
	教務	山下 昌利 巽 貞信	伊藤 郁子	田原 啓司	高橋 由香 (事務補助員) 田辺よどみ (事務補助員)
	会計	富樫 弘	山田 睦代	佐藤 辰紀	本多 智子 (事務補助員)
	図書	長井 伸一			

研究院長室秘書	明戸 要枝 (事務補佐員)
---------	---------------

5 各種委員会

27.4.1現在

委員会名	環境起学	地球圏科学	生物圏科学	環境物質科学	副学院長 学院長補佐	職指定		事務選出 委員	事務所掌	備考
専攻長 会議	山中 康裕	谷本 陽一	柴田 英昭	八木 一三	副学院長 学院長補佐	学院長	専攻長		総務担当	申合 せて 明記
学院人事 委員会	山中 康裕	谷本 陽一	柴田 英昭	八木 一三	副学院長 学院長補佐	学院長	専攻長		総務担当	
教務 委員会	石川 守	渡辺 豊	鈴木 仁	神谷 裕一	副学院長 学院長補佐	学院長	全学教 務委員 会委員		教務担当	内規 で 明記
入学試験 委員会	山中 康裕	谷本 陽一	柴田 英昭	八木 一三	副学院長 学院長補佐	学院長	専攻長		教務担当	内規 で 明記
点検評価 委員会	山中 康裕	谷本 陽一	柴田 英昭	八木 一三	副学院長 学院長補佐	学院長	専攻長	事務長	総務担当	内規 で 明記
将来計画 委員会	山中 康裕	谷本 陽一	柴田 英昭	八木 一三	副学院長 学院長補佐	学院長	専攻長		総務担当	
安全管理 委員会	山中 康裕	谷本 陽一	柴田 英昭	坂入 信夫	副学院長 学院長補佐	学院長	専攻長	事務長	会計担当	
広報 委員会	高田 壯則	亀山 宗彦	長谷川成明	梅澤 大樹		学院長			総務担当	
WEB サイト 管理 委員会	佐藤 友徳 露崎 史朗	山下 洋平 松村 義正	吉田 鷹仁 久保 拓弥	梅澤 大樹 七分 勇勝					総務担当	
学生 委員会	露崎 史朗	谷本 陽一	三輪 京子	小西 克明	学院長補佐	全学学 生委員 会委員			教務担当	内規 で 明記
留学生 委員会	根岸淳二郎	長谷部文雄	工藤 岳	坂入 信夫	副学院長 学院長補佐	学院長			教務担当	内規 で 明記
コース 代表教員	露崎 史朗 豊田 和弘 山中 康裕 石川 守	西岡 純 三寺 史夫 渡辺 力	福井 学 三浦 徹 森川 章 甲山 正 野田 隆 門田 司 仲谷 史 齊藤 茂 荒木 裕 藤木 隆 肇	坂入 信夫 小西 克明 中村 貴 大谷 義 文章						

Ⅱ 学生の受入

6 入学試験

平成27年度

特別推薦入試：修士課程（博士前期課程）環境物質科学専攻

平成26年 5月26日（月）

秋季入試：博士後期課程

平成26年 8月25日（月）

26日（火）

修士課程（博士前期課程）

平成26年 8月25日（月）

26日（火）

秋季推薦／特別入試：修士課程（博士前期課程）

平成26年10月27日（月）

春季入試：博士後期課程

平成27年 2月26日（木）

修士課程（博士前期課程）

平成27年 2月26日（木）

2月27日（金）

10月入学入試：博士後期課程

平成27年 8月24日（月）

25日（火）

修士課程（博士前期課程）

平成27年 8月24日（月）

25日（火）

入試説明会

第1回

平成26年 5月24日（土）

25日（日）

27日（火）

第2回

平成26年10月26日（日）

28日（火）

第3回

平成26年12月 9日（火）

7 学生定員と現員の推移

7-1 入学定員

① 博士後期課程

(単位：人)

専攻	定員数
環境起学専攻	15
地球圏科学専攻	14
生物圏科学専攻	23
環境物質科学専攻	11
計	63

② 修士課程（博士前期課程）

(単位：人)

専攻	定員数
環境起学専攻	44
地球圏科学専攻	35
生物圏科学専攻	52
環境物質科学専攻	28
計	159

7-2 入学者数

① 博士後期課程

(単位：人(％))

専攻	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
環境起学専攻	13 (87%)	21 (140%)	7 (47%)	11 (73%)	9 (60%)	12 (80%)
地球圏科学専攻	11 (79%)	10 (71%)	10 (71%)	7 (50%)	7 (50%)	11 (79%)
生物圏科学専攻	18 (78%)	14 (61%)	16 (70%)	18 (78%)	18 (78%)	18 (78%)
環境物質科学専攻	6 (55%)	10 (91%)	9 (82%)	9 (82%)	4 (36%)	9 (82%)
計	48 (76%)	55 (87%)	42 (67%)	45 (71%)	38 (60%)	50 (79%)

② 修士課程 (博士前期課程)

(単位：人(％))

専攻	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
環境起学専攻	20 (45%)	35 (80%)	26 (59%)	23 (52%)	35 (80%)	42 (96%)
地球圏科学専攻	26 (74%)	35 (100%)	20 (57%)	27 (77%)	18 (51%)	31 (89%)
生物圏科学専攻	43 (84%)	54 (104%)	55 (105%)	41 (79%)	48 (92%)	69 (133%)
環境物質科学専攻	24 (86%)	32 (114%)	34 (121%)	39 (139%)	34 (121%)	24 (86%)
計	113 (71%)	156 (98%)	135 (85%)	130 (82%)	135 (85%)	166 (104%)

(注1) () は、入学定員に対する充足率を示す。

(注2) 10月入学者数を含む。

7-3 在籍者数

① 博士後期課程

(単位：人)

専攻	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
環境起学専攻	31	39	47	48	39	43
地球圏科学専攻	43	45	49	40	39	39
生物圏科学専攻	60	64	57	61	57	65
環境物質科学専攻	22	28	28	32	25	28
計	156	176	181	181	160	175

② 修士課程 (博士前期課程)

(単位：人)

専攻	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
環境起学専攻	63	66	64	55	58	75
地球圏科学専攻	55	62	58	50	47	51
生物圏科学専攻	88	99	110	102	88	119
環境物質科学専攻	53	55	68	75	79	61
計	259	282	300	282	272	306

(注) 各年度 5 月 1 日現在の数

8 留学生数の推移と支援体制

8-1 留学生数（全体）

① 博士後期課程

（単位：人）

専攻	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
環境起学専攻	9	18	21	21	17	23
地球圏科学専攻	13	15	16	14	16	15
生物圏科学専攻	9	15	14	12	9	11
環境物質科学専攻	8	10	12	13	9	10
計	39	58	63	60	51	59

② 修士課程（博士前期課程）

（単位：人）

専攻	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
環境起学専攻	5	7	12	14	18	37
地球圏科学専攻	3	4	3	1	0	4
生物圏科学専攻	4	3	3	5	7	12
環境物質科学専攻	6	5	2	3	7	6
計	18	19	20	23	32	59

（注）各年度 5 月 1 日現在の数

8-2 留学生数（国別）

（単位：人）

地域	日本語による 国名・地域名	留学生数	
		博士後期	修士
アジア	インド	3	
	インドネシア	5	5
	韓国	4	3
	タイ	1	
	ベトナム	3	1
	台湾	1	1
	中国	21	37
	ネパール	2	
	バングラデシュ	3	1
	フィリピン	4	
	マレーシア		1
	モンゴル	4	1
アフリカ	ガーナ	1	
	ギニア	1	
	ケニア		2
	ナイジェリア		
	モザンビーク		1
	エジプト	1	1
	マダガスカル	1	
北米	アメリカ	1	
	カナダ		1
	ホンジュラス		1
ヨーロッパ	フランス	1	
	ギリシャ		1
	ドイツ	1	
	ハンガリー	1	
	ロシア		1
オセアニア	ソロモン諸島		1
計		59	59

（注）平成27年5月1日現在の数

8-3 留学生の支援体制

(1) 英語プログラム (EPEES: English Program of Environmental Earth Science for a Sustainable Society) による留学生の受入

平成26年度より現地面接等による渡日前入学制度を導入している。平成27年10月に9名（修士課程5名、博士後期課程3名）が入学した。

(2) アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (ABEイニシアティブ) 「修士課程およびインターンシップ」プログラム推奨コースの設定

JICAが設定する審査様式や選考日程に沿って、留学生の募集・選考（大学情報の作成や書類審査とテレビ会議による面接）を実施し、平成27年10月に研究生2名が入学した。

(3) 北海道大学私費外国人留学生特待プログラムによる博士後期課程学生の支援

北海道大学が入学金・学費相当額を支援、受入れ研究者が年間100万円を超える研究補助員経費を負担する制度により、8名（継続7名、新規1名）の私費留学生を受入れた。年度末に研究発表会を行った。地球環境科学研究院では、毎年2名相当分（年間600万円強）について教員共通経費を充てる制度を設けている。

(4) 平成27年度部局評価に基づく資源の再配分事業による留学生の受入

「グローバル社会の環境保全を担う協定受入型統合環境科学の次世代育成プログラム」として、12名の留学生を受け入れた。

(5) 大学の世界展開力強化事業 PARE プログラムによる特別聴講学生の受入

「人口・活動・資源・環境の負の連鎖を転換させるフロンティア人材育成プログラム」として環境科学院を含む複数の部局が参加し、本学院では5名の留学生を受け入れた。

(6) 大学の世界展開力強化事業 RJE3 プログラムによる特別聴講学生の受入

極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する専門家集団を育成する取組みとして、本学院では2名の留学生を受け入れた。

Ⅲ 教育活動

9 専攻・コース編成

環境起学専攻（4コース）

人間・生態システムコース
環境適応科学コース
実践環境科学コース
国際環境保全コース

地球圏科学専攻（3コース）

大気海洋化学・環境変遷学コース
雪氷・寒冷圏科学コース
大気海洋物理学・気候力学コース

生物圏科学専攻（9コース）

生態系生物学コース
生態遺伝学コース
分子生物学コース
植物生態学コース
動物生態学コース
海洋圏科学コース
水圏生物学コース
森林圏環境学コース
耕地圏科学コース

環境物質科学専攻（4コース）

生体物質科学コース
ナノ環境材料コース
光電子科学コース
環境触媒化学コース

10 カリキュラム編成

修了要件

修士課程：必修科目12単位を含み、合計30単位以上修得することを修了の要件とする。ただし、環境物質科学専攻においては、必修科目18単位、選択必修科目から8単位以上を含み、合計30単位以上を修得すること。なお、環境物質科学実習Ⅰ及び環境物質科学Ⅱの単位は、修了に必要な単位数に算入することができない。

博士後期課程：必修科目12単位を修得すること。

環境起学専攻

修士課程

(必修科目)

- ・ 環境起学論文講読Ⅰ 4単位
- ・ 環境起学特別研究Ⅰ 8単位

(選択科目) ※基礎論・総論・特論・特別講義は2単位

- ・ 環境科学基礎論 国際環境保全学総論 自然環境学総論 環境解析学総論 環境適応学総論 実践環境科学総論Ⅰ 実践環境科学総論Ⅱ 環境汚染比較特論 地生態資源学特論 気候変動影響特論 生態解析学特論 水循環学特論 環境情報地理学特論 水資源学特論 流域環境学特論 保全生態学特論 環境保全学特論 寒冷陸圏環境学特論 環境適応学特論 環境計量学特論 実践環境科学特論 国際科学コミュニケーション法特論 環境科学英語ライティング特論
- ・ 環境起学特別講義Ⅰ 環境起学特別講義Ⅱ 環境起学特別講義Ⅲ
- ・ 環境解析法演習Ⅰ(2単位) 環境解析法演習Ⅱ(2単位) 山岳環境観測法実習(4単位) 統合自然環境調査法実習(2単位) 統合環境地理調査法実習(4単位) 統合環境分析法実習(4単位) 実践環境科学演習Ⅰ(1単位) 実践環境科学演習Ⅱ(1単位) 実践環境科学実習Ⅰ(1単位) 実践環境科学実習Ⅱ(1単位) 実践環境科学インターンシップⅠ(2単位) 実践環境科学インターンシップⅡ(2単位)

博士後期課程

(必修科目)

- ・ 環境起学論文講読Ⅱ 4単位
- ・ 環境起学特別研究Ⅱ 8単位

地球圏科学専攻

修士課程

(必修科目)

- ・ 地球圏科学論文講読Ⅰ 4単位
- ・ 地球圏科学特別研究Ⅰ 8単位

(選択科目) ※基礎論・特論・特別講義は2単位

- ・ 古環境学基礎論 地球雪氷学基礎論 大気海洋物理学基礎論 大気海洋化学基礎論

- ・古海洋学特論 対流圏化学特論 陸圏物質循環学特論 古気候変動学特論 大気圏化学特論 化学海洋学特論 海洋生物地球化学特論 環境分析化学特論 生物地球科学特論 氷河・氷床学特論 雪氷水文学特論 寒冷圏気象・気候学特論 理論雪氷学特論 大気環境科学特論 極域海洋学特論 大気力学特論 海洋力学特論 気候変動特論 気候モデリング特論 地球流体力学特論 大気海洋解析法特論 遠隔情報学特論
- ・地球圏科学特別講義Ⅰ 地球圏科学特別講義Ⅱ 地球圏科学特別講義Ⅲ 地球圏科学特別講義Ⅳ
- ・地球圏科学演習Ⅰ（4単位） 地球圏科学演習Ⅱ（4単位） 地球圏科学実習Ⅰ（4単位）
地球圏科学実習Ⅱ（4単位） 地球雪氷学実習Ⅰ（2単位） 地球雪氷学実習Ⅱ（2単位）

博士後期課程

（必修科目）

- ・地球圏科学論文講読Ⅱ 4単位
- ・地球圏科学特別研究Ⅱ 8単位

生物圏科学専攻

修士課程

（必修科目）

- ・生物圏科学論文講読Ⅰ 4単位
- ・生物圏科学特別研究Ⅰ 8単位

（選択科目） ※基礎論・特論・特別講義は2単位

- ・多様性生物学基礎論 生態学基礎論 分子生物学基礎論 海洋生物環境学基礎論 フィールド科学基礎論 生物生産学基礎論
- ・多様性生物学特論Ⅰ 多様性生物学特論Ⅱ 生態遺伝学特論Ⅰ 生態遺伝学特論Ⅱ 環境分子生物学特論Ⅰ 環境分子生物学特論Ⅱ 植物生態学特論Ⅰ 植物生態学特論Ⅱ 動物生態学特論Ⅰ 動物生態学特論Ⅱ 海洋生物圏環境科学特論Ⅰ 海洋生物圏環境科学特論Ⅱ 水圏科学特論Ⅰ 水圏科学特論Ⅱ 森林圏科学特論Ⅰ 森林圏科学特論Ⅱ 森林圏科学特論Ⅲ 森林圏科学特論Ⅳ 耕地圏科学特論Ⅰ 耕地圏科学特論Ⅱ
- ・生物圏科学特別講義Ⅰ 生物圏科学特別講義Ⅱ
- ・生物圏科学実習Ⅰ（4単位） 生物圏科学実習Ⅱ（4単位） フィールド科学特別実習Ⅰ（1単位） フィールド科学特別実習Ⅱ（1単位）

博士後期課程

（必修科目）

- ・生物圏科学論文講読Ⅱ 4単位
- ・生物圏科学特別研究Ⅱ 8単位

環境物質科学専攻

修士課程

（必修科目）

- ・環境物質科学論文講読Ⅰ 4単位
- ・環境物質科学特別研究Ⅰ 8単位
- ・環境物質科学基礎論Ⅰ 環境物質科学基礎論Ⅱ 環境物質科学基礎論Ⅲ 各2単位

(選択必修科目) 各 2 単位

- ・ 分子環境学特論Ⅰ 生体物質化学特論Ⅰ 生体物質化学特論Ⅱ ナノ環境材料化学特論Ⅰ
ナノ環境材料化学特論Ⅱ ナノ環境材料化学特論Ⅲ 光電子科学特論Ⅰ 光電子科学特論
Ⅱ 環境触媒化学特論Ⅰ 環境触媒化学特論Ⅱ

(選択科目) ※実習は 4 単位, 特論は 2 単位, 特別講義は 1 単位

- ・ 分子環境学特論Ⅱ 分子環境学特論Ⅲ
- ・ 環境物質科学特別講義Ⅰ 環境物質科学特別講義Ⅱ 環境物質科学特別講義Ⅲ 環境物質
科学特別講義Ⅳ
- ・ 環境物質科学実習Ⅰ 環境物質科学実習Ⅱ

博士後期課程

(必修科目)

- ・ 環境物質科学論文講読Ⅱ 4 単位
- ・ 環境物質科学特別研究Ⅱ 8 単位

環境科学院共通科目

修士課程

(選択科目)

- ・ 環境科学総論 (2 単位)
- ・ 国際環境科学実習Ⅰ (1 単位) 国際環境科学実習Ⅱ (1 単位) 国際環境科学研究Ⅰ (2
単位) 国際環境科学研究Ⅱ (2 単位)

博士後期課程

(選択科目)

- ・ 国際環境科学特別研究Ⅰ (2 単位) 国際環境科学特別研究Ⅱ (2 単位) 国際環境科学特
別研究Ⅲ (2 単位)

1 1 公開コースの開催

1 1 - 1 平成 27 年度 大学の世界展開力強化事業 PARE プログラム

本プログラムは文部科学省が行う大学の世界展開力強化事業の一つであり、北海道大学の農学院、環境科学院、工学院、水産科学院、情報科学研究科およびサステナビリティ学教育研究センターが共同で申請・採択され、平成 24 年 10 月より開始した事業である。その目的は、アジアの発展途上国で起こっている、人口・活動・資源・環境システム（PARE : Populations - Activities - Resources - Environments）の負の連鎖を正に転換させ、国際的かつ分野横断的に共働できる「フロンティア人材」を育成することにある。すなわち、「フィールド研究力、多様性容認力、開拓力、課題解決力」の 4 つの力を持ち、国際的な視野を持って活躍できるフロンティア人材育成を目指すものであり、今後 2 年間継続し、本学院では主にインドネシアのガジャマダ大学（化学、農学分）とタイのカセサート大学（工学分野）との間で双方向交流し、年間数名の学生の受け入れと派遣を行う。

平成 27 年度は、6～8 月に PARE 基礎論が開講されるとともに、8 月には、タイとインドネシアの学生も参加してサマースクールが本学で開催された。本学院からは、PARE 基礎論に 21 名、サマースクールに 5 名の修士課程学生が参加し、単位を取得した。また、8 月からはインドネシアのバンドン工科大学から 1 名、タイのカセサート大学から 1 名、10 月からはインドネシアのガジャマダ大学から 3 名を、6 か月の間受け入れた。また、3 月にはスプリングスクールがタイのカセサート大学で開催され、本学院の修士課程学生 3 名が参加した。

1 1 - 2 平成 27 年度 留学生交流支援制度（短期受入れ・短期派遣）

環境科学院が平成 27 年度に申請・採択された留学生交流支援制度（短期受入れ・短期派遣）プログラム（日本学生支援機構（JASSO）がサポート）「国際ネットワークにもとづく学生短期受け入れ型／派遣型フィールド環境科学の次世代育成プログラム」が実施された。このプログラムは、地球温暖化など地球規模の環境変化に対して脆弱な地域において生じている環境変化に対処しうる、高度な専門知識と観測技術や分析技術を有し、グローバル社会において活躍できる人材の育成を目的としている。

受入れ型においては、(1) 国際フィールド演習、(2) 国際ラボ実習のサブプログラムを実施し、ロシア北東連邦大学、タイのカセサート大学、モンゴル国立農業大学、国立台湾大学等より学生を受け入れた。また、派遣型においては、(1) 南極大学、(2) 北極圏大学等においてフィールドにおける実習を実施し、海外の協定大学に本学院の学生を派遣した。

1 1 - 3 南極学カリキュラム

南極学カリキュラムでは、極地や寒冷圏の環境や生態系について総合的に学ぶ教育プログラムを提供している。平成27年度は基幹をなすプログラムとして、南極学特別講義2科目と南極学特別実習4科目を開講し、カリキュラム修了者への修了証書（Diploma of Antarctic Science）授

与を行った。環境科学院の他、学内から多彩な分野の大学院生が各プログラムを受講し、学生間交流や幅広い知識獲得の機会となっている。

本カリキュラムは、極域科学教育に関する国際的な枠組みである国際南極大学 (International Antarctic Institute) の一翼を成すものであり、国立極地研究所、神戸大学、ETH、ブレーメン大学、タスマニア大学など国内外の研究機関と連携して、国際的な環境教育・研究を推進するものである。

過去4年間の各講義履修者数、および南極学修了証書の取得者数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
南極学特別講義I	61	54	49	34
南極学特別講義II	17	11	8	17
南極学特別実習I	11	9	9	10
南極学特別実習II	実施せず	15	実施せず	9
南極学特別実習III	57	31	31	36
南極学特別実習IV	5	8	8	14
南極学修了証書	10	7	5	2

1 1 - 4 公開ラボ実習

公開ラボ実習は、グローバルCOEプログラム「統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成」が主催して開始したもので、学生や若手研究者に対して、分析技術実習および周辺学問分野の講義を行うものである。平成27年度は下記の安定同位体実習を実施した。参加者は全国の大学院・大学に対して公募し、実習は英語と日本語で実施した。海外からの参加者および留学生交流支援制度（ショートステイ、ショートビジット）参加者も受講した。

安定同位体実習：平成27年11月9日～13日、北海道大学教育交流支援事業およびJASSO海外留学支援事業・短期派遣支援の短期受け入れ事業としてのプログラムは11月7日に開始、応募者は19名、参加者15名（うち環境科学院研究生2名・特別聴講学生2名を含む学生8名）。学内からは農学研究院から1名、理学院から1名、理学部から1名、学外からは国立極地研から1名、モンゴル国立農業大学から2名、ロシア北東連邦大学から1名が参加した。

1 1 - 5 大気と海洋と雪氷に関するスプリングスクール

環境科学院は母体となる学部を持たない独立大学院のため、本学院の大学院生が学部学生とつき合う機会は限られているが、このスプリングスクールの実施を通して学部学生の研究を指導する経験を大学院生に積ませ、将来、研究プロジェクトを立案・遂行可能な研究者を養成することを目的とする。また、学部学生にとっても、地球環境科学の研究の最前線を体験し、成果をまとめて発表する手法を学んでもらうとともに、本学院を知ってもらい、将来の環境科学

研究を担う若手として成長を促すことも目的とした。

平成 27 年度は、平成 28 年 3 月 8 日（水）から 11 日（土）にかけて、「大気と海洋と雪氷に関するスプリングスクール 2016」を北海道大学札幌キャンパス・環境科学院にて開催した。参加者は、日本大学（複数学部）、山形大学、神戸大学、琉球大学、高知工科大学、茨城高専、苫小牧高専、旭川高専、水産大学校の 16 名で、文字通り全国の国公立の大学から参加があった。

本スプリングスクールでは、教員による大気と海洋と雪氷の概論に関する講義を受講したあと、体験プログラムを実施する内容とした。体験プログラムは以下の 3 コースを参加者全員が受講した。

「雪のプロフィールを調べてみよう」

「冬の植物の炭素同位体を測ってみよう」

「低気圧とジェット気流をシミュレーションしてみよう」

どのコースにおいても、参加者はとても積極的で、主催者の当初の予想以上に熱心に取り組み、コース毎のグループ発表では熱心な討議が行われた。参加者の意欲が高かったことに加え、大学院生による準備が丁寧に練り上げたものだったことが、相乗効果として大きな盛り上がりになったと考えている。修了式において参加者全員に修了書を授与した。

1 1 - 6 平成 27 年度 大学の世界展開力強化事業 RJE3 プログラム

本プログラムは文部科学省が行う大学の世界展開力強化事業の一つであり、環境科学院、工学院、文学研究科、農学院、理学院が中心となって申請し、平成 26 年 10 月より開始した事業である。

ロシアの基幹 5 大学（ウラジオストクの極東連邦大学、ヤクーツクの北東連邦大学、ユジノサハリンスクのサハリン国立大学、ハバロフスクの太平洋国立大学、イルクーツクのイルクーツク国立大学）と北海道大学の複数大学院、北海道や極東ロシアの自治体、産業界の代表などで構成されるコンソーシアム（East Russia-Japan Expert Education Consortium, 以下 RJE3 コンソーシアム）を構築し、極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する人材を育成することを目的としている。

平成27年度は、下記の実習と集中講義を大学院共通講義として実施した。

- (1) RJE3 ヤクーツク野外実習（平成 27 年 8 月 4 日～13 日）：RJE3 基礎科目の実習として大学院共通講義として実施した。本学院から 4 名、農学院から 2 名、生命科学院から 1 名、工学院から 1 名、理学部から 1 名の北大から計 9 名とロシア北東連邦大学から 5 名の学生が参加した。本学院から 2 名の教員が現地に赴き、講義・実習を分担した。永久凍土生態系に関する講義の他、参加者は 4 つのグループに分かれてミニ研究プロジェクトを実施し、最終日に成果発表会を実施した。
- (2) RJE3 基礎科目（平成 27 年 8 月 24 日～31 日）：上記のヤクーツク野外実習への参加者に、ロシアの他の 4 大学から計 20 名と本学から 10 名を加え、総計ロシア 5 大学から 25 名と本学から 19 名が参加した。参加学生は、北海道・極東・北極圏の歴史と文化、自然環境、生活環境と地域開発、経済・国際関係についての講義を受講し、5 つのグループに分かれてそれぞれ 2 つのトピックスを選択肢それらについてグループ討論を行い、最終日にそ

のまとめを発表した。

- (3) **RJE3** 専門科目：基礎科目に参加したロシアからの学生のうち 10 名が本学に半年間滞在し、専門科目の講義を履修した。本学院には 2 名（北東連邦大学とイルクーツク国立大学からそれぞれ 1 名）の学生が滞在した。

IV 成 果

1 2 学位取得状況

1 2 - 1 博士論文題目一覧

環境起学専攻

- Evaluation of the effect of snow cover on the winter urban heat island in Sapporo city, Japan (積雪被覆が札幌市の冬季ヒートアイランドに与える影響の評価) 森 佳祐 (人間・生態システムコース)
- Studies on changes of vegetation cover of pasturelands in the eastern Alai Valley, Kyrgyzstan (キルギスタン, アライ谷東部における放牧地の植生被覆変化に関する研究) 刘 洁 (人間・生態システムコース)
- Statistical and numerical study of hot extremes in Mongolia: possible contribution of soil moisture to the recent increase in heat waves (モンゴルにおける極端高温に関する統計解析と数値実験: 近年の熱波増加に対する土壌水分の寄与の可能性) Erdenebat Enkhbat (人間・生態システムコース)
- A study of biological significance and toxicity of short-chain nonylphenol ethoxylates (短鎖ノニルフェノールエトキシレートの生物学的意義および毒性に関する研究) 劉 闢 (環境適応科学コース)
- Development of magnetic separation using modified magnetic chitosan for removal of pollutants in solution (溶液中の汚染物質除去のための修飾マグネティックキトサンを用いた磁性分離法の開発) Sakti Satya Candra Wibawa (環境適応科学コース)
- Sustainable forest management and bioenergy expansion-A multi-scale approach from global to local (持続可能な森林管理とバイオマスエネルギーの拡大—全球から地域までの多規模アプローチ) Florian Kraxner (論文博士)

地球圏科学専攻

- 海氷がオホーツク海の鉄供給及び植物プランクトンの増殖に果たす役割の解明 (Iron supply processes associated with sea ice and their roles in stimulating phytoplankton growth in the Sea of Okhotsk) 漢那 直也 (大気海洋化学・環境変遷学コース)
- HF ocean radar applications to estimation of wind drift current and measurement of sea ice drift velocity in the southern Sea of Okhotsk (短波海洋レーダを応用したオホーツク海南部における吹送流の推定および海氷漂流速度の計測) 張 偉 (大気海洋物理学・気候力学コース)
- A mechanism of ice-band pattern formation caused by resonant interaction between sea ice and internal waves (海氷と内部波の共鳴相互作用によるアイスバンド形成機構) 佐伯 立 (大気海洋物理学・気候力学コース)
- Ice front variations and velocity changes of calving glaciers in the Southern Patagonia Icefield and northwestern Greenland (南パタゴニア氷原およびグリーンランド北西部におけるカービング氷河の末端変動と流動変化) 榊原 大貴 (雪氷・寒冷圏科学コース)
- Geochemical study on low molecular weight dicarboxylic acids and related compounds in the marine aerosols from the Pacific Ocean (太平洋エアロゾル中の低分子ジカルボン酸と関連有機物に関する地球化学的研究) Mir Md. Mozammal Hoque (論文博士)
- Numerical study of a thick snow band along the Okhotsk Sea coast of Hokkaido Island, Japan (北海道オホーツク海沿岸に出現する降雪帯の数値的研究) Yakkala Yagnesh Raghava (論文博士)
- Ocean surface emissivity modeling in microwave radiance assimilation for numerical weather prediction (数値天気予報のためのマイクロ波放射輝度同化における海面射出率のモデル化) 計盛

正博 (論文博士)

生物圏科学専攻

Phylogenetic and functional analysis of novel bacteria isolated from aquatic environment (水圏環境から分離した新規細菌の系統分類と機能解析) 渡邊 美穂 (生態系生物学コース)

Ecological genetic studies on intraspecific variation and evolution of reproductive systems in *Viola brevistipulata* (オオバキスミレにおける繁殖様式の種内変異と集団分化に関する生態遺伝学的研究) 速水 将人 (生態遺伝学コース)

Architecture and dynamics of two bamboo species in comparison with co-occurring woody trees in a Malaysian hill rainforest (共存樹木と比較したマレーシア丘陵多雨林のタケ二種の形態と動態) 藤沼 潤一 (植物生態学コース)

北海道日本海海域におけるホッコクアカエビの資源評価と資源管理方策に関する研究 (Studies on stock assessment and management procedures for northern shrimp *Pandalus eous* in the Sea of Japan, off Hokkaido) 山口 浩志 (水圏生物学コース)

Variation in community structure of seagrass macrofauna across multiple spatial scales (多重空間スケールに沿った海草藻場マクロファウナの群集構造の変異) Venus Empron Leopardas (水圏生物学コース)

Phenotypic diversity and ecology in salmonid fishes: focusing on the effects of migration costs and hatchery stocking (サケ科魚類の表現型レベルの多様性と生態: 回遊コストとふ化放流事業の影響に着目して) 佐橋 玄記 (水圏生物学コース)

ホッケ道北群資源の評価手法構築に関する研究 (Studies on development of stock assessment procedures for Northern Hokkaido stock of Arabesque greenling *Pleurogrammus azonus*) 高嶋 孝寛 (水圏生物学コース)

Molecular ecology of cold adaptations in the family Cottidae focused on type I antifreeze proteins (不凍タンパク質に着目したカジカ科魚類の寒冷地適応に関する分子生態学的解明) 山崎 彩 (水圏生物学コース)

環境物質科学専攻

Cobalt oxide(Co_3O_4) as an active and selective catalyst for catalytic ozonation of ammonia nitrogen in water (水中アンモニアに高い活性と選択性を示す酸化コバルト触媒) Lina Mahardiani (ナノ環境材料コース)

地下水中の硝酸イオンを高選択的に窒素へと光分解するタンデム型反応系の構築 (Development of tandem type reaction system for highly selective photocatalytic reduction of nitrate to nitrogen in groundwater) 平山 純 (ナノ環境材料コース)

Structural investigation of polyoxometallates self-assembled architectures induced by crown ether supramolecular cations (クラウンエーテル超分子カチオンに誘起されるポリオキソメタレート own 自己集積化構造に関する研究) 熊 俊 (光電子科学コース)

超分子カチオンの導入による $[\text{MnCr}(\text{oxalate})_3]$ -錯体結晶の複合物性開拓 (Investigation of multifunctionality in $[\text{MnCr}(\text{oxalate})_3]$ - crystals by introducing supramolecular cations) 吉竹 理 (光電子科学コース)

Electrochemical interface in fuel cell reactions (燃料電池反応中の電気化学界面) 兒玉 健作 (論文博

士)

PEG修飾半導体性クラスターの水中における光学特性と応答挙動 (Optical properties and response behaviors of PEG-modified semiconductor clusters in water) 福永 直人 (論文博士)

12-2 修士論文題目一覧

環境起学専攻

- 沿岸域の基礎生産に与える河川の影響評価 浅野 芳治 (人間・生態システム)
- 登山道侵食の3次元計測手法の開発と大雪山国立公園におけるその適用 石川 正樹 (人間・生態システム)
- 砂礫堆の徘徊性節足動物に対するフラッシュ放流の影響～空間分布と機能の応答～ 今井 悠 (人間・生態システム)
- 全国一級河川における河床の経時変化及び変化要因 尹 衍棟 (人間・生態システム)
- 森林伐採が里山に与える影響の数理的研究 ～陽樹陰樹ダイナミクスの応用～ 高木 俊甫 (人間・生態システム)
- 風蓮湖流入河川における陸水域～汽水域に至る溶存鉄・栄養塩・有機物等の動態と土地利用・土地被覆との関係 高宮 良樹 (人間・生態システム)
- 地域トランジションにおける協調活動のネットワーク分析 竹川 宏樹 (人間・生態システム)
- 多点通年観測値に基づく北海道山岳域における気温動態の解明 田辺 真一 (人間・生態システム)
- 中国の大学における北海道大学サステイナブルキャンパス評価システムの適用可能性検討 ―清華大学を例として― 張 乃曼 (人間・生態システム)
- サステイナブルキャンパスの構築に向けた構内交通改善の可能性検討―清華大学における調査及び北海道大学との比較― 張 森 (人間・生態システム)
- Effects of eutrophication on food chain length in rivers and riparian zones(河川および河畔における食物連鎖長に富栄養化が及ぼす影響) NESSA BADRUN (人間・生態システム)
- 河川希少種の陸への波及効果：カワシンジュガイ属はエゾアカガエルの越冬地を提供するか？ 三浦 一輝 (人間・生態システム)
- タンチョウ繁殖適地の土地利用変化に関する研究 水本 兼仁 (人間・生態システム)
- The invasion and establishment patterns of Sphagnum mosses on *Moliniopsis japonica* grasslands in the early stages of succession (遷移初期におけるヌマガヤ草地へのミズゴケの侵入定着パターン) 宮崎 紀子 (人間・生態システム)
- 出力変動の時空間特性を考慮した北海道の耕作放棄地に対する再生可能エネルギー導入可能性 山腰 啓太 (人間・生態システム)
- Effect of sorghum tea on carbohydrate metabolism in diabetic rats(糖尿病ラットの糖代謝に及ぼすタカキビ茶の影響) 吉田 拓也 (環境適応科学)
- マイクロパターン化ゼラチンシート上での骨芽細胞接着性試験 上杉 諒平 (環境適応科学)
- プルシアンブルーを用いた新規セシウム除染材料の開発 富岡 哲史 (環境適応科学)
- 地球温暖化による海洋におけるリン酸塩の全球規模の分布変化 王 垚 (実践環境科学)
- ライジング・サン・ロックフェスティバルで行なわれているボランティア活動とそれに関わるNPO団体に関する考察 川村 稜 (実践環境科学)
- 大雪山国立公園旭岳における自然保護活動の国際対応に関する考察と提案 方 獅博 (実践環境科学)

Relationship between indoor climatic parameter and energy consumption for air conditioning-A case study on Faculty of Environmental Earth Science, Hokkaido University (室内気象条件が空調のエネルギー消費におよぼす影響-北海道大学地球環境科学研究所を例として) 黄胤君 (国際環境保全)

The role of hunters in sustainable wildlife conservation management in Sapporo-The present condition and attitude of hunters (札幌市における持続的可能な野生動物保全管理のための狩猟者の役割-現在の狩猟者の実態と意識調査-) 西條晋太郎 (国際環境保全)

界面動電的手法による鉛汚染土壌の修復におけるフミン酸の影響 岩村 桐子 (国際環境保全)

The impact of environmental awareness on garbage disposal behavior of residents in dormitory of Hokkaido University (北海道大学の寮在住者のゴミの廃棄挙動に対する環境意識の影響) 周 瑾 (国際環境保全)

The impact of socio-economical factors on the electricity conservation awareness and behavior of university students -A case study in Jilin University (大学生の節電の意識と行動に対する社会経済的要因の影響-吉林大学を例として) 汝 亜潔 (国際環境保全)

The study of gender and sustainable fisheries: A case study in Antigua and Barbuda (ジェンダーと持続可能な水産業に関する研究-アンティグア・バーブーダの事例-) 田中 理佐 (国際環境保全)

The impact of school environment on energy conservation consciousness of elementary school Students: A case study of kohoku and nango elementary school (小学生の省エネ意識に与える学校環境の影響-幌北小学校と南郷小学校を例として) 由 飛揚 (国際環境保全)

地球圏科学専攻

最終氷期以降の西部北極海堆積物の層序と起源 鈴木 健太 (大気海洋化学・環境変遷学)

モンゴル森林-草原境界域のカラマツ年輪酸素同位体比の変動要因 土井 猛史 (大気海洋化学・環境変遷学)

過去1万5千年間における水月湖湖底堆積物への元素状炭素供給量の変動要因 中井 淑恵 (大気海洋化学・環境変遷学)

中部太平洋赤道域におけるアーキア細胞膜脂質の時系列変動 原田 くるみ (大気海洋化学・環境変遷学)

Effects of light, iron and temperature on the photophysiology of phytoplankton in the western subarctic Pacific (西部北太平洋亜寒帯域に生息する植物プランクトンへの光・鉄・温度制限) 吉田 和広 (大気海洋化学・環境変遷学)

夏季南アジアにおける降水の季節内振動、日変動に関する研究 一木 拓哉 (大気海洋物理学・気候力学)

大気の熱収支からみたオホーツク海の海氷の特性 加藤 龍太 (大気海洋物理学・気候力学)

閉じた矩形海洋における渦の軌跡とその軌道決定メカニズム 小林 慈英 (大気海洋物理学・気候力学)

南極アデリー海岸沿岸域における水塊特性の経年変動に見られる海洋-氷床相互作用 小林 理央 (大気海洋物理学・気候力学)

冬季北海道西岸沖に発生するポーラーロウに対する下部境界条件の役割 田村 健太 (大気海洋物理学・気候力学)

中高緯度の温暖化が熱帯の降雨分布に与える影響 濱野 勇臣 (大気海洋物理学・気候力学)

係留観測による北極チャクチ海沿岸域の流速変動に関する研究 山内 泰孝 (大気海洋物理学・気候力学)

グリーンランド北西部におけるカービング氷河の表面高度変化 片山 直紀 (雪氷・寒冷圏科学)

グリーンランド北西氷床 (SIGMA-D) アイスコア化学解析に基づく小氷期以降の環境変動 門田 萌 (雪氷・寒冷圏科学)

生物圏科学専攻

Population dynamics through the mass drift event of 'Marimo' balls in Lake Akan, Hokkaido (北海道阿寒湖におけるマリモ大量打ち寄せ現象を介した集団動態) 熊谷 七美 (生態遺伝学)

Studies on reproductive ecology of *Viola mirabilis* var. *subglabra* representing intermediate flowering characteristics between the stemless and stemmed *Viola* (無茎種と有茎種の間中間的な開花特性を示すイブキスミレの繁殖生態に関する研究) 篠原 義典 (生態遺伝学)

Estimation of the evolutionary rates of the mitochondrial DNA in *Apodemus* species based on calibrations from the Quaternary environmental changes (第四紀の環境変動に準拠したアカネズミ属のミトコンドリアDNA進化速度の推定) 花崎 香織里 (生態遺伝学)

Developmental regulations of the reproductive polyphenism in aphids (アブラムシにおける繁殖多型の発生制御機構) 村野 宏樹 (生態遺伝学)

新規ウキクサ成長促進 *Pseudomonas* 属細菌の単離とその特徴 山川 祐介 (分子生物学)

ヨシ由来成長促進細菌のイネに対する影響評価 影本 敬太 (分子生物学)

Studies on the growth promoting mechanism of duckweed by *Bacillus pumilus* MRB4 (*Bacillus pumilus* MRB4によるウキクサ成長促進機構に関する研究) Desi Utami (分子生物学)

海底油田の物質循環に関与する微生物機能の研究 加藤 雄大 (分子生物学)

酵母マンナンによるウキクサ成長促進現象の解析 倉本 歩 (分子生物学)

ポリナフタレンスルホン酸分解微生物単離の試み 中野 耕輔 (分子生物学)

Biosynthetic mechanism of long-chain polyunsaturated fatty acids in bacteria (細菌における長鎖多価不飽和脂肪酸の生合成メカニズム) 橋本 美佳子 (分子生物学)

Studies on low-boron tolerance of natural accessions in *Arabidopsis thaliana* (シロイヌナズナナチュラルアクセッションにおけるホウ素欠乏耐性に関する研究) 久野 香織 (分子生物学)

Molecular genetic studies on *Arabidopsis thaliana* mutants with reduced sensitivity to boron limitation (ホウ素欠乏に対する感受性が低下したシロイヌナズナ変異株の分子遺伝学的研究) 廣口 寛彦 (分子生物学)

フラボバクテリア科細菌に由来する新規アゾ還元酵素の酵素学的諸特性解析 安酸 国起 (分子生物学)

Development of Ribozyme Catalyzing Sequence-Specific RNA Degradation (塩基配列特異的RNA分解を行うリボザイムの開発) 劉 宇翔 (分子生物学)

十勝川水系における水生生物の比較系統地理 大磯 毅晃 (動物生態学)

Population structure mediates maturation size threshold for alternative life history strategy in masu salmon (他個体の存在が成熟閾値を改変する：生活史二型をもつサクラマスにおける実験的検証) 大久保 隆 (動物生態学)

- Multilevel disturbance: influence of a megaquake on rocky intertidal succession (マルチレベル攪乱: 巨大地震が岩礁潮間帯における遷移に及ぼす影響) 胡 之陽 (動物生態学)
- Community assembly in rocky intertidal succession: the importance of spatial and temporal niche differentiation and role of dispersal (岩礁潮間帯の遷移における群集集合: 空間的および時間的ニッチ分化の重要性と分散の役割) 平賀 優大 (動物生態学)
- ウグイにおける降海性の“逆”緯度クライン 山田 健太郎 (動物生態学)
- 火散布沼 (半閉鎖性亜寒帯汽水湖) における底生微細藻類の増殖ポテンシャル評価 森田 高弘 (海洋圏科学)
- 風蓮湖、根室湾水系における有機物からみた堆積環境の時空間的評価 柴田 豊大 (海洋圏科学)
- 太平洋側北極海 (チャクチ海) における成層強度の時空間変動 大額 実咲 (海洋圏科学)
- 海洋表層混合層熱収支に水温逆転層が与える影響 大原 隆 (海洋圏科学)
- ヤマトシジミ生活史初期のアンモニア耐性の解明と資源回復 村瀬 亮 (海洋圏科学)
- マガキ (*Crassostrea gigas*) の摂餌・排泄が養殖海域の物質循環過程に与える影響 横路 直哉 (海洋圏科学)
- 北海道に來遊するトドの夏期における回遊と潜水:成長段階と冬期の食性からの検証 伊藤 慶造 (水圏生物学)
- Effects of ocean acidification on calcareous sessile polychaetes (*Neodexiospira brasiliensis* and *Circeis spirillum*) in seagrass bed (アマモ場に生息するウズマキゴカイ2種 (*Neodexiospira brasiliensis*と*Circeis spirillum*) に対する海洋酸性化の影響) 伊藤 美菜子 (水圏生物学)
- Detection and quantitative analysis of zoospores and gametophytes in laminarialean algae using environmental DNA (環境サンプル由来 DNA を用いたコンブ類遊走子および配偶体の検出と定量解析) 川本 広基 (水圏生物学)
- 音響手法を用いた岩手県山田湾におけるアカモクの定量的分布特性の把握に関する研究 喜多 千穂海 (水圏生物学)
- Combined effects of seawater warming and ocean acidification on epiphytic snail *Lacuna decorata* in eelgrass bed (海水温の上昇と海洋酸性化がアマモ葉上の巻貝コウダカチャイロタマキビに与える複合的な影響) 楠崎 真央 (水圏生物学)
- 漁業用魚群探知機を用いたカタクチイワシ仔魚の漁場モニタリングに関する研究 久保長 晶 (水圏生物学)
- Effects of microplastics on the lugworm *Abarenicola pacifica* (イソタマシキゴカイ *Abarenicola pacifica* に対するマイクロプラスチックの影響) 須貝 洋海 (水圏生物学)
- カジカ上科魚類の分子系統学的研究 富樫 孝司 (水圏生物学)
- アイナメ属半クローン雑種の系統学的研究~特異的核型を遺伝マーカーとしたクジメ系雑種におけるホストスイッチの検出~ 三宅 翔太 (水圏生物学)
- DNAバーコーディングを用いた臼尻周辺海域に出現する仔稚魚の分類学的研究 百田 和幸 (水圏生物学)
- キタオットセイは性・成長段階で回遊様式が異なるのか? -安定同位体比と微量元素を用いた回遊履歴の推定- 山田 綾子 (水圏生物学)
- Antagonistic indirect interactions between large and small conspecific prey via heterospecific

predators (異種捕食者を介した大きな被食者と小さな被食者の負の種内間接相互作用) 山口 彩 (森林圏環境学)

遺伝的多様性の年次変化と個体群サイズ・分散の関係—個体数変動パターンが異なるエゾヤチネズミ個体群の比較— 秋元 佐紀 (森林圏環境学)

北海道に同所的に生息する3種の野ネズミにおけるタンニン摂取量の季節変化—ドングリ摂取と関連させて— 秋元 佑香 (森林圏環境学)

北海道北部の天然生林における心材腐朽の出現予測 阿部 葉月 (森林圏環境学)

シカが下層植生を介して樹木の成長に与える影響 天野 創 (森林圏環境学)

Interplay between feeding evolution in a leaf beetle and tree-associated arthropod community dynamics (ハムシの摂食行動進化と樹上の節足動物群集の相互作用) 小野寺 裕乃 (森林圏環境学)

Does genetic variation in a foundation species predict arthropod community structure in a riparian forest? (基盤種内の遺伝的変異から河畔林における節足動物の群集構造を予測できるか?) 鍵谷 進乃介 (森林圏環境学)

キイチゴ属野生遺伝資源を利用した新規ラズベリーの育成と果実形質の評価に関する研究 小林 加奈 (耕地圏科学)

分子系統解析とDNA量比較によるユーラシアのハスカップの遺伝的多様性に関する研究 松本 彩 (耕地圏科学)

環境物質科学専攻

Synthesis of aromatic ring-bearing sugar-based surfactants (芳香環を持つ糖型界面活性剤の合成研究) 宋 瑋岳 (生体物質科学)

紅藻ミツデソゾ (*Laurencia okamurae*) 由来セスキテルペノイドの構造と臭素付加機構 石川 高史 (生体物質科学)

A synthetic glycoconjugates approach on LPS O-antigen of *Pandoraea pulmonicola* (*Pandoraea pulmonicola*由来のLPS O-抗原糖鎖合成) Elnagar Asmaa Mohamed Badawy (生体物質科学)

蛍光ソルバトクロミック配位子と遷移金属を組み合わせた長波長発光色素の合成 大塚 侑 (生体物質科学)

Hachijojimallene A の合成研究 小石 真樹 (生体物質科学)

クロロスルホリピッド類の合成研究 佐藤 匠 (生体物質科学)

オレフィンメタセシス反応を用いたソホロリピッド類縁体の合成研究 須田 侑莉 (生体物質科学)

サルモネラ菌のO抗原を目指したチベロース含有オリゴ糖の合成研究 田島 輝一 (生体物質科学)

バイオマスを用いる新規船底防汚剤の開発 長谷川 裕己 (生体物質科学)

ニホンウナギの産卵時における海水中の化学物質の変動 林 将平 (生体物質科学)

蛍光色素母骨格へのフタルヒドラジド部位のクロスカップリングによる化学発光色素の合成研究 福世 泰秀 (生体物質科学)

電子供与基を有するチオフェン誘導体をボロンジピロメテンにクロスカップリングした長波長蛍光色素の合成 松宮 卓也 (生体物質科学)

SmI₂を用いた新規反応の開発と応用 宮野 奈津美 (生体物質科学)

酸化グラフェンを用いた電気化学キャパシタ用電極材料の開発 山岸 秀明 (生体物質科学)

新規コバルト錯体による電気化学および光化学的水素発生 今 敬太 (ナノ環境材料)

位置特異的に配位子修飾された双二十面体Auクラスターの設計と特性 泉館 広隆 (ナノ環境材料)

表面上の π 電子系の設計に基づく金クラスターの特性制御 岩崎 光紘 (ナノ環境材料)

Unusual behavior of ferrocenyl-modified gold clusters (フェロセン修飾金クラスターの特異な挙動)
Carlos Eduardo Ordonez Castillo (ナノ環境材料)

酸素存在下でのアナモックス類似反応に高活性を示す担持金属触媒の探索 齋藤 夏実 (ナノ環境材料)

蛍光性シクロデキストリン型界面活性剤検出試薬の高機能化 中田 暉 (ナノ環境材料)

水中硝酸イオンを選択的に水素化分解する担持ニッケル触媒の開発 野島 淳 (ナノ環境材料)

グラフェンに組み込んだ多核銅錯体の電極触媒活性 武藤 毬佳 (ナノ環境材料)

異種金属複合活性中心を有する電極触媒の酸素還元活性室 室谷 岳志 (ナノ環境材料)

スズ-パラジウム修飾酸化チタン光触媒による水中硝酸イオンの光還元分解 山本 洋平 (ナノ環境材料)

ビスマス担持による酸化チタン光触媒の高活性化と作用機構の解明 池田 玲雄 (環境触媒化学)

キラル分子修飾白金担持光触媒によるピペコリン酸の立体選択的合成系の開発 魚谷 明日香 (環境触媒化学)

リチウム塩添加によるイオン液体[BMIM][FAS]の還元安定性の向上：表面増強赤外分光を用いたメカニズム解析 内田 権一 (環境触媒化学)

十面体形状酸化チタン光触媒粒子の調製と結晶面選択的金属析出 小林 健太 (環境触媒化学)

非水電解質溶液における酸素の電気化学的還元反応に関する研究 喬 羽 (環境触媒化学)

1 2 - 3 修業年限修業学位取得率

博士後期課程

	入学者数	平成27年度までの修了者	
		標準年限内 修了者数	取得率 (%)
平成25年4月 入学者	37	10	27.0

※ 修士課程（博士前期課程）は省略（概ね年限内で取得している）

1 3 研究成果発表状況

1 3 - 1 査読有り論文

平成 27 年度に受理された査読有り論文を専攻毎にまとめる。下線の氏名は環境科学院学生（修了者も学院所属時の発表ならば含む）、イタリックの氏名は学院教員、括弧内は受理日（年／月／日）を表しており、受理された年度（4 月 1 日—3 月 31 日）で分けている。なお、教員のための業績については各部署の報告等に所載するため掲載していない。なお、専攻を跨いでいる業績に関しては、*印を付けている（以下同じ）。

環境起学専攻

- Effendi, M. Y., Tanaka, S. (2015) Removal behaviour of a thiazine, an azo and a triarylmethane dyes from polluted kaolinitic soil using electrokinetic remediation technology. *Electrochimica Acta* 181: 130-138. (2015/06/28)
- Erdenebat, E., Sato, T. (2016) Recent increase in heat wave frequency around Mongolia: role of atmospheric forcing and possible influence of soil moisture deficit. *Atmospheric Science Letters* 17(2): 135-140. (2015/08/17)
- Fujii, M., Tanabe, S., Yamada, M., Mishima, T., Sawadate, T., Ohsawa, S. (in press) Assessment of the potential for developing mini/micro hydropower: A case study in Beppu City, Japan. *Journal of Hydrology: Regional Studies*. (2015/10/22)
- Fukuda, Y., Fujii, M. (2015) Biomass resource mapping and potential evaluation in Hokkaido. *Journal of the Japan Institute of Energy* 94(9): 1057-1065. (2015/07/07)
- Hoshiba, Y., Yamanaka, Y. (2016) Simulation of the effects of bottom topography on net primary production induced by riverine input. *Continental Shelf Research* 117: 20-29. (2016/01/31)
- Kataoka, S., Mukai, Y., Takebayashi, M., Kudo, M., Uson, R. A., Kurasaki, M., Sato, S. (2016) Melinjo (*Gnetum gnemon*) extract intake during lactation stimulates hepatic AMP-activated protein kinase in offspring of excessive fructose-fed pregnant rats. *Reproductive Biology* 16(2): 165-173. (2016/01/16)
- Lopez, J. A. V., Al-Lihaibi, S. S., Alarif, W. M., Abdel-Lateff, A., Nogata, Y., Washio, K., Morikawa, M., Okino, T. (2016) Wewakazole B, a cytotoxic cyanobactin from the cyanobacterium *Moorea producens* collected in the Red Sea. *Journal of Natural Products* 79(4): 1213-1218. (2016/03/07)
- Mihara, Y., Sikder, Md. T., Yamagishi, H., Sasaki, T., Kurasaki, M., Itoh, S., Tanaka, S. (2016) Adsorption kinetic model of alginate gel beads synthesized micro particle-prussian blue to remove cesium ions from water. *Journal of Water Process Engineering* 10: 9-19. (2016/01/01)
- Mori, K., Sato, T. (2015) Evaluating the role of snow cover in urban canopy layer on the urban heat island in Sapporo, Japan with a regional climate model. *Journal of Meteorological Society of Japan* 93(5): 581-592. (2015/07/06)
- Rahman, Md. M., Sultana, R., Shammi, M., Bikash, J., Ahmed, T., Maruo, M., Kurasaki, M., Udin, M. K. (2016) Assessment of the status of groundwater arsenic at Singair upazilla, Manikganaj Bangladesh; exploring the correlation with other metals and ions. *Exposure and Health* 8(2): 217-225. (2016/01/26)
- Sakti, S. C. W., Narita, Y., Sasaki, T., Nuryono, Tanaka, S. (2015) A novel pyridinium functionalized magnetic chitosan with pH-independent and rapid adsorption kinetics for magnetic separation of Cr(VI). *Journal of Environmental Chemical Engineering* 3(3): 1953-1961. (2015/05/06)
- Sikder, Md. T., Tanaka, S., Saito, T., Hosokawa, T., Gumiri, S., Ardianor, Uddin, M. K., Tareq, S. M., Shammi, M., Kamal, A. K. I., Kurasaki, M. (2015) Vulnerability assessment of surface water quality with an innovative integrated multi-parameter water quality index (IMWQI). *Pollution* 1(3): 333-346. (2015/05/15)
- Sugimoto, S., Sato, T., Sasaki, T. (2015) Impact of land-use change on winter precipitation in Hokkaido, Japan. *SOLA* 11: 95-99. (2015/05/21)
- Sugimoto, S., Sato, T., Sasaki, T. (2015) Seasonal and diurnal variability in historical warming due to the urbanization of Hokkaido, Japan. *Journal of Geophysical Research, -Atmospheres* 120(11): 5437-5445. (2015/05/08)
- Xiong, X., Masuda, Y., Hashioka, T., Ono, T., Yamanaka, Y. (2015) Effect of seasonal change in gas

transfer coefficient on air-sea CO₂ flux in the western North Pacific. *Journal of Oceanography* 71(6): 685-701. (2015/07/19)

Yustiawati, Sazawa, K., Syawal, M. S., Kuramitz, H., Saito, T., Hosokawa, T., *Kurasaki, M., Tanaka, S.* (2016) Chapter 18: Peat fire impact on water quality and organic matter in peat soil. "Tropical peatland ecosystems" (Eds. Mitsuru Osaki, M., Tsuji, N.), (p651) Springer, p 281-296.

友貞俊成, 佐藤友徳 (2015) 地域気候変動の不確実性を考慮した北海道におけるてん菜糖量の将来変化. *北海道の農業気象* 66: 13-21. (2015/10/03)

地球圏科学専攻

Bikkina, S., Kawamura, K., Imanishi, K., Nojiri, Y. (2015) Seasonal and longitudinal distributions of atmospheric water-soluble dicarboxylic acids, oxocarboxylic acids and α -dicarbonyls over the North Pacific. *Journal of Geophysical Research-Atmospheres* 120: 5191–5213. (2015/04/20)

Boreddy, S.K.R., Kawamura, K., Haque, Md. M. (2015) Long-term (2001-2012) observation of the modeled hygroscopic growth factor of remote marine TSP aerosols over the western North Pacific: impact of long-range transport of pollutants and their mixing states. *Physical Chemistry Chemical Physics* 17: 29344-29353. (2015/10/06)

Fujiwara, M., Hibino, T., Mehta, S. K., Gray, L., Mitchell, D., Anstey, J. (2015) Global temperature response to the major volcanic eruptions in multiple reanalysis data sets. *Atmospheric Chemistry and Physics* 15: 13507-13518. (2015/11/27)

Gowda, D., Kawamura, K., Tachibana, E. (2016) Identification of hydroxy- and keto-dicarboxylic acids by gas chromatography/quadrupole and time-of-flight mass spectrometry. *Rapid Communications in Mass Spectrometry* 30(7): 992-1000. (2016/02/01)

Haque, Md. M., Kawamura, K., Kim, Y. (2016) Seasonal variations of biogenic secondary organic aerosol tracers in ambient aerosols from Alaska. *Atmospheric Environment* 130: 95-104. Special Issue (Chemical Characterization of SOA). (2015/09/30)

Hasebe, F., Noguchi, T. (2016) A Lagrangian description on the troposphere-to-stratosphere transport changes associated with the stratospheric water drop around the year 2000. *Atmospheric Chemistry & Physics* 16(7): 4235-4249. (2016/02/16)

He, N., Kawamura, K., Kanaya, Y., Wang, Z. (2015) Diurnal variations of carbonaceous components, major ions, and stable carbon and nitrogen isotope ratios in suburban aerosols from northern vicinity of Beijing. *Atmospheric Environment* 123: 18-24. (2015/10/19)

Iizuka, Y., Matoba, S., Yamasaki, T., Oyabu, I., Kadota, M., Aoki, T. (2016) Glaciological and meteorological observations at the SE-Dome site, southeastern Greenland Ice Sheet. *Bulletn of Glaciological Research* 34: 1-10. (2016/01/26)

Ikegawa, S., Horinouchi, T. (2016) Improved automatic estimation of winds at the cloud top of Venus using superposition of cross-correlation surfaces. *Icarus* 271: 98-119. (2016/01/14)

Itoh, M., Pickart, R. S., Kikuchi, T., Fukamachi, Y., Ohshima, K. I., Simizu, D., Arrigo, K. R., Vagle, S., He, J., Ashjian, C., Mathis, J. T., Nishino S., Nobre, C. (2015) Water properties, heat and volume fluxes of Pacific water in Barrow Canyon during summer 2010. *Deep-Sea Research I* 102: 43-54. (2015/04/11)

Kunwar, B., Torii, K., Zhu, C., Fu, P., Kawamura, K. (2015) Springtime variations of organic and inorganic constituents in submicron aerosols (PM_{1.0}) from Cape Hedo, Okinawa. *Atmospheric Environment* 130: 84-94. Special Issue (Chemical Characterization of SOA). (2015/09/05)

Matoba, S., Motoyama, H., Fujita, K., Yamasaki, T., Minowa, M., Onuma, Y., Komuro, Y., Aoki, T., Yamaguchi, S., Sugiyama, S., Enomoto, H. (2015) Glaciological and meteorological observations at the SIGMA-D site, northwestern Greenland Ice Sheet. *Bulletin of Glaciological Research* 33: 7-14. (2015/11/10)

Nakata, K., Ohshima, K. I., Nihashi, S., Kimura, N., Tamura, T. (2015) Variability and ice production budget in the Ross Ice Shelf Polynya based on a simplified polynya model and satellite observations. *Journal of Geophysical Research* 120(9): 6234-6252. (2015/08/25)

Oyabu, I., Iizuka, Y., Fischer, H., Schüpbach, S., Gfeller, G., Svensson, A., Fukui, M., Steffensen, J. P., Hansson, M. (2015) Chemical compositions of solid particles present in the Greenland NEEM ice core over the last 110,000 years. *Journal of Geophysical Research: Atmospheres* 120(18):

9789-9813. (2015/09/27)

- Oyabu, I., Matoba, S., Yamasaki, T., Kadota, M., Iizuka, Y. (2016) Seasonal variations in the major chemical species of snow at the South East Dome in Greenland. *Polar Science* 10(1): 36-42. (2016/01/27)
- Podolskiy, E., Sugiyama, S., Funk, M., Genco, R., Tsutaki, S., Walter, F., Minowa, M., Ripepe, M. (2016) Tide-modulated ice flow variations drive seismicity near the calving front of Bowdoin Glacier, Greenland. *Greenland. Geophysical Research Letters* 43(5): 2036-2044. (2016/02/13)
- Pokhrel, A., Kawamura, K., Ono, K., Seki, O., Fu, P., Matoba, S., Shiraiwa, T. (2016) Ice core records of monoterpene- and isoprene-SOA tracers from Aurora Peak in Alaska since 1660s: Implication for climate change variability in the North Pacific Rim. *Atmospheric Environment* 130: 105-112. (2015/09/24)
- Saiki, R., Mitsudera, H. (2016) A mechanism of ice-band pattern formation caused by resonant interaction between sea ice and internal waves: A theory. *Journal of Physical Oceanography* 46: 583-600. (2015/10/30)
- Sugimoto, F., Tamura, T., Shimoda, H., Uto, S., Simizu, D., Tateyama, K., Hoshino, S., Ozeki, T., Fukamachi, Y., Ushio, S., Ohshima, K. I. (2016) Interannual variability of sea-ice thickness in the pack-ice zone off Lutzow-Holm Bay, East Antarctica. *Polar Science* 10(1): 43-51. (2015/10/22)
- Tamura, T., Ohshima, K. I., Lieser, J.L., Toyota, T., Tateyama, K., Nomura, D., Nakata, K., Fraser, A.D., Jansen, P.W., Newbery, K.B., Massom, R.A., Ushio, S. (2015) Helicopter-borne observations with portable microwave radiometer in the Southern Ocean and the Sea of Okhotsk. *Annals of Glaciology* 56(69): 436-444. (2015/05/28)
- Tei, S., Yonenobu, H., Suzuki, S., Ohyama, M., Gotanda, K., Nakagawa, T., Sugimoto, A. (2015) Reconstructed July temperatures since AD 1800, based on a tree-ring chronology network in the Northwest Pacific region, and implied large-scale atmospheric-oceanic interaction. *Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology* 435: 203-209. (2015/06/09)
- Tyagi, P., Ishimura, Y., Kawamura, K. (2015) Hydroxy fatty acids in marine aerosols as microbial tracers: 4-year study on b- and w-hydroxy fatty acids from remote Chichijima Island in the western North Pacific. *Atmospheric Environment* 115:89-100. (2015/05/17)
- Tyagi, P., Yamamoto, S., Kawamura, K. (2015) Hydroxy fatty acids in fresh snow samples from northern Japan: long-range atmospheric transport of Gram-negative bacteria by Asian winter monsoon. *Biogeosciences* 12: 7071-7080. (2015/11/27)
- Yamamoto, M., Kobayashi, D. (2016) Surface ocean cooling in the subarctic North Pacific during the late Pliocene suggests an atmospheric reorganization prior to extensive Northern Hemisphere glaciation. *Deep-Sea Research II* 125-126: 177-183.
- Yamamoto, Y., Ajioka, T., Yamamoto, M. (2016) Climate reconstruction based on GDGT-based proxies in a paleosol sequence in Japan: Postdepositional effect on the estimation of air temperature. *Quaternary International* 397: 380-391.
- Zhang, W., Ebuchi, N., Fukamachi, Y., Yoshikawa, Y. (2016) Estimation of wind drift current in the Soya Strait. *Journal of Oceanography* 72(2): 299-311. (2015/11/01)

<平成 26 年度報告書以前の記載漏れ>

- Polyak, L., Belt, S., Cabedo-Sanz, P., Yamamoto, M., Park, Y.-H. (2016) Holocene sea-ice conditions and circulation at the Chukchi-Alaskan margin, Arctic Ocean, inferred from biomarker proxies. *Holocene* 26(11): 1810-1821. (2015/02/22)
- Sugisaki, S., Buylaert, J.-P., Murray, A., Tada, R., Zheng H., Wang, K., Saito, K., Luo, C., Li, S., Irino, T. (2015) OSL dating of fine-grained quartz from Holocene Yangtze delta sediments. *Quaternary Geochronology* 30B: 226-232. (2015/02/20)

生物圏科学専攻

- Amagai, Y., Kaneko, M. & Kudo, G. (2015) Habitat-specific responses of shoot growth and distribution of alpine dwarf-pine (*Pinus pumila*) to climate variation. *Ecological Research* 30: 969-977. (2015/07/27)

- Asakura, I., Hoshino, Y. (2016) Distribution, ploidy levels, and fruit characteristics of three Actinidia species native to Hokkaido, Japan. *The Horticulture Journal* 85(2): 105–114. (2015/08/03)
- Fu, G., Nagasato, C., Yamagishi, T., Kawai, H., Okuda, K., Takao, Y., Horiguchi, T., and Motomura, T. (2016) Ubiquitous distribution of helmschrome in phototactic swimmers of the stramenopiles. *Protoplasma* 253(3): 929–941. (2015/07/13)
- Fukui, S., May-McNally, S., Katahira, H., Kitano, S., Koizumi, I. (2016) Temporal change in the distribution and composition of native, introduced, and hybrid charrs in northern Japan. *Hydrobiologia* 783(1): 309–316. (2016/02/06)
- Gotoh, H., Zinna, R. A., Warren, I., DeNieu, M., Niimi, T., Dworkin, I., Emlen, D. J., Miura, T., Lavine, L. C. (2016) Identification and functional analyses of sex determination genes in the sexually dimorphic stag beetle *Cyclommatus metallifer*. *BMC Genomics* 17: 250. (2016/02/24)
- Kakuta, E. and Kudo, I. (2016) Significant contribution of lytic mortality to bacterial production and DOC cycles in Funka Bay, Japan. *Journal of Oceanography* 72(2): 177-187. (2015/08/08)
- Katayama, N., Kishida, O., Sakai, R., Hayakashi, S., Miyoshi, C., Ito, K., Naniwa, A., Yamaguchi, A., Wada, K., Kowata, S., Koike, Y., Tsubakimoto, K., Ohiwa, K., Sato, H., Miyazaki, T., Oiwa, S., Oka, T., Kikuchi, S., Igarashi, C., Chiba, S., Akiyama, Y., Takahashi, H., Takagi, K. (2015) Response of a wild edible plant to human disturbance: harvesting can enhance the subsequent yield of bamboo shoots. *PLoS ONE* 10(12): e0146228. (2015/12/13)
- Kinoshita, N., Shiba, K., Inaba, K., Fu, G., Nagasato, C., and Motomura, T. (2016) Flagellar waveforms of gametes in the brown alga *Ectocarpus siliculosus*. *European Journal of Phycology* 51(2): 139-148. (2015/07/09)
- Kojima, H., Umezawa, K., and Fukui, M. (2016) *Caldimicrobium thiodismutans* sp. nov., a sulfur-disproportionating bacterium isolated from a hot spring, and emended description of the genus *Caldimicrobium*. *International Journal of Systematics and Evolutionary Microbiology* 66: 1828-1831. (2016/01/31)
- Leopardas, V., Honda, K., Go, G. A., Bolisay, K., Pantallano, A. D., Uy, W., Fortes, M. D., and Nakaoka, M. (2016) Variation in macrofaunal community of sea grass beds along a pollution gradient in Bolinao, northwestern Philippines. *Marine Pollution Bulletin* 105(1): 310–318. (2016/02/01)
- Miyakawa, H., Sugimoto, N., Kohyama, T. I., Iguchi, T., Miura, T. (2015) Intra-specific variations in reaction norms of predator-induced polyphenism in the water flea *Daphnia pulex*. *Ecological Research* 30(4): 705-713. (2015/04/20)
- Miyashita, T., Kunitake, H., Yotsukura, N., Hoshino, Y. (2015) Assessment of genetic relationships among cultivated and wild Rubus accessions using AFLP markers. *Scientia Horticulturae* 193: 165-173. (2015/07/03)
- Morita, K., Sahashi, G., Tsuboi, J. (2016) Altitudinal niche partitioning between white-spotted charr (*Salvelinus leucomaenis*) and masu salmon (*Oncorhynchus masou*) in a Japanese river. *Hydrobiologia* 783(1): 93–103. (2015/10/31)
- Nakamura, M., Makoto, K., Tanaka, M., Inoue, T., Son, Y., Hiura, T. (2016) Leaf flushing and shedding, bud and flower production, and stem elongation in tall birch trees subjected to increases in aboveground temperature. *Trees* 30(5): 1535–1541. (2016/03/07)
- Nakano, T., Matsuno, K., Nishizawa, B., Iwahara, Y., Mitani, Y., Yamamoto, J., Sakurai, Y. and Watanuki, Y. (2016) Diets and body condition of polar cod (*Boreogadus saida*) in the northern Bering Sea and Chukchi Sea. *Polar Biology* 39(6): 1081–1086. (2015/07/27)
- Noda, T., Iwasaki, A., Fukaya, K. (2016) Recovery of rocky intertidal zonation: two years after the 2011 Great East Japan Earthquake. *Journal of the Marine Biological Association of the United Kingdom* 96(8): 1549–1555. (2015/11/23)
- Noda, T., Iwasaki, A., Fukaya, K. (2016) Rocky intertidal zonation: impacts and recovery from the megaquake years after the 2011 Great East Japan Earthquake. *Marine ecosystems after Great East Japan Earthquake in 2011, Our knowledge acquired by TEAMS*, Edited by Kogure, K., Hirose, M., Kijima, A., Tokai University Press, page 73-74. (2016/02/10)
- Nomi, D., Yuta, T., Koizumi, I. (2015) Offspring sex ratio of Japanese Tits Parus minor is related to laying date and clutch size only in the first clutches. *Acta Ornithologica* 50(2): 213-220. (2015/11/23)

- Novković, B., and Kimura, M. T. (2015) Phylogeography, interaction patterns and the evolution of host choice in *Drosophila*-parasitoid systems in Ryukyu Archipelago and Taiwan. *PLoS ONE* 10(6): e0129132. (2015/05/04)
- Ohta, T., Matsunaga, S., Niwa, S., Kawamura, K., and Hiura, T. (2016) Detritivore stoichiometric diversity alters litter processing efficiency in a freshwater ecosystem. *Oikos* 125: 1162–1172. (2015/10/24)
- Sahara, R., Fukaya, K., Okuda, T., Hori, M., Yamamoto, T., Nakaoka, M., Noda, T. (2016) Larval dispersal dampens population fluctuation and shapes the interspecific spatial distribution patterns of rocky intertidal gastropods. *Ecography* 39: 487-495. (2015/05/07)
- Sahashi, G., & Morita, K. (2015) Non-random sampling for reproductive status induces bias in probabilistic maturation reaction norm midpoints. *Fisheries Research* 170: 24–29. (2015/05/05)
- Sahashi, G., & Yoshiyama, T. (2016) A hump-shaped relationship between migration distance and adult pink salmon morphology suggests interactive effects of migration costs and bear predation. *Canadian Journal of Fisheries and Aquatic Sciences* 73(3): 427–435. (2015/10/01)
- Sahashi, G., Morita, K., Ohnuki, T. & Ohkuma, K. (2015) An evaluation of the contribution of hatchery stocking on population density and biomass: a lesson from masu salmon juveniles within a Japanese river system. *Fisheries Management and Ecology* 22(5): 371–378. (2015/06/24)
- Sonoki, S., Shao, H., Morita, Y., Minami, K., Shoji, J., Hori, M., and Miyashita, K. (2016) Using acoustics to determine eelgrass bed distribution and to assess the seasonal variation of ecosystem service. *PLoS ONE* 11(3): e0150890. (2016/02/19)
- Sugihara, Y., Ueno, H., Hirata, T., Komatsuzaki, M., and Araki, H. (2016) Contribution of N derived from a hairy vetch incorporated in the previous year to tomato N uptake under hairy vetch-tomato rotational cropping System. *The Horticulture Journal* 85(3): 217-223. (2015/10/14)
- Sugime, Y., Ogawa, K., Watanabe, D., Shimoji, H., Koshikawa, S., Miura, T. (2015) Expansion of presoldier cuticle contributes to head elongation during soldier differentiation in termites. *Science of Nature* 102: 71. (2015/10/31)
- Sunmonu, N. & Kudo, G. (2015) Warm temperature conditions restrict the sexual reproduction and vegetative growth of the spring ephemeral *Gagea lutea* (Liliaceae). *Plant Ecology* 216(10): 1419–1431. (2015/09/11)
- Suzuki, Y., Tomozawa, M., Koizumi, Y., Tsuchiya, K., Suzuki, H. (2015) Estimating the molecular evolutionary rates of mitochondrial genes referring to Quaternary Ice Age events with inferred population expansions and dispersals in Japanese *Apodemus*. *BMC Evolutionary Biology* 15: 187. (2015/08/21)
- Takashima, T., Okada, N., Asami, H., Hoshino, N., Shida, O., and Miyashita, K. (2016) Maturation process and reproductive biology of female Arabesque greenling *Pleurogrammus azonus* in the Sea of Japan, off the west coast of Hokkaido. *Fisheries Science* 82: 225-240. (2015/09/29)
- Tanaka, M., Nakamura, M. (2015) Spatially distinct responses within willow to bark stripping by deer: effects on insect herbivory. *The Science of Nature* 102: 46-54. (2015/07/27)
- Toga, K., Hanmoto, S., Suzuki, R., Watanabe, D., Miura, T., Maekawa, K. (2016) Sexual difference in juvenile-hormone titer in workers leads to sex-biased soldier differentiation in termites. *Journal of Insect Physiology* 87: 63-70. (2016/02/06)
- Tsuji, K., Otsuki, M., Akamatsu, T., Matsuo, I., Amakasu, K., Kitamura, M., Kikuchi, T., Miyashita, K. and Mitani, Y. (2016) The migration of fin whales into the southern Chukchi Sea as monitored with passive acoustics. *ICES Journal of Marine Science* 73 (8): 2085-2092. (2015/12/21)
- Uchida, K., Suzuki, K., Shimamoto, T., Yanagawa, H., Koizumi, I. (2016) Seasonal variation of flight initiation distance in Eurasian red squirrels in urban versus rural habitat. *Journal of Zoology* 298: 225-231. (2015/10/09)
- Ueda, H., Nakamura, S., Nakamura, T., Inada, K., Okubo, T., Furukawa, N., Murakami, R., Tsuchida, S., Zohar, Y., Konno, K., Watanabe, M. (2016) Involvement of hormones in olfactory imprinting and homing in chum salmon. *Scientific Reports* 6: 21102. (2016/01/18)

- Yamaguchi, A., Kishida, O. (2016) Antagonistic indirect interactions between large and small conspecific prey via a heterospecific predator. *Oikos* 125(2): 271-277. (2015/05/09)
- Yamaguchi, A., Kishida, O. (2016) Wintering larvae of *Hyniobius retardatus* salamander can consume prey invertebrates under very low temperatures. *Salamandra* 52: 45-47. (2015/04/27)
- Yuta, T., Koizumi, I. (2016) Does nest predation risk affect the frequency of extra-pair paternity in a socially monogamous passerine? *Journal of Avian Biology* 47: 153-158. (2015/08/13)
- Zhang, J., Yao, J. T., Sun, Z. M., Fu, G., Galanin, D. A., Nagasato, C., Motomura, T., Hu, Z. M. and Duan, D. L. (2015) Phylogeographic data revealed shallow genetic structure in the kelp *Saccharina japonica* (Laminariales, Phaeophyta). *BMC Evolutionary Biology* 15: 237. (2015/10/21)
- 小島久弥, 渡邊友浩, 久保響子, 笠原康裕, 福井学 (2015) 第 13 章 寒冷圏の物質循環と微生物. 低温科学便覧 (北海道大学低温科学研究所編), 285-310, 丸善.
- 地子立, 午来博, 園田高広, 荒木肇 (2015) アスパラガス伏せ込み促成栽培における温床培地としてのおが屑利用の可能性. *農作業研究* 50(3): 81-85. (2015/08/01)
- 池田敬, 内田健太, 渋谷未央, 大熊勲, 石橋悠樹, 寫本樹, 片平浩孝 (2016) 「哺乳類研究交流会」の開催報告—学生のステップアップの場として—. *哺乳類科学* 56(1): 53-60. (2016/03/03)
- 坪井潤一, 森田健太郎, 佐橋玄記 (2015) 野生化したニジマスと天然ヤマメの釣られやすさの比較. *日本水産学会誌* 81(5): 846-848. (2015/05/20)

<平成 26 年度報告書以前の記載漏れ>

- Kao, W.-Y., Tomiyasu, M., Takahashi, R., Ogawa, M., Hirose, T., Kurosaka, K., Tsuru, S., Sanada, Y., Minami, K., and Miyashita, K. (2015) Spatial and Temporal Distribution of Hairtail (*Trichiurus japonicus*) in the Bungo Channel, Japan. *Journal of the Marine Acoustics Society of Japan* 42(4): 167-176. (2014/11/26)
- Kimura, M. T., and Novković, B. (2015) Local adaptation and ecological fitting in host use of the *Drosophila* parasitoid *Leptopilina japonica*. *Ecological Research* 30(3): 499-505. (2015/01/22)
- Okada, Y., Sasaki, K., Miyazaki, S., Shimoji, H., Tsuji, K., Miura, T. (2015) Social dominance and reproductive differentiation mediated by dopaminergic signaling in a queenless ant. *Journal of Experimental Biology* 218: 1091-1098. (2015/02/03)
- Saiki, R., Gotoh, H., Toga, K., Miura, T., Maekawa, K. (2015) High juvenile hormone titre and abdominal activation of JH signalling may induce reproduction of termite neotenic. *Insect Molecular Biology* 24(4): 432-441. (2015/02/03)
- Takano, Y., Kojima, H., Takeda, E., Yokoyama, Y., and Fukui, M. (2015) Biogeochemistry and limnology in Antarctic subglacial weathering: molecular evidence of the linkage between subglacial silica input and primary producers in a perennially ice-covered lake. *Progress in Earth and Planetary Science* 2: 8. (2015/02/17)
- Takigahira, T., Kohyama, T. I., Suwito, A., and Kimura, M. T. (2015) Genetic analyses of resistance against *Leptopilina victoriae* in *Drosophila bipunctinata*. *Genetica* 143(3): 279-285. (2015/01/31)
- Watanabe, M., Kojima, H., and Fukui, M. (2015) *Desulfoplanes formicivorans* gen. nov., sp. nov., a novel sulfate-reducing bacterium isolated from a brackish meromictic lake, and emended description of the family *Desulfomicrobiaceae*. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology* 65: 1902-1907. (2015/02/13)
- Watanabe, M., Kojima, H., and Fukui, M. (2015) *Limnochorda pilosa* gen. nov., sp. nov., a moderately thermophilic, facultative anaerobic pleomorphic bacterium and proposal of *Limnochordaceae* fam. nov., *Limnochordales* ord. nov. and *Limnochordia* classis nov. in the phylum *Firmicutes*. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology* 65: 2378-2394. (2015/03/19)
- Yamazaki, A., and Munehara, H. (2015) Identification of larvae of two *Gymnocanthus* (Cottidae) species based on melanophore patterns. *Ichthyological Research* 62(2): 240-243. (2014/08/21)
- 戸田求, 福澤加里部, 中村誠宏, 田中幹展, 吉田俊也, 柴田英昭, 王新, 石田祐宣, 宮田理恵 (2015) 台風攪乱が北方森林の生理・生態および生態系炭素動態へ及ぼす影響—北海道北部の森林で行われた台風模倣実験からえた知見. *低温科学* 73: 21-29. (2015/01/28)

- 三好晃治, 品田晃良, 宮園章, 栗原康裕, 多田匡秀, 照本昂之, 工藤勲 (2015) 2013 年北海道オホーツク海沿岸域における地まきホタテガイの高成長と餌料環境. 日本水産学会誌 81(3): 468-470. (2015/01/23)
- 山口貴広, 隅田明洋, 中井太郎, 山田雅仁, 兒玉裕二, 小野清美, 原登志彦 (2015) 北海道の亜高山帯ダケカンバ林の下層チシマザサ (*Sasa kurilensis* (Rupr.) Makino & Shibata) の総生産および蒸散の季節変化に及ぼす環境要因. 低温科学 73: 41-56. (2015/01/28)
- 來住牧, 宮久史, 吉田俊也, 植村滋 (2015) ミズナラ堅果生産量の長期動態と豊凶仮説の検証. 低温科学 73: 125-132. (2015/02/12)

環境物質科学専攻

- Fujita, S., Sakairi, N. (2016) Water soluble EDTA-linked chitosan as a zwitterionic flocculant for pH sensitive removal of Cu(II) ion. RSC Advances 6: 10385-10392. (2016/01/18)
- Fukunaga, N., Konishi, K. (2015) Unexpected electric perturbation effects of simple PEG environments on the optical properties of small cadmium chalcogenide clusters. Nanoscale 7: 20557-20563. (2015/11/09)
- Ge, A., Peng, Q., Qiao, L., Yepuri, N., Darwish, T., Matsusaki, M., Akashi, M., Ye, S. (2015) Molecular orientation of organic thin films on dielectric solid substrates: a phase-sensitive vibrational SFG study. Physical Chemistry Chemical Physics 17: 18072-18078. (2015/05/11)
- Hori, H., Takase, M., Amano, F., Ohtani, B. (2015) Mechanism of the formation of hierarchical-structured bismuth-tungstate photocatalyst particles through counter-flow supply of bismuth and tungsten sources. Chemistry Letters 44(12): 1723-1725. (2015/10/04)
- Kato, M., Oyaizu, N., Shimazu, K., Yagi, I. (2016) Oxygen reduction reaction catalyzed by self-assembled monolayers of copper-based electrocatalysts on a polycrystalline gold surface. The Journal of Physical Chemistry C 120 (29): 15814-15822. (2016/01/29)
- Mahardiani, L., Kamiya, Y. (2016) Enhancement of catalytic activity of cobalt oxide for catalytic ozonation of ammonium ion in water with repeated use. Journal of the Japan Petroleum Institute 59 (1): 31-34. (2015/11/28)
- Noro, S.-i., Matsuda, R., Hijikata, Y., Inubushi, Y., Takeda, S., Kitagawa, S., Takahashi, Y., Yoshitake, M., Kubo, K., Nakamura, T. (2015) High CO₂/CH₄ selectivity of a flexible copper(II) porous coordination polymer under humid conditions. ChemPlusChem 80: 1517-1524. (2015/08/07)
- Qiao, L., Ge, A., Liang, Y., Ye, S. (2015) Oxidative degradation of the monolayer of 1-palmitoyl-2-oleoyl-*sn*-glycero-3-phosphocholine (POPC) in low-level ozone. Journal of Physical Chemistry B 119: 14188-14199. (2015/09/15)
- Qiao, Y., Ye, S. (2016) Spectroscopic investigation for oxygen reduction and evolution reactions with TTF as a redox mediator in Li-O₂ Battery. Journal of Physical Chemistry C 120 (29): 15830-15845. (2015/11/30)
- Sugiuchi, M., Shichibu, Y., Nakanishi, T., Hasegawa, Y., Konishi, K. (2015) Cluster-π electronic interaction in a superatomic Au₁₃ cluster bearing σ-bonded acetylide ligands. Chemical Communications 51: 13519-13522. (2015/06/30)
- Tong, Y., Peng, Q., Ma, T., Nishida, T., Ye, S. (2015) Photocatalytic oxidation of the organic monolayers on TiO₂ surface investigated by *in-situ* sum frequency generation spectroscopy. APL Materials 3: 104402. (2015/04/26)
- Wu, H., Tong, Y., Li, N., Peng, Q., Ye, S. (2015) Phase transition behaviors of the supported DPPC bilayer investigated by sum frequency generation (SFG) and atomic force microscopy (AFM). Physical Chemistry Chemical Physics 18: 1411-1421. (2015/08/20)
- Xiong, J., Kubo, K., Noro, S.-i., Akutagawa, T., Nakamura, T. (2016) Self-assembled structure of inorganic-organic hybrid crystals based on Keggin polyoxometallates [SM₁₂O₄₀²⁻] and supramolecular cations. Crystal Growth & Design 16 (2): 800-807.
- Yoshitake, M., Kubo, K., Endo, T., Noro, S.-i., Akutagawa, T., Nakamura, T. (2015) Structural design of coordination polymers based on manganese and chromium ions bridged by oxalate ligands. Bulletin of the Chemical Society of Japan 89(3): 354-360. (2015/11/23)

<平成 26 年度報告書以前の記載漏れ>

Nakayama, M., Zhu, C., *Hirokawa, J., Irino, T., and Yoshikawa-Inoue, H.* (2015) Ozone depletion in the interstitial air of the seasonal snowpack in northern Japan. *Tellus B* 67: 24934. (2014/12/10)*

13-2 査読無し論文

平成27年度に発表された査読無し論文を専攻毎にまとめる。下線の氏名は環境科学院学生（修了者も学院所属時の発表ならば含む）、イタリックの氏名は学院教員を示す。なお、教員のみ業績については、各部局の報告等に所載するため掲載していない。

環境起学専攻

- Batar, A. K., Singh, R. B., Kumar, A. (2016) Prioritizing watershed for sustainable development in Swan catchment area, Himachal Pradesh, India. Singh, R. B., Prokop, P. (editors): Environmental Geography of South Asia, Springer, 49-66. (2015/05/12)
- Liu, J., *Watanabe, T.* (2016) Seasonal pasture use and vegetation cover changes in the Alai Valley, Kyrgyzstan. Kreutzmann, H., Watanabe, T. (eds.): Mapping Transition in the Pamirs: Changing Human-Environmental Landscapes, Springer, 113-126. (2016/01/27)
- Shirasaka, S., Song, F., *Watanabe, T.* (2016) Diversity of seasonal migration of livestock in the Eastern Alai Valley, southern Kyrgyzstan. Kreutzmann, H., Watanabe, T. (eds.): Mapping Transition in the Pamirs: Changing Human-Environmental Landscapes, Springer, 127-143. (2016/01/27)
- 渡辺悌二, 小林勇介 (2016) 大雪山国立公園の登山道荒廃：その研究の進展と地域における取り組み. 北海道の自然 54: 11-17. (2015/12/09)

地球圏科学専攻

- Hasebe, F.*, Noguchi, T. (2015) A Lagrangian description on the troposphere-to-stratosphere transport changes associated with the stratospheric water drop around the year 2000. Atmospheric Chemistry & Physics Discussions 15(20): 28037-28068. (2015/09/17)
- Ito, M., *Ohshima, K. I.*, *Nishioka, J.*, Kusumoto, Y., *Fukamachi, Y.* (2016) Observations of frazil ice formation and sediment upward transport off the northeast coast of Sakhalin. Proceedings of the 31th International Symposium on Okhotsk Sea & Sea Ice, 124-127. (2016/01)
- 箕輪昌紘, 杉山慎, 榊原大貴, エヴゲニ ポドリスキ, 大橋良彦, 澤柿教伸, 内藤望, ペドロ スクヴァルカ (2015) 高周波水位測定によるカービングの統計解析と周波数解析. 北海道の雪氷 34: 47-50. (2015/09/30)

生物圏科学専攻

- Morikawa, M.*, Yamaga, F., Suzuki, K., Kurashina, K., *Miwa, K.*, *Washio, K.* (2015) Using microbial biofilms to enhance the phytoremediation of contaminants in soil and water. Part A: A trial for sustainable phenol degradation by duckweed-colonizing biofilms. Biofilms in Bioremediation: Current Research and Emerging Technologies. Caister Academic Press, Chapter 13, pp233-240. (2015/08/10)
- 山崎彩, 永野優季, 菊地優, 百田和幸, 鈴木将太, 五十嵐健志, 宗原弘幸 (2015) 潜水調査による下北半島沿岸域の魚類相調査報告. 北大水産科学研究紀要 57: 1-24. (2015/06/30)

環境物質科学専攻

- Kabiraz, D. C., *Morita, K.*, *Kawaguchi, T.* (2015) Surface plasmon resonance immunosensor using Au-nanoparticle modified antibody. Chemical Sensors Supplement B 31: 43-45.
- Markowska-Szczupak, A.*, Wang, K., *Rokicka, P.*, *Endo, M.*, *Wei, Z.*, *Ohtani, B.*, *Morawski, A. W.*, *Kowalska, E.* (2015) The effect of anatase and rutile crystallites isolated from titania P25 photocatalyst on growth of selected mould fungi. Journal of Photochemistry and Photobiology B: Biology 151: 54-62. (2015/07/02)
- Zheng, S., Yoshiiri, K., *Wei, Z.*, *Braumueller, M.*, *Ohtani, B.*, *Rau, S.*, *Kowalska, E.* (2015) Titania modification with ruthenium(II) complex and gold nanoparticles for photocatalytic

degradation of organic compounds. Photochemical & Photobiological Sciences 15: 69-76.
(2015/11/13)

堀晴菜, 高瀬舞, 天野史章, 大谷文章 (2015) 高活性可視光駆動型階層構造タンゲステン酸ビスマス粒子の生成機構. 光触媒 47: 38-41.

1 3 - 3 学会発表

環境起学専攻

- Batar, A. K., Watanabe, T., 2015年11月26日, Monitoring land use and land cover changes in Rudraprayag district, Garhwal Himalaya, Uttarakhand, India, 18th SNU-HU joint symposium on "Climate Change Impact on Natural Disasters, 韓国・ソウル, 口頭
- Batar, A. K., Watanabe, T., 2016年3月18日, Monitoring land use and land cover changes and its impacts in Rudraprayag district, Uttarakhand, India, 9th International Geographical Union (IGU) Conference, インド・ニューデリー, 口頭
- Erdenebat, E., Sato, T., 2016年3月2日, Recent changes in heat wave over northeastern Eurasia and a possible contribution of spring soil moisture to subsequent summer extremes, The international science conference on MAHASRI, 東京, ポスター
- Fujii, M., Tanabe, S., Yamada, M., Mishima, T., Sawadate, T., Ohsawa, S., 2015年12月5日, Assessment of the potential for developing small hydropower: A case study in Beppu City, Japan, The 2nd Myanmar-Japan Symposium, Patheingyi, ミャンマー・パテイン, 口頭
- Ichigi, T., Sato, T., 2016年3月2日, Characteristics of diurnal cycle of precipitation in the active and the break phase of intraseasonal oscillation around the Meghalaya Plateau in summer, The international science conference on MAHASRI, 東京, ポスター
- Kobayashi, Y., 2015年7月11日-15日, Evaluation of degraded mountain trail in Mount Daisetsuzan, Hokkaido, Japan by using Drone and Structure from Motion, 蘭州大学共同セミナー, 中国・蘭州, 口頭
- Lopez, J. A. V., Al-Lihaibi, S. S., Alarif, W. M., Abdel-Lateff, A., Washio, K., Morikawa, M., Okino, T., 2015年12月17日, Wewakazole B, a new cyclic dodecapeptide from the Red Sea cyanobacterium *Moorea producens*, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, ポスター*
- Lopez, J. A. V., Al-Lihaibi, S. S., Alarif, W. M., Abdel-Lateff, A., Washio, K., Morikawa, M., Okino, T., 2015年9月10日, Wewakazole B, a new cyclic dodecapeptide from the Red Sea cyanobacterium *Moorea producens*, 第57回天然有機化合物討論会, 横浜, ポスター
- Negishi, J., Imai, H., Uemura, F., Watanabe, N., Miura, K., Terui, A., Akasaka, T., Nakamura, F., 2015年8月12日, Short-term resilience of aquatic-riparian linkages to artificial floods in a gravel-bed river, Ecological Society of America Annual Meeting, アメリカ・ボルティモア, ポスター
- Petitbois, J., Abdel-Lateff, A., Alarif, W. M., Ayyad, S. N., Al-Lihaibi, S. S., Yoshimura, E., Nogata, Y., Okino, T., 2015年9月17日, Natural products as antifouling strategy - the case of compounds from organisms of the Red Sea, 第4回ワークショップ「船底塗料と海洋環境に関する最新の話題」, 函館, 口頭
- Rahman, M. M., 浮穴純貴, 齋藤健, 蔵崎正明, 2015年7月4日-5日, PC12細胞におけるCu、Cd及びZnの細胞毒性に対する複合効果の評価, 第26回日本微量元素学会, 札幌, 口頭
- Rakotonjoely, H., Tsuyuzaki, S., 2016年3月24日, Seed germination rate and seedling growth of native and invasive *Solidago* species, 日本生態学会第63回大会, 仙台, ポスター
- Sakti, S. C. W., Narita, Y., Tanaka, S., 2015年5月23日, Magnetic separation of Cu²⁺ from aqueous solution by dithiocarbamate modified magnetic chitosan, 第75回分析化学討論会, 甲府, ポス

ター

- Sakti, S. C. W., Narita, Y., Tanaka, S., 2015年9月9日, Development of dendrimer modified magnetic chitosan for magnetic separation of Cu(II) ion and humic acid in water, 日本分析化学会第64年会, 福岡, 口頭
- Sato, T., Erdenebat, E., Tamura, K., Sugimoto, S., 2016年3月3日, Multi-decadal regional climate experiments for understanding the roles of regional land-ocean-sea ice distributions on atmospheric variations over North Asia, The international science conference on MAHASRI, 東京, 口頭
- Sato, T., Mori, K., 2015年12月16日, Role of snow cover on urban heat island intensity investigated by urban canopy model with snow effects, AGU Fall meeting 2015, アメリカ・サンフランシスコ, 口頭
- Sikder, M. T., Hossain, Z., Pingki, P. B., Biswas, J. D., 2015年7月4日-5日, Traditional gravel-coal-sand based treatment of urban sullage water to assess the reusability, 第26回日本微量元素学会, 札幌, 口頭
- Tan, G., Liu, C., Kurasaki, M., 2016年3月3日-4日, Myricetin stimulates apoptosis induced by serum deprivation in PC-12 cells, The 3rd GI-CoRE Medical Science and Engineering Symposium (札幌), 札幌, ポスター
- Terui, A., Negishi, J., Watanabe, N., Nessa, B., Imai, H., Nakamura, F., 2016年3月24日, Bottom-up impacts across ecosystems: riverine eutrophication mediates terrestrial ecosystem functioning through spatial subsidies, 日本生態学会第63回大会, 仙台, 口頭
- Thapa, B., Watanabe, T., 2015年7月11日-15日, Flood hazard inundation in the Seti River, Nepal and socio economic impact on the downstream communities, May 5, 2012, 蘭州大学共同セミナー, 中国・蘭州, 口頭
- Thapa, B., Watanabe, T., 2015年10月4日-8日, Risk assessment of downstream communities, Pokhara Nepal, based on the seti river disaster (5 May 2012), Perth III 'Mountain of Our Future Earth', スコットランド・パース, 口頭
- Tran Bao, T., Toyoda, K., Hirose, K., 2015年7月29日, $^{87}\text{Sr}/^{86}\text{Sr}$ ratios in carbonate fractions extracted from core sediments of Lake Ogawara, Japan: High resolution proxy for paleo-salinity variation of brackish lake water over the last 9 ka, 国際第四紀学連合第19回大会, 名古屋, ポスター
- Tran Bao, T., Toyoda, K., Hirose, K., 2015年7月29日, Monitor soil acidification due to land rehabilitation in Can Gio coastal wetland of Vietnam through identification of iron minerals by remote sensing, 国際第四紀学連合第19回大会, 名古屋, ポスター
- Végh, L., 2015年12月11日, Plant diversity after volcanic eruption, case study: Mt. Usu, 北海道植物学会, 札幌, 口頭
- Yasir Haya, M. L. O., Fujii, M., 2015年10月7日, The study of coral cover change using multi temporal LANDSAT imagery data in Pangkajene Islands (PANGKEP), Spermonde Archipelago, South Sulawesi, Indonesia, The 8th International Conference on Asian Marine Geology, 韓国・済州, 口頭
- Yasir Haya, M. L. O., Fujii, M., 2015年12月10日, Change in coral cover detected by using multi-temporal LANDSAT imagery data in Pangkep Regency, South Sulawesi, Indonesia, The 3rd Asian/ 12th Korea-Japan Symposium on Ocean Color, 横浜, 口頭
- 一木拓哉, 佐藤友徳, 2015年10月28日, 夏季南アジアにおける降水の季節内変動, 日本気象学会 2015

年度秋季大会, 京都, ポスター

- 一木拓哉, 佐藤友徳, 2015年6月22日, 夏季南アジアにおける降水の季節内変動、日変動の同期に関する研究, 日本気象学会北海道支部 平成27年度第1回支部研究発表会, 札幌, 口頭
- 三浦一輝, 渡辺のぞみ, 根岸淳二郎, 2015年9月10日, 河川の落葉堆積によるカエルの越冬地提供とカエルの河川定着プロセス, 応用生態工学会, 郡山, 口頭
- 三浦一輝, 渡辺のぞみ, 根岸淳二郎, 2016年2月19日, 希少淡水二枚貝によるカエルの越冬地提供を介した生態系間のつながり, 日本生態学会北海道地区会, 札幌, 口頭
- 今井悠, 三浦一輝, 渡辺のぞみ, 根岸淳二郎, 中村太士, 2015年9月10日, 砂礫性節足動物に対するフラッシュ放流の影響評価: 群集構造と機能の短期的応答, 応用生態工学会, 郡山, 口頭
- 佐藤友徳, 中村誠吾, 2015年5月23日, 北日本太平洋側の冬季降水量に対する低気圧を介した海面水温の影響, 日本気象学会 2015年春季大会, つくば, ポスター
- 佐藤志徳, 山中康裕, 敷田麻実, 2015年4月11日, 外来者から地域づくり主体への変容過程に関する研究 -リゾートで形づくられたインフォーマルなコミュニティへの注目-, 農村計画学会 春期大会, 東京, ポスター
- 劉闔, 宋雨桐, 齋藤健, 蔵崎正明, 2015年7月4日-5日, 銅曝露されたPC12細胞中のアポトーシス因子変動に及ぼすノニルフェノールエソキシレートの影響, 第26回日本微量元素学会(札幌), 札幌, 口頭
- 天澤俊行, 佐藤友徳, 2015年5月24日, 東京に降雪をもたらす低気圧の経路と黒潮流路変動の関係についての統計解析, 日本気象学会 2015年春季大会, つくば, 口頭
- 奥野勉, 宋雨桐, 小森幹育子, 蔵崎正明, 2015年7月17日-18日, 培養ヒト表皮角化細胞における(6-4)光産物生成の紫外放射の作用スペクトル, 第37回日本光医学・光生物学会(東京), 宮崎, 口頭
- 宋雨桐, 田島大敬, 伊藤敬三, 奥野勉, 蔵崎正明, 2015年7月17日-18日, UV照射による(6-4)光産物産生のブドウ抽出物による抑制効果, 第37回日本光医学・光生物学会, 宮崎, 口頭
- 小林勇介, タパバーバナ, 渡邊悌二, 2016年3月21日-23日, ネパール・ドラカ郡タマコシ川に沿って分布する集落の被災調査, 日本地理学会春季大会, 東京, 口頭
- 小林勇介, 渡邊悌二, 2016年3月21日-23日, 大雪山北海平における登山道侵食— UAVおよびSfMを用いた登山道DSMの作成, 日本地理学会春季大会, 東京, ポスター
- 山下綾乃, 佐々木隆浩, 田中俊逸, 2015年6月24日, ポリマー被覆プルシアンブルー修飾炭素素材へのセシウム吸着挙動に関する検討, 第24回環境化学討論会, 札幌, 口頭
- 山下綾乃, 佐々木隆浩, 田中俊逸, 2015年7月18日, ポリマー被覆プルシアンブルー修飾炭素素材の開発とセシウムの吸着への適用, 日本化学会北海道支部 2015年夏季研究発表会, 函館, 口頭
- 山下綾乃, 佐々木隆浩, 田中俊逸, 2016年1月19日, ポリマー被覆プルシアンブルー修飾炭素素材によるCs吸着性能の検討, 化学系学協会北海道支部 2016年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 山岸秀明, 田中俊逸, 古月文志, 川口俊一, 2015年10月13日, 酸化グラフェンを利用した電気化学キャパシタ用電極材料の開発, 第5回CSJ化学フェスタ, 東京, ポスター
- 岩村桐子, 明本靖広, 田中俊逸, 2016年1月19日, 界面動電的手法による鉛の除去におけるフミン酸の影響, 化学系学協会北海道支部 2016年冬季研究発表会, 札幌, ポスター
- 巴鑫, 河内直子, 藤井賢彦, 渡辺健太郎, 2015年11月28日, 調査報告 ~ホッキの安定同位体分析から~, 2015 海と湿原のつながり調査報告会, 浜中, 口頭
- 張乃曼, 張森, 小篠隆生, 池上真紀, 藤井賢彦, 2015年11月13日, 中国の大学における北海道大学サステナブルキャンパス評価システムの適用可能性検討 — 清華大学を例として —, CAS-Net JAPAN 2015, 千葉, 口頭
- 施明カイ, 澤田恵梨子, 猪澤海, 猪澤也寸志, 藤井賢彦, 2015年11月28日, 宮古島・カヤツファビーチ

における遊泳負荷スマートコントロール実証検証, 日本サンゴ礁学会第 18 回大会, 東京, ポスター

明本靖広, 宮村良輔, 田中俊逸, 2015 年 6 月 18 日, エレクトロカイネティック法を用いた模擬汚染土壌中のセシウムイオンの挙動, 第 21 回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会, 福岡, ポスター

明本靖広, 岩村桐子, 田中俊逸, 2015 年 9 月 9 日, 動電的手法を用いた土壌中からのセシウム除去における粘土鉱物の影響, 日本分析化学会第 64 年会, 福岡, ポスター

明本靖広, 菅正彦, 田中俊逸, 2015 年 6 月 24 日, 土壌中からの塩類除去のための動電的手法の適用, 第 24 回環境化学討論会, 札幌, 口頭

正木志良, 金子賢介, 小林大毅, 石川高史, 西川慶祐, 森本善樹, 鷲尾健司, 森川正章, 沖野龍文, 2016 年 3 月 30 日, 紅藻マギレソゾ *Laurencia saitoi* 由来ブロモペルオキシダーゼの臭素化反応, 日本農芸化学会 2016 年度大会, 札幌, ポスター*

渡辺のぞみ, 今井悠, 根岸淳二郎, 中村太士, 2015 年 9 月 10 日, 扇状地河川において河川内地形は砂礫性節足動物の分布を制限するか?, 応用生態工学会, 郡山, 口頭

渡辺侑二, 石川正樹, 小林勇介, 2016 年 3 月 21 日-23 日, 登山道侵食の 3 次元計測・解析手法の開発と大雪山国立公園におけるその適用, 日本地理学会春季大会, 東京, ポスター

澤田恵梨子, 施メイカイ, 猪澤也寸志, 窪田涼, 藤井賢彦, 2016 年 3 月 3 日, エコツーリズムをブランド革新する鍵としての LCA 評価手法の提案, 日本 LCA 学会, 柏, 口頭

田村健太, 佐藤友徳, 2015 年 10 月 30 日, 領域気象モデルを用いた海面水温操作実験における冬季北海道西岸沖に発生するポーラーローの応答, 日本気象学会 2015 年度秋季大会, 京都, ポスター

石川高史, 金子賢介, 湯暁蓉, 鷲尾健司, 森川正章, 沖野龍文, 2016 年 1 月 19 日, 紅藻ミツデソゾ (*Laurencia okamurae*) 由来ブロモペルオキシダーゼの性状解析, 化学系学協会北海道支部 2016 年冬季研究発表会, 札幌, 口頭*

福田陽一郎, 小野理, 丹羽忍, 藤井賢彦, 2015 年 11 月 12 日, 北海道におけるバイオマス資源のマッピングとポテンシャル評価, 第 23 回衛生工学シンポジウム, 札幌, ポスター

藤井賢彦, 澤舘隆宏, Rospriandana, N., 2016 年 2 月 19 日, 地域資源としての小水力ポテンシャルの見積もり, 小水力発電セミナー, 札幌, 口頭

豊田和弘, 藤暢輔, 轟米清, 米延仁志, 2016 年 1 月 14 日, 汽水湖のコア堆積物中のホウ素の定量 -PGA 法と ICP 発光分析法との比較, 京都大学原子炉実験所専門研究会, 京都, 口頭

鎌田詢也, 上面雅義, 川口俊一, 田中俊逸, 2016 年 1 月 19 日, JA 士幌じゃがいもでんぷん工場廃液の分析と再利用化への検討, 化学系学協会北海道支部 2016 年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

高木俊甫, 高田壮則, 2015 年 12 月 5 日, 森林伐採が里山に与える影響の数理的研究, 第 47 回種生物学シンポジウム, 羽島, ポスター

高木俊甫, 高田壮則, 2016 年 3 月 22 日, 森林伐採が里山に与える影響の数理的研究 ～環境価値・経済的価値をめぐるゲーム, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, ポスター

高橋慧良, 上面雅義, 川口俊一, 田中俊逸, 2016 年 1 月 19 日, アルギン酸-タンニン酸複合ゲルビーズのストロンチウムに対する吸着評価, 化学系学協会北海道支部 2016 年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

<平成 26 年度報告書以前の掲載漏れ>

Sakti, S. C. W., Narita, Y., Tanaka, S., 2015 年 3 月 26 日, Adsorption of Cd(II) and Cu(II) Ions from Aqueous Solution by Dendritic Chitosan/Magnetite Micro Particle, 日本化学会第 95 春季年会, 船橋, 口頭

宮村良輔, 明本靖広, 田中俊逸, 2015年3月26日, Electrokinetic process を用いた土壌地下水中セシウムイオンの除去についての研究, 日本化学会第95春季年会, 船橋, ポスター

地球圏科学専攻

Boreddy, S. K. R., Müller, A., Kawamura, K., 2015年12月14日-18日, A 12-year observation of chemical and hygroscopic properties of marine aerosols over the western North Pacific, AGU Fall Meeting, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター

Bui Thi, N. O., Kameyama, S., Yoshikawa-Inoue, H., Ishii, M., Sasano, D., Katsumata, K., Uchida, H., 2015年11月17日, Dissolved methane distribution in surface seawater and its controlling factors in mid- and high-latitudes in the Southern Ocean, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭

Divyavani, G., Kawamura, K., Mochizuki, T., 2015年8月6日-7日, Photochemical production of organic acids from biogenic and anthropogenic precursors: Aqueous phase laboratory experiments, 第33回日本有機地球化学シンポジウム, 札幌, 口頭

Divyavani, Kawamura, K., 2015年12月14日-18日, Identification of keto- and hydroxy-dicarboxylic acids in remote marine aerosols from the western North Pacific: GC and GC/TOF-MS measurements, AGU Fall Meeting, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター

Fan, R., Takano, S., Morozumi, T., Shingubara, R., Tei, S., Maximov, T. C., Sugimoto, A., 2016年3月4日, Ecology of willow in the Arctic for reconstruction of Indigirka river condition and its tributaries, GRENE 北極気候変動研究事業研究成果報告会, 立川, ポスター

Fraser, A. D., Ohshima, K. I., Nihashi, S., Massom, R. A., Tamura, T., 2015年6月26日, Landfast sea ice: the missing factor explaining Antarctic coastal polynya sea ice production, 26th IUGG General Assembly 2015, チェコ・プラハ, 口頭

Fujiwara, M., Hibino, T., Mehta, S. K., Gray, L., Mitchell, D., Anstey, J., 2015年10月26日-27日, Global temperature response to the major volcanic eruptions in multiple reanalysis datasets, The First Asian Conference on Meteorology 2015, 京都, ポスター

Fujiyoshi, R., Tsujimura, M., Lopez, C. M. L., Sugimoto, A., 2015年5月24日-28日, Spatial variations in larch and soil nitrogen isotope ratio along forest-grassland gradient in northern Mongolia, 日本地球惑星科学連合2015年大会, 千葉, 口頭

Fukamachi, Y., Ohshima, K. I., Iwamoto, K., Tamura, T., Nihashi, S., 2016年1月27日, Validation of AMSR-E thin ice algorithm based on moored ice profiling sonar measurement, Workshop on satellite data for Arctic research and applications, Side event during Arctic Frontiers 2016, ノルウェー・トロムソ, 口頭

Fukamachi, Y., Shimizu, d., Ohshima, K. I., Iwamoto, K., Eicken, H., Mahoney, A. R., 2015年4月28日, Characteristics of sea-ice draft revealed by a moored ice-profiling sonar in the Chukchi Sea off Barrow, Alaska, Fourth International Symposium on the Arctic Research (ISAR-4), 富山, ポスター

Greve, R., Galton-Fenzi, B., Sato, T., 2015年6月28日, A simple parameterisation of ice shelf basal melting and its implementation in the ice sheet model SICOPOLIS, 26th IUGG General Assembly 2015, チェコ・プラハ, 口頭

Haque, M. M., Kawamura, K., Kim, Y., 2015年12月14日-18日, Seasonal variations of biomass burning tracers in Alaskan aerosols, AGU Fall Meeting, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター

- Haque, M. M., Kawamura, K., Kim, Y., 2015 年 8 月 6 日-7 日, Seasonal variations and source apportionment of sugar components in atmospheric particulate matter from interior Alaska, 第 33 回日本有機地球化学シンポジウム, 札幌, 口頭
- Hirano, D., Fukamachi, Y., Watanabe, E., Iwamoto, K., Mahoney, A. R., Eicken, H., Shimizu, d., Ohshima, K. I., Tamura, T., 2015 年 4 月 28 日, A wind-driven, hybrid latent and sensible heat coastal polynya at Barrow, Alaska, Fourth International Symposium on the Arctic Research (ISAR-4), 富山, 口頭
- Hirano, D., Fukamachi, Y., Watanabe, E., Iwamoto, K., Mahoney, A. R., Eicken, H., Shimizu, d., Ohshima, K. I., Tamura, T., 2015 年 6 月 27 日, A wind-driven, hybrid latent and sensible heat coastal polynya at Barrow, Alaska, 26th IUGG General Assembly 2015, チェコ・プラハ, 口頭
- Iizuka, Y., Matoba, S., Shinbori, K., Saito, T., Furukawa, R., Oyabu, I., Kadota, M., Seki, O., Sugiyama, S., Miyamoto, A., Yamasaki, T., Hori, A., Aoki, T., Yamaguchi, S., Fujita, K., Uemura, R., Fujita, S., Motoyama, H., 2015 年 11 月 30 日-12 月 2 日, Shallow ice core project on south-east dome in Greenland - Drilling report and science trench of the ice core, ILTS International Symposium on Low Temperature Science, 札幌, ポスター
- Iizuka, Y., Matoba, S., Yamasaki, T., Oyabu, I., Kadota, M., 2015 年 11 月 16 日, Ice core drilling on the South-East Dome in Greenland Ice Sheet, The Sixth Symposium on Polar Science, 立川, 口頭
- Irino, T., Nakai, Y., Lu, S., Yamamoto, M., Miyazaki, Y., Kawamura, K., Yamada, K., Yonenobu, H., Tada, R., Murray, R. W., Alvarez Zarikian, C. A., Expedition 346 Scientists, 2015 年 7 月 29 日, Temporal variation of very fine elemental carbon in marginal sea and lake sediments in the northern Far East region, XIX INQUA Congress, 名古屋, 口頭
- Ito, K., Nakamura, T., 2015 年 7 月 30 日, Vortex-internal waves interaction in quasi-linear and nonlinear regimes, 26th IUGG General Assembly 2015, チェコ・プラハ, 口頭
- Ito, K., Nakamura, T., 2016 年 2 月 21 日-26 日, Theoretical analysis of vertical mode internal waves affected by a vortex, 2016 Ocean Sciences Meeting, アメリカ・ニューオーリンズ, ポスター
- Ito, M., Ohshima, K. I., Nishioka, J., Kusumoto, Y., Mizuta, G., Fukamachi, Y., 2015 年 6 月 17 日, Sediment upward dispersion and frail ice formation by strong wnd events -A possible mechanism of iron supply to sea ice, ESSAS Annual Science Meeting, アメリカ・シアトル, 口頭
- Ito, M., Ohshima, K. I., Nishioka, J., Kusimoto, Y., Mizuta, G., Fukamachi, Y., 2016 年 2 月 23 日, Observations of frazil ice formation and sediment upward transport off the northeast coast of Sakhalin, The 31th International Symposium on Okhotsk Sea & Sea Ice, 紋別, 口頭
- Ito, M., Ohshima, K. I., Nishioka, J., Kusimoto, Y., Mizuta, G., Fukamachi, Y., 2016 年 3 月 15 日, 海氷結氷時における海底堆積物の上方輸送の観測, 日本海洋学会 2016 年度春季大会, 東京, 口頭
- Kanna, N., Nishioka, J., Toyota, T., 2015 年 8 月 21 日, Iron Enrichment by sea ice melting in the surface water in the Okhotsk Sea, Goldshmid conference 2015, チェコ・プラハ, 口頭
- Kanna, N., Toyota, T., Nishioka, J., 2016 年 3 月 7 日, Iron supply processes associated with melting of seasonal sea ice in the sub-polar marginal sea; the Sea of Okhotsk, ESSAS 国際会議, 横浜, ポスター
- Karaki, T., Mitsudera, H., Kuroda, H., 2015 年 4 月 21 日, On the structure and dynamics of soya warm current from the viewpoint of buoyancy arrest, The 18th Pacific-Asian Marginal Seas Meeting, 那覇, ポスター

- Karaki, T., Mitsudera, H., Kuroda, H., 2016年2月23日, On the structure and dynamics of soya warm current from the viewpoint of the bottom boundary layer, 第31回北方圏国際シンポジウム, 紋別
- Kashiwase, H., Ohshima, K. I., Fukamachi, Y., Nihashi, S., 2016年1月20日, Thin-ice thickness algorithm for AMSR-E based on the comparison with the mooring observation, Joint PI Meeting of Global Environment Observation Mission 2015, 東京, ポスター
- Kashiwase, H., Ohshima, K. I., Nihashi, S., Eicken, H., 2015年12月1日, Ice-ocean albedo feedback effect on recent drastic reduction in Arctic sea ice cover, ILTS International Symposium on Low Temperature Science, 札幌, ポスター
- Kitayama, A., Sugimoto, A., Yonenobu, H., Mijidsuren, B., Lopez, L., 2015年5月25日, モンゴルに生育するシベリアカラマツの過去100年間の環境変動に対する応答 Response of Siberian larch in Mongolia to environmental variability for the last century, 日本地球惑星科学連合連合大会, 千葉, ポスター
- Kunwar, B., Kawamura, K., Nosaka, K., Miyazaki, Y., Haque, M., 2015年8月6日-7日, One year observations of diacids, oxoacids and α -dicarbonyls in deciduous forest aerosols from Hokkaido, 第33回日本有機地球化学シンポジウム, 札幌, 口頭
- Matsumura, Y., Ito, M., Ohshima, K. I., 2015年11月19日, Modeling sediment entrainment into newly formed sea ice, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭
- Matsumura, Y., Ohashi, Y., Aoki, S., Sugiyama, S., 2016年3月24日, Modeling turbid melt water plume and associated sediment transport, International workshop on "Greenland ice sheet mass loss and its impact on global climate change", 札幌, 口頭
- Mimura, S., Hasebe, F., 2015年7月22日, Ice nucleation in the Tropical Tropopause Layer characterized by ice cloud parameters observed by ATTREX 2011, Composition and Transport in the Tropical Troposphere and Lower Stratosphere Meeting, アメリカ・ボルダー, ポスター
- Mimura, S., Hasebe, F., Shibata, T., 2015年10月26日, Formation of high ice concentration cirrus in the Tropical Tropopause Layer observed by ATTREX 2011, Asian Conference on Meteorology, 京都, ポスター
- Minowa, M., Sugiyama, S., 2015年11月30日-12月2日, Seasonal variation in the dynamics of Bowdoin Glacier, northwest Greenland, 低温科学研究所国際シンポジウム, 札幌, ポスター
- Minowa, M., Sugiyama, S., Ohashi, Y., Sawagaki, T., Tsutaki, S., Sakakibara, D., Aoki, S., Podolskiy, E., Yvo, W., 2016年3月3日-4日, Water properties and circulation in front of tidewater glaciers in northwest Greenland, GRENE 北極気候変動研究事業研究成果報告会, 立川, ポスター
- Minowa, M., Sugiyama, S., Sakakibara, D., Skvarca, P., 2015年5月24日-28日, Seasonal variations in thermal structure of proglacial lakes in the Southern Patagonia Icefields, 日本地球惑星科学連合2015年大会, 千葉, ポスター
- Minowa, M., Sugiyama, S., Sakakibara, D., Skvarca, P., Ohashi, Y., Sawagaki, T., Naito, N., Chikita, K., 2015年8月17日-22日, Seasonal variations in the thermal structure of proglacial lakes in the southern patagonia icefield, 国際雪氷学会, イギリス・ケンブリッジ, ポスター
- Minowa, M., Sugiyama, S., Sawagaki, T., Tsutaki, S., Sakakibara, D., 2015年11月16日-19日, Seasonal variation in the dynamics of Bowdoin Glacier, northwest Greenland, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター
- Minowa, M., Sugiyama, S., Sawagaki, T., Tsutaki, S., Sakakibara, D., 2016年3月3日-4日, Short-term variations in the dynamics of Bowdoin Glacier in northwestern Greenland,

GRENE 北極気候変動研究事業研究成果報告会, 立川, ポスター

- Miyazaki, Y., Fu, P., Sawano, M., Jung, J., Yamanoi, K., Uematsu, M., Volkamer, R., Kawamura, K., 2015年11月30日, Origin and formation mechanisms of atmospheric organic aerosols in marine and terrestrial ecosystems, ILTS International Symposium on Low Temperature Science, 札幌, 口頭
- Mori, F., Shimoyama, K., Watanabe, T., 2015年12月1日, Turbulence structure measurement in atmospheric surface layers visualized by a PIV technique, ILTS International Symposium on Low Temperature Science, 札幌, ポスター
- Morozumi, T., Bragin, I., Shingubara, R., Takano, S., Tei, S., Maximov, T. C., Sugimoto, A., 2015年4月23日-30日, Vegetation mapping for estimation of regional CH₄ emission for Taiga-Tundra boundary in East Siberia, ISAR-4 : Fourth International Symposium on the Arctic Research, 富山, ポスター
- Morozumi, T., Bragin, I., Shingubara, R., Takano, S., Tei, S., Maximov, T.C., Kobayashi, H., Suzuki, R., Sugimoto, A., 2015年11月16日-19日, 衛星画像を用いたタイガ-ツンドラ境界のヤナギ及び水生植生の分類, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター
- Morozumi, T., Shingubara, R., Fan, R., Takano, S., Tei, S., Maximov, T. C., Kobayashi, H., Suzuki, R., Sugimoto, A., 2016年3月3日, タイガツンドラ境界の GRENE-TEA 観測サイトの高解像度植生図作成とメタン放出量推定, GRENE 北極気候変動研究事業研究成果報告会, 立川, ポスター
- Motoyama, H., Matoba, S., Fujita, K., Yamasaki, T., Omura, Y., Minowa, M., Komuro, Y., Kadota, M., Yamaguchi, S., Aoki, T., 2015年4月29日, Preliminary results of an ice core obtained from Northwestern Greenland Ice Sheet (SIGMA-D), ISAR-4, ICARP3, 富山, ポスター
- Nakamura, T., Takeuchi, Y., Uchimoto, K., Mitsuderea, H., Wakatsuchi, M., 2015年6月30日, Effects of temporal variation in tide-induced vertical mixing on the thermohaline circulation: A case of the Okhotsk Sea, 26th IUGG General Assembly 2015, チェコ・プラハ, 口頭
- Nakayama, Y., Ohshima, K. I., Matsumura, Y., Fukamachi, Y., Hasumi, H., 2015年7月1日, A numerical investigation of formation and variability of Antarctic bottom water off Cape Darnley, East Antarctica, 26th IUGG General Assembly, チェコ・プラハ, 口頭
- Nihashi, S., Ohshima, K. I., 2015年6月26日, Coincident circumpolar mapping of Antarctic coastal polynyas and landfast sea ice; their relationship and linkage, 26th IUGG General Assembly 2015, チェコ・プラハ, 口頭
- Noguchi, T., Hasebe, F., 2015年10月26日, The mechanism of the stepwise decrease of stratospheric water around the year 2000, Asian Conference on Meteorology, 京都, ポスター
- Noguchi, T., Hasebe, F., 2015年7月23日, A lagrangian description on the troposphere - stratosphere transport changes associated with the stratospheric water drop around the year 2000, Composition and Transport in the Tropical Troposphere and Lower Stratosphere Meeting, アメリカ・ボルダー, 口頭
- Nomura, D., Delille, B., Dieckmann, G. S., Granskog, M. A., Tison, J., Meiners, K. M., Ohshima, K. I., Tamura, T., 2015年8月21日, Mid-winter surveys for sea ice biogeochemistry in bi-polar oceans, Goldshmid conference 2015, チェコ・プラハ, 口頭
- Ohashi, Y., Iida, T., Sugiyama, S., Aoki, S., 2015年11月19日, Temporal variations in the extent of high turbidity water off the Thule region, northwest Greenland, The Sixth Symposium on Polar Science, 立川, ポスター
- Ohata, Y., Toyota, T., Shiraiwa, T., 2015年11月16日, Lake ice formation processes and thickness

- evolution at Lake Abashiri, Hokkaido, Japan, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター
- Ohshima, K. I., Fukamachi, Y., Williams, G. D., Nihashi, S., Tamura, T., Kitade, Y., Hirano, D., Aoki, S., Wakatsuchi, M.*, 2015年7月1日, The fourth Antarctic Bottom Water: Cape Darnley Bottom Water, 26th IUGG General Assembly 2015, チェコ・プラハ, 口頭
- Ohshima, K. I., Nakayama, Y., Fukamachi, Y., Matsumura, Y., Nihashi, S., Tamura, T., Kitade, Y., Hirano, D., Shimizu, D., Aoki, S.*, 2016年2月25日, Formation and variability of Antarctic Bottom Water off Cape Darnley: The fourth Antarctic Bottom Water, 2016 AGU Ocean Sciences Meeting, アメリカ・ニューオーリンズ, 口頭
- Sakakibara, D., Sugiyama, S.*, 2015年6月22日-7月2日, Ice front and flow speed variations of marine terminating outlet glaciers along the coast of Prudhoe Land, northwestern Greenland, 国際測地学及び地球物理学連合大会, チェコ・プラハ, ポスター
- Sakakibara, D., Sugiyama, S.*, 2015年11月16日-19日, Seasonal changes in ice front position and flow speed of marine terminating outlet glaciers in northwestern Greenland, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター
- Seddik, H., Greve, R., Sugiyama, S., Sakakibara, D., Tsutaki, S.*, 2016年3月4日, Modeling the flow dynamics of Bowdoin Glacier, Qaanaaq region, northwestern Greenland, Final Symposium of the GRENE Arctic Climate Change Research Project, 立川, ポスター
- Seki, O., Mikami, Y., Nagao, S., Bendle, J., Nakatsuka, T.*, 2015年4月21日-23日, The source and transport of particulate terrestrial organic matter to the Sea of Okhotsk, The 18th Pacific-Asian Marginal Seas Meeting, 那覇, 口頭
- Shingubara, R., Sugimoto, A., Murase, J., Tei, S., Takano, S., Morozumi, T., Iwahana, G., Maximov, T. C.*, 2015年4月29日, Interannual variation in CH₄ efflux at taiga-tundra boundary on the lowland of Indigirka River, 4th International Symposium on the Arctic Research (Arctic Science Summit Week 2015), 富山, ポスター
- Shingubara, R., Sugimoto, A., Murase, J., Tei, S., Takano, S., Morozumi, T., Liang, M., Iwahana, G., Maximov, T. C.*, 2015年11月19日, Inter-annual variation in CH₄ efflux and the associated processes with reference to delta-¹³C-, delta-D-CH₄ at the Lowland of Indigirka River in Northeastern Siberia, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター
- Shingubara, R., Sugimoto, A., Murase, J., Tei, S., Takano, S., Morozumi, T., Liang, M., Iwahana, G., Maximov, T. C.*, 2016年3月4日, 東シベリアインディギルカ川低地におけるCH₄放出フラックスの年々変動とδ¹³C-, δD-CH₄から見たプロセス, GRENE北極気候変動研究事業研究成果報告会, 立川, ポスター
- Sugiyama, S., Tsutaki, S., Sakakibara, D., Saito, J., Maruyama, M., Katayama, N., Sawagaki, T., Funk, M., Bauder, A.*, 2015年4月23日-30日, Glacier dynamics near the calving front of Bowdoin Glacier, northwestern Greenland, ISAR4/ICARPIII, ASSW2015 Science Symposium, 富山, 口頭
- Sugiyama, S., Tsutaki, S., Sakakibara, D., Saito, J., Maruyama, M., Katayama, N., Sawagaki, T., Funk, M., Bauder, A.*, 2015年8月16日-21日, Glacier dynamics near the calving front of Bowdoin Glacier, northwestern Greenland, 国際雪氷学会, イギリス・ケンブリッジ, 口頭
- Sugiyama, S., Tsutaki, S., Sakakibara, D., Saito, J., Ohashi, Y., Maruyama, M., Katayama, N., Podolskiy, E., Minowa, M., Matoba, S., Sawagaki, T., Funk, M., Genco, R.*, 2015年11月30日-12月2日, Ice mass loss in northwestern Greenland, 低温科学研究所国際シンポジウム, 札幌, 口頭

- Sugiyama, S.*, Tsutaki, S., Sakakibara, D., Saito, J., Ohashi, Y., Maruyama, M., Katayama, N., Podolskiy, E., Minowa, M., Sawagaki, T., Funk, M., Genco, R., Enomoto, H., 2015年11月16日-19日, Ice mass loss in northwestern Greenland-Results of the GRENE Greenland project and overview of the ArCS Greenland project-, 第6回極域科学シンポジウム, 東京, 口頭
- Suzuki, K., *Yamamoto, M.*, Nam, S. I., *Irino, T.*, Park, Y. H., Yamanaka, T., 2015年10月7日, Changes in ice drift pattern in the western Arctic Ocean during the last 70,000 years, 18th International Meeting of Asian Marine Geology, 韓国・済州, 口頭
- Takano, S., Tei, S., *Sugimoto, A.*, Petrov, R., Maximov, T. C., 2015年4月23日-30日, Spatial variation of snow cover in Indigirka lowland observed in spring 2014, ISAR-4 : Fourth International Symposium on the Arctic Research, 富山, ポスター
- Takano, S., Tei, S., *Sugimoto, A.*, Petrov, R., Maximov, T. C., 2016年3月3日-4日, Spatial variation of snow cover in Indigirka lowland observed in spring 2014/2015, GRENE 北極気候変動研究事業研究成果報告会, 立川, ポスター
- Tamura, T., *Ohshima, K. I.*, Williams, G. D., Fraser, A. D., 2015年6月27日, Sea ice production variability in the Antarctic coastal polynyas, 26th IUGG General Assembly 2015, チェコ・プラハ, 口頭
- Tsutaki, S., Maruyama, M., *Sugiyama, S.*, Sakakibara, D., Sawagaki, T., 2015年11月16日-19日, Field observations of surface mass balance, ice velocity and ice temperature on Qaanaaq ice cap, northwestern Greenland, 第6回極域科学シンポジウム, 東京, ポスター
- Tsutaki, S., Maruyama, M., *Sugiyama, S.*, Sakakibara, D., Sawagaki, T., 2015年11月30日-12月2日, Field observations of surface mass balance, ice velocity and ice temperature on Qaanaaq ice cap, northwestern Greenland, 北海道大学低温科学研究所国際シンポジウム, 札幌, ポスター
- Tsutaki, S., *Sugiyama, S.*, Sakakibara, D., Sawagaki, T., Maruyama, M., Saito, J., Katayama, N., 2015年4月27日-30日, Recent thinning of Bowdoin Glacier, a marine-terminating outlet glacier in northwestern Greenland, ISAR4/ICARPIII, ASSW2015 Science Symposium, 富山, 口頭
- Tyagi, P., Kariya, T., Lee, M., *Kawamura, K.*, 2015年9月7日-11日, Soil microorganisms and terrestrial plant metabolites in marine aerosols from the western North Pacific Rim: one-year observation of hydroxy fatty acids over Gosan site, Jeju Island, SOLAS Open Science Conference 2015, ドイツ・キール, ポスター
- Tyagi, P., *Kawamura, K.*, Fu, P., Srinivas, B., Kanaya, Y., Wang, Z., 2015年8月6日-7日, Biomass burning impacts on soil microorganisms and plant metabolites: evidence from molecular distributions of hydroxy fatty acids in summertime aerosols over Mt. Tai, 第33回日本有機地球化学シンポジウム, 札幌, 口頭
- Yamamoto, M.*, Kuwae, M., Abe, M., Ichikawa, N., Moriya, K., *Yoshimori, M.*, Abe-Ouchi, A., Takemura, K., Ikehara, K., Kobash, T., 2015年7月31日, Sedimentary record of the Pacific Decadal Oscillation during the last 2900 years, XIX INQUA Congress, 名古屋, 口頭
- Yamamoto, M.*, Nam, S. I., Kobayashi, D., *Irino, T.*, Shimada, K., 2015年10月7日, Millennial-scale variability in the Bering Strait inflow during the Holocene, 18th International Meeting of Asian Marine Geology, 韓国・済州, 口頭
- Yamamoto, M.*, Nam, S. I., Polyak, L., Kobayashi, D., *Irino, T.*, Shimada, K., 2015年4月27日, Insolation control on the Beaufort Gyre dynamics during the Holocene, The Fourth International Symposium on the Arctic Research (ISAR-4), 富山, 口頭

- Yamamoto, M., Ohira, F., Yamashita, Y., 2015年9月13日-18日, Spatial and size distributions of intact and core glycerol dialkyl glycerol tetraethers in suspended particulates in the North Pacific, 27th International Meeting on Organic Geochemistry, チェコ・プラハ, ポスター
- Yamashita, Y., Tanaka, K., Kuma, K., Hamasaki, K., 2015年4月21日-23日, Accumulation of humic-like fluorescent dissolved organic matter in the Japan Sea Proper Water, 18th Pacific-Asian Marginal Seas Meeting at Naha, 那覇, ポスター
- Yoshida, K., Endo, H., Suzuki, K., 2015年11月26日-27日, Different photosynthetic responses to temperature between phytoplankton assemblages in coastal Oyashio and Oyashio waters of the western subarctic Pacific in early spring, 第18回北海道大学-ソウル国立大学ジョイントシンポジウム分科会, 韓国・ソウル, 口頭
- Yoshida, K., Endo, H., Suzuki, K., 2015年7月27日-8月1日, Different photosynthetic responses between phytoplankton assemblages in coastal Oyashio and Oyashio waters of the western subarctic Pacific in early spring, Croucher Summer Course “Climate Change and Marine Ecosystems”, 中国・香港, ポスター
- Yoshikawa-Inoue, H., Tohjima, Y., Irino, T., Zhu, C., 2016年3月4日, Variations in atmospheric CO₂, CH₄, CO and BC on Rishiri Island, northern Japan, GRENE 北極気候変動研究事業研究成果報告会, 立川, ポスター
- Zhang, W., Ebuchi, N., Emery, B., Fukamachi, Y., Abe, H., Shirasawa, K., Toyota, T., 2015年12月16日, Sea ice velocity observation by HF radar: Comparison with ADCP and buoy drifter measurements, 研究集会「海洋レーダーを用いた海況監視システムの開発と応用」, 春日, 口頭
- 三村慧, 長谷部文雄, 2015年5月21日, 熱帯対流圏界層における氷晶生成過程, 日本気象学会 2015年春季大会, つくば, ポスター
- 三村慧, 長谷部文雄, 柴田隆, 2015年10月28日, 熱帯対流圏界層における高氷晶数密度巻雲の生成条件の考察, 日本気象学会 2015年度秋季大会, 京都, 口頭
- 中根基裕, 味岡拓, 山下洋平, 2015年8月6日-7日, 溶存画分における熱起源有機物の定量法の検討, 第33回日本有機地球化学シンポジウム, 札幌, ポスター
- 中田和輝, 大島慶一郎, 二橋創平, 2016年3月16日, ポリニヤタイプを考慮した薄氷厚アルゴリズムの開発, 日本海洋学会 2016年度春季大会, 東京, 口頭
- 二橋創平, Fraser, A. D., 大島慶一郎, 2015年5月27日, AMSR-E データを用いた南極海の定着氷域の新しい検出方法, 日本地球惑星科学連合 2015年大会, 千葉, 口頭
- 二橋創平, 大島慶一郎, 2015年9月28日, AMSR-E を用いた南極海における海氷の結氷・融解過程に関する熱塩フラックスデータセットの作成, 日本海洋学会 2015年度秋季大会, 松山, 口頭
- 二橋創平, 大島慶一郎, 2016年3月16日, AMSR2 データを用いた南極海における薄氷厚推定アルゴリズムの開発, 日本海洋学会 2016年度春季大会, 東京, 口頭
- 井上貴央, 山下洋平, 福澤加里部, 吉田俊也, 柴田英昭, 2015年10月30日-11月1日, 植生の違いが表層土壌の溶存窒素動態に及ぼす影響, 生物地球化学研究会 2015年十和田セッション, 十和田, ポスター
- 伊藤優人, 大島慶一郎, 深町康, 清水大輔, Mahoney, A. R., Eicken, H., 2015年11月16日, チャクチ海バロー沖におけるフラジリアイス生成と海底堆積物の上方輸送の観測, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭
- 伊藤優人, 大島慶一郎, 深町康, 清水大輔, Mahoney, A. R., Eicken, H., 2015年9月28日, 北極バロー沖沿岸ポリニヤにおけるフラジリアイスの生成・沈降と堆積物粒子の上方輸送の観測, 日本海洋学会 2015年度秋季大会, 松山, 口頭

伊藤優人, 大島慶一郎, 西岡純, 楠本仁麦, 水田元太, 深町康, 2016年3月15日, 海氷結氷期における海底堆積物の上方輸送の観測, 日本海洋学会 2016年度春季大会, 東京, 口頭

伊藤薫, 中村知裕, 2015年9月28日, 準線形・非線形での渦と内部波の相互作用, 日本海洋学会 2015年度秋季大会, 松山, 口頭

入野智久, 中井淑恵, 芦松, 山田和芳, 米延仁志, 多田隆治, 2015年5月28日, 日本の湖沼堆積物に含まれる極細粒元素状炭素量の変動, 日本地球惑星科学連合 2015年大会, 千葉, 口頭

原田くるみ, 山本正伸, 佐川拓也, 2015年11月21日, 西部太平洋赤道域におけるアーキア細胞膜脂質の時系列変動, 2015年度地球環境史学会年会, 東京, 口頭

味岡拓, 山本正伸, 竹村恵二, 林田明, 北川浩之, 2015年5月28日, ブランチ GDGT 組成に基づく過去28万年間の琵琶湖の湖水 pH と水温の変動, 日本地球惑星科学連合 2015年大会, 千葉, 口頭

唐木達郎, 2015年7月9日, 北海道北東沿岸海域で発達する宗谷暖流の構造について, 宗谷暖流研究会, 札幌, 口頭

唐木達郎, 三寺史夫, 黒田寛, 2016年3月17日, 季節躍層、陸棚斜面、一様な流れによって流下方向に発達する宗谷暖流の傾圧構造に関する研究, 日本海洋学会 2016年度春季大会, 東京, 口頭

土屋優子, 山本正伸, 黒田潤一郎, 山崎俊嗣, IODP Exp 353 乗船研究者, 2015年8月7日, バイオマーカー分析による西太平洋暖水塊地域およびインド洋ベンガル湾における氷期間氷期変動の復元, 第33回日本有機地球化学シンポジウム, 札幌, 口頭

多田雄哉, 中谷理愛, 後藤周史, 山下洋平, 鈴木光次, 2016年3月14日-18日, 珪藻および渦鞭毛藻由来の溶存態有機物が沿岸性海洋細菌群集組成に及ぼす影響, 日本海洋学会 2016年度春季大会, 東京, 口頭

大島慶一郎, 二橋創平, 岩本勉之, 田村岳史, 2015年5月27日, グローバルな視点で見た南大洋の海氷生成と底層水形成, 日本地球惑星科学連合 2015年大会, 千葉, 口頭

大島慶一郎, 川合美千代, 北出裕二郎, 勝又勝郎, 深町康, 田村岳史, 青木茂, 2015年11月17日, 南極底層水を起点とする熱塩循環・物質循環のダイナミクス, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭

大橋良彦, 飯田高大, 杉山慎, 青木茂, 2015年9月27日, グリーンランド氷床北西部 Thule 地域沿岸における高濁度海水域の変動, 日本海洋学会 2015年度秋季大会, 松山, 口頭

大畑有, 豊田威信, 白岩孝行, 2015年9月14日, 網走湖における湖氷形成過程と氷厚推移—熱力学的氷厚成長モデル—, 雪氷研究大会, 松本, 口頭

大藪幾美, 飯塚芳徳, 的場澄人, 山崎哲秀, 門田萌, 2015年9月14日, グリーンランド南東ドームにおける現地観測報告, 日本雪氷学会研究大会, 松本, 口頭

小室悠紀, 鈴木利孝, 大沼友貴彦, 箕輪昌紘, 山崎哲秀, 的場澄人, 藤田耕史, 平林幹啓, 本山秀明, 青木輝夫, 2015年9月14日, グリーンランド SIGMA-D 浅層氷コアの金属全濃度解析, 雪氷研究大会, 松本, ポスター

小林慈英, 久保川厚, 2015年9月28日, 閉じた矩形海洋における渦の軌跡とその軌道決定メカニズム, 日本流体力学会年会 2015, 東京, 口頭

小林慈英, 久保川厚, 2016年3月17日, 1.5 層 β 平面モデルにおける閉じた領域での渦の軌道(その2), 日本海洋学会 2016年度春季大会, 東京, 口頭

小林理央, 青木茂, 草原和弥, Rintoul, S. R., 2015年9月28日, アデリー海岸沿岸域における水塊特性の経年変動に見られる海洋—氷床相互作用, 日本海洋学会 2015年度秋季大会, 松山, ポスター

山本正伸, 太平深史, 山下洋平, 2015年5月28日, TEX86は何を示しているのか: 海洋水柱懸濁粒子中のインタクト GDGT 研究から言えること, 日本地球惑星科学連合 2015年大会, 千葉, 口頭

嶋田啓資, 北出裕二郎, 溝端浩平, 青木茂, 大島慶一郎, 田村岳史, 小達恒夫, 2015年11月17日, 豪州南極海盆における南極底層水の急速かつ持続的な低塩分化, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭

頭

- 平野大輔, 深町康, 渡邊英嗣, 大島慶一郎, 岩本勉之, Mahoney, A. R., Eicken, H., 清水大輔, 田村岳史, 2016年3月15日, アラスカ沖バロー沿岸ポリニヤにおける海水生産量の経年変動, 日本海洋学会 2016年度春季大会, 東京, 口頭
- 平野大輔, 深町康, 渡邊英嗣, 岩本勉之, Mahoney, A., Eicken, H., 清水大輔, 大島慶一郎, 田村岳史, 2015年11月19日, ハイブリッド特性を有するバロー沿岸ポリニヤにおける海水生産量の経年変動, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター
- 張偉, 江淵直人, 深町康, Emery, B., 程豊, 阿部泰人, 豊田威信, 白澤邦男, 2016年3月17日, Sea ice velocity observation by HF ocean radar, 日本海洋学会 2016年度春季大会, 東京, 口頭
- 張偉, 江淵直人, Emery, B., 阿部泰人, 2015年7月9日, 海洋レーダーによる流氷観測の試み, 研究集会「宗谷暖流を始めとした対馬暖流系の変動メカニズム」, 札幌, 口頭
- 後藤周史, 多田雄哉, 鈴木光次, 山下洋平, 2015年10月22日-25日, 海洋細菌単離株を用いた増殖期と溶存有機物生成の評価, 日本微生物生態学会第30回大会, 土浦, 口頭
- 杉山慎, 津滝俊, 榊原大貴, 斉藤潤, 大橋良彦, 丸山未妃呂, 片山直紀, ポドルスキ エヴゲニ, 箕輪昌紘, 松野智, 澤柿教伸, 的場澄人, フンク マーティン, ゲンコ リカルド, 榎本浩之, 2016年3月2日-4日, グリーンランド北西部における近年の氷質量損失ー GRENE グリーンランドプロジェクトの成果と ArCS プロジェクトへの展望ー, GRENE 北極気候変動研究事業研究成果報告会, 立川, ポスター
- 松村義正, 伊藤優人, 大島慶一郎, 2015年11月19日, 新生氷への堆積物粒子取り込み過程のモデリング, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭
- 松村義正, 大橋良彦, 青木茂, 杉山慎, 2016年3月15日, グリーンランド氷河融解水を起源とする高濁度水ブルームのモデリング, 日本海洋学会 2016年度春季大会, 東京, 口頭
- 柏瀬陽彦, 大島慶一郎, 二橋創平, Eicken, H., 2015年11月19日, 北極海の海氷激減における海氷ー海洋アルベドフィードバック効果, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター
- 柏瀬陽彦, 大島慶一郎, 二橋創平, Eicken, H., 2016年3月15日, 季節海氷域化する北極海の海氷ー海洋アルベドフィードバック効果, 日本海洋学会 2016年度春季大会, 東京, 口頭
- 森本直矢, 杉山慎, 藤田耕史, 2015年9月13日-16日, ALOS PRISM 画像を用いたヒマラヤ・トランバウ氷河の表面高度解析, 日本雪氷学会全国大会, 松本, ポスター
- 榊原大貴, 杉山慎, 箕輪昌紘, スクヴァルカ ペドロ, 2015年9月13日-16日, 南パタゴニア氷原ウプサラ氷河の急速な後退と流動加速のメカニズム, 日本雪氷学会雪氷研究大会, 松本, 口頭
- 津滝俊, 杉山慎, 榊原大貴, 澤柿教伸, 丸山未妃呂, 斉藤潤, 片山直紀, 2015年5月24日-28日, グリーンランド北西部ボードイン氷河の近年の氷厚減少, 日本地球惑星科学連合 2015年大会, 千葉, 口頭
- 津滝俊, 杉山慎, 澤柿教伸, 榊原大貴, 2015年9月13日-16日, グリーンランド北西部カナック氷帽における表層氷体温度, 日本雪氷学会雪氷研究大会, 松本, 口頭
- 漢那直也, 西岡純, Lannuzel, D., Van der Merwe, P., 2015年9月27日, オホーツク海の海氷中に含まれる粒子の鉄溶出量, 日本海洋学会 2015年度秋季大会, 松山, 口頭
- 片山直紀, 津滝俊, 榊原大貴, 杉山慎, 澤柿教伸, 2015年11月16日-19日, グリーンランド北西部におけるカービング氷河の表面高度変化, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター
- 片山直紀, 津滝俊, 榊原大貴, 杉山慎, 澤柿教伸, 2015年9月14日-16日, グリーンランド北西部におけるカービング氷河の表面高度変化, 日本雪氷学会全国大会, 松本, 口頭
- 田村岳史, 大島慶一郎, Fraser, A. D., Willians, G. D., 2015年11月17日, 南極沿岸ポリニヤにおける海水生産量の年変動, 第6回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭
- 田村岳史, 大島慶一郎, Fraser, A. D., Willians, G. D., 2016年3月16日, 南極沿岸ポリニヤにおける海

- 氷生産量の年変動, 日本海洋学会 2016 年度春季大会, 東京, 口頭
- 箕輪昌紘, 杉山慎, 榊原大貴, Skvarca, P., 大橋良彦, 澤柿教伸, 内藤望, 2015 年 9 月 13 日-16 日, パタゴニア・ペリート・モレノ氷河における末端消耗メカニズム, 日本雪氷学会雪氷研究大会, 松本, 口頭
- 箕輪昌紘, 杉山慎, 澤柿教伸, 津滝俊, 榊原大貴, 2015 年 9 月 13 日-16 日, グリーンランド北西部 Bowdoin 氷河における末端位置の季節変動, 日本雪氷学会雪氷研究大会, 松本, ポスター
- 菅彩乃, 河村公隆, 中村進之介, 望月智貴, 奥沢和浩, 金谷有剛, Wang, Z., 2015 年 8 月 6 日-7 日, 中国・北京郊外における大気中低分子モノカルボン酸のガス・粒子分布と日変動, 第 33 回日本有機地球化学シンポジウム, 札幌, 口頭
- 藤原正智, 杉立卓治, 清水健作, 新井徹, 稲飯洋一, 林真由美, 野間靖久, 川北英明, 相良一生, 中川太郎, 奥村聡, 2015 年 10 月 28 日, 雲粒子ゾンデ CP S による熱帯および中緯度における雲観測, 日本気象学会 2015 年度秋季大会, 京都, 口頭
- 豊田威信, 牛尾収輝, 田村岳史, 野村大樹, 清水大輔, 深町康, 松村義正, Fraser, A., 2016 年 3 月 15 日, 南極海水コアから推定される昭和基地周辺の定着氷の発達・崩壊過程, 日本海洋学会 2016 年度春季大会, 東京, ポスター
- 豊田栄, 工藤久志, Breider, F., 柿本嵩人, 山田桂太, 吉田尚弘, 笹野大輔, 小杉如央, 石井雅男, 吉川久幸, 亀山宗彦, 稲川満穂実, 西野茂人, 内田裕, 村田昌彦, 2016 年 3 月 4 日, 北極海における溶存メタンおよび一酸化二窒素の濃度と isotopocule の分布, GRENE 北極気候変動研究事業研究成果報告会, 立川, ポスター
- 野木義史, 大島慶一郎, 池原実, 茂木正人, 川村賢二, 福田洋一, 阿部彩子, 田村岳史, 菅沼悠介, 2015 年 11 月 17 日, 南大洋・南極氷床変動の解明に向けた分野融合研究, 第 6 回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭
- 野木義史, 大島慶一郎, 池原実, 茂木正人, 川村賢二, 福田洋一, 阿部彩子, 田村岳史, 菅沼悠介, 2015 年 5 月 27 日, 南大洋・南極氷床変動の解明に向けた分野融合研究, 日本地球惑星科学連合 2015 年大会, 千葉, 口頭
- 野村大樹, 青木茂, 清水大輔, 2016 年 3 月 16 日, 海氷クラックの形成が植物プランクトンブルームと海氷内部への物質輸送に及ぼす影響, 日本海洋学会 2016 年度春季大会, 東京, 口頭
- 鈴木健太, 山本正伸, 入野智久, 朴惟賢, 南承一, 山中寿郎, 2015 年 8 月 7 日, GDGT と C/S 比に基づく過去 7 万年間の西部北極海の高氷漂流パターン復元, 第 33 回日本有機地球化学シンポジウム, 札幌, 口頭
- 鈴木光次, 平田貴文, 遠藤寿, 杉江恒二, 中村翠珠, 神村章子, Liu, H., 2015 年 12 月 1 日-2 日, 黒潮域における植物プランクトン群集組成と生産力, 東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会「海洋における生物生産機構の多様性と連関—黒潮生態系から沿岸複合生態系まで—」, 柏, 口頭
- 長谷部文雄, 藤原正智, 稲飯洋一, 三村慧, 柴田隆, 塩谷雅人, 林政彦, 西憲敬, 高島久洋, 荻野慎也, 鈴木順子, 宮崎和幸, 清水健作, 杉立卓治, 澤田岳彦, Ninong, K., Putri, F. A., 2015 年 11 月 5 日, 熱帯対流圏界層における力学・化学過程の観測的研究, 大気球シンポジウム, 相模原, 口頭
- 門田萌, 的場澄人, 本山秀明, 藤田耕史, 山崎哲秀, 大沼友貴彦, 箕輪昌紘, 小室悠紀, 青木輝夫, 2015 年 11 月 16 日, グリーンランド北西氷床 (SIGMA-D) アイスコアを用いた過去 157 年間の気候復元, 第 6 回極域シンポジウム, 立川, 口頭
- 門田萌, 的場澄人, 本山秀明, 藤田耕史, 山崎哲秀, 大沼友貴彦, 箕輪昌紘, 小室悠紀, 青木輝夫, 2015 年 9 月 14 日, グリーンランド北西氷床 (SIGMA-D) アイスコアを用いた過去 157 年間の気候復元, 雪氷研究大会, 松本, ポスター
- 青木邦弘, 久保川厚, 古恵亮, 佐々木英治, 2015 年 9 月 28 日, 西岸境界流続流ジェットへの渦運動量フラ

ックスの影響, 日本海洋学会 2015 年度秋季大会, 松山, 口頭
飯塚芳徳, 的場澄人, 大藪幾美, 山崎哲秀, 門田萌, 新堀邦夫, 青木輝夫, 斉藤健, 宮本淳, 古川峻仁, 藤田秀二, 堀彰, 山口悟, 大野浩, 鈴木利孝, 植村立, 関宰, 本山秀明, 2015 年 9 月 14 日, グリーンランド南東ドームにおける浅層掘削計画 - 掘削報告と初期コア解析 -, 日本雪氷学会研究大会, 松本, 口頭
飯塚芳徳, 的場澄人, 山崎哲秀, 大藪幾美, 門田萌, 2015 年 11 月 16 日, グリーンランド氷床南東ドーム掘削, 第 6 回極域シンポジウム, 立川, ポスター

生物圏科学専攻

- Akimoto, S., Yamada, T., Saitoh, T., 2015 年 7 月 27 日, Annual changes of spatial genetic structure in gray-sided vole populations, 第 5 回国際野生動物管理学会議, 札幌, ポスター
- Akimoto, Y., Onodera, R., Shimada, T., Saitoh, T., 2015 年 7 月 27 日, Different processes of acclimation to acorn tannins in the three sympatric forest-dwelling rodent species in the field of Hokkaido, Japan, 第 5 回国際野生動物管理学会議, 札幌, ポスター
- Araki, H., Yamakawa, R., Kumano, T., Yokota, T., 2015 年 7 月 19 日-23 日, Snow vault becomes chicory root storage facility and supplies coolant for chicon production in summer, Greensys 2015, ポルトガル・エヴォラ, ポスター
- Ayer, C. G., Katahira, H., Fukui, S., Koizumi, I., 2016 年 3 月 10 日, Annual timing of main stem-run in stream-dwelling Dolly Varden (*Salvelinus malma*) of the Shiisorapuchi River, Hokkaido, Japan, FY2015 Poster Presentation Session, 札幌, ポスター
- Ayer, C. G., Katahira, H., Fukui, S., Koizumi, I., 2016 年 3 月 5 日, Annual timing of main stem-run in stream-dwelling Dolly Varden (*Salvelinus malma*) of the Shiisorapuchi River, Hokkaido, Japan, 第 29 回北海道水生昆虫研究会, 札幌, 口頭
- Ayer, C. G., Katahira, H., Koizumi, I., 2015 年 11 月 21 日-22 日, Annual timing of main stem-run in stream-dwelling Dolly Varden (*Salvelinus malma*) of the Shiisorapuchi River, Hokkaido, Japan, 第 37 回魚類系統研究会, 網走, 口頭
- Chen, G. W., Ohtsuka, H., Yamada, T., 2016 年 3 月 29 日-31 日, Basic study on characteristics of perennial invasive weeds to establish a management for weed control in grassland, 2016 年度日本草地学会石川大会, 野々市, 口頭
- Fukui, S., May-McNally, S., Katahira, H., Kitano, S., Koizumi, I., 2015 年 6 月 14 日-18 日, Are introduced brook trout replacing white-spotted charr through inter-specific hybridization in the Sorachi River, Japan? 8th International Charr Symposium, ノルウェー・トロムソ, 口頭
- Hakuman, T., Horimoto, T., Kasai, H., Tanaka, H., Yamamura, O., Kobayashi, M., Miyashita, K., Mitani, Y., 2015 年 7 月 27 日, Stable isotopes in harbor seal whiskers as indicators of seasonal feeding patterns, Vth International Wildlife Management Congress 2015, 札幌, 口頭
- Hayamizu, M., Ohara, M., 2015 年 8 月 6 日, The evolution of intra-specific variation of reproductive systems in *Viola brevistipulata*, The 11th clonal meeting, チェコ・トシェボニユ, 口頭
- Honda, A., Kinoshita, G., Ohdachi, S. D., 2015 年 12 月 16 日, Intraspecific phylogeny of the house shrews *Suncus murinus* around the Indian Ocean, based on the mitochondrial cytochrome b gene, JSPS Core-To-Core Program. The 5th international Symposium on Asian Vertebrate species Diversity, 京都, ポスター
- Ishii, M., Murase, H., Fukuda, Y., Sawada, K., Sasakura, T., Tamura, T., Bando, T., Matsuoka, K.,

- Shinohara, A., Nakatsuka S., Katsumata, N., *Miyashita, K., Mitani, Y.*, 2015年12月13日, Observation of diving behavior of sei whales in relation to vertical distribution of their prey, 21st Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals, アメリカ・サンフランシスコ, 口頭
- Ito, M., *Nakaoka, M.*, 2015年11月8日, Effects of CO₂ enrichment on two species of spirorbid polychaetes in a seagrass bed, Western Society of Naturalists Annual Meeting 2015, アメリカ・サクラメント, 口頭
- Ito, M., *Nakaoka, M.*, 2015年11月9日, Effects of CO₂ enrichment on calcareous sessile epifauna on seagrass in Akkeshi-ko estuary, Hokkaido, Japan, 23rd Biennial CERF Conference, アメリカ・ポートランド, 口頭
- Ito, K., Takahashi, N., Hattori, K., Goto, Y., Nakanowatari, T., *Ohshima, K. I., Mitani, Y., Miyashita, K.*, 2015年7月29日, Trips of juvenile steller sea lions during early summer in Russian-Japanese waters, Vth International Wildlife Management Congress 2015, 札幌, ポスター
- Ito, K., Takahashi, N., Hattori, K., Goto, Y., Nakanowatari, T., *Ohshima, K. I., Horimoto, T., Ikenaka, Y., Nakayama, S. M., Mizukawa, H., Ishizuka, M., Miyashita, K., Mitani, Y.*, 2015年12月15日, Diet records in winter, migration and diving behavior during early summer of juvenile steller sea lions in the asian stock, 21st Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター
- Iwahara, Y., Matsuno, K., Sekiguchi, K., Nishizawa, B., Nakano, T., Uyama, T., Yamaguchi, A., Watanuki, Y., *Miyashita, K., Mitani, Y.*, 2015年4月28日, Spatial associations between baleen whales and their prey in the northern Bering and Chukchi Seas, ISAR-4 and ICARP III Symposium, 富山, 口頭
- Iwahara, Y., Minamikawa, S., *Miyashita, K., Mitani, Y.*, 2015年12月13日, Spatial distribution factors of Pacific white-sided dolphins around northern Japan, 21st Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター
- Iwahara, Y., Shirakawa, H., *Miyashita, K., Mitani, Y.*, 2015年7月30日, Foraging distribution of Pacific white-sided dolphin, Dall's porpoise and harbor porpoise around Hokkaido, Japan, Vth International Wildlife Management Congress 2015, 札幌, 口頭
- Kagemoto, K., Toyama, T., Mori, K., *Miwa, K., Morikawa, M.*, 2015年7月3日-6日, Effect of aquatic plant growth-promoting bacteria on the growth of rice, 3rd International Conference on Duckweed Research and Application (第三回ウキクサ研究および利用に関する国際会議), 京都, ポスター
- Kagiya, S., *Utsumi, S.*, 2016年3月24日, Genetic variation in the riparian foundation tree predicts arthropod community structure in wild, 日本生態学会第63回大会, 仙台, ポスター
- Kaneko, K., *Washio, K., Kobayashi, D., Ishikawa, T., Umezawa, T., Matsuda, F., Nishikawa, K., Morimoto, Y., Morikawa, M., Okino, T.*, 2015年12月17日, Comparison of vanadium dependent bromoperoxidases from three species of the red algal genus *Laurencia*, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015, アメリカ・ホノルル, 口頭
- Katayama, S., *Miyashita, K., Mitani, Y.*, 2015年12月17日, Overlap of juvenile harbor seals (*Phoca vitulina*) foraging areas and salmon fishing grounds around Cape Erimo, Japan, 21st Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター
- Kato, T., Urushibata, W., *Morikawa, M.*, 2015年8月30日-9月4日, Analysis of an extracellular

- protease produced by *Coprothermobacter proteolyticus* PM9-2 that was isolated from a petroleum reservoir, Thermophiles 2015, チリ・サンティアゴ, ポスター
- Kawahata, A., Morimoto, Y., Miwa, K., Morikawa, M., 2015年7月3日-6日, Estrogen degradation by utilizing the symbiosis of *Rhodococcus zopfii* Y 50158 and duckweed for developing eco-friendly water purification technology, 3rd International Conference on Duckweed Research and Application (第三回ウキクサ研究および利用に関する国際会議), 京都, 口頭
- Kazila, E., 高津邦夫, 岸田治, 2016年2月19日, Differential individual growth as a factor of density-dependent mortality of prey, 日本生態学会北海道地区大会, 札幌, 口頭
- Kudo, G., Kawai, Y., Ishii, H., 2016年3月22日, Phenological structure in the fly world: flowering pattern of alpine plant communities in New Zealand, 日本生態学会第63回大会, 仙台, 口頭
- Kumano, T., Araki, H., 2015年7月22日, Forcing culture of witloof chicory (*Cichorium Intybus L.*) by using fermentation heat of cow's manure, Greensys 2015, ポルトガル・エヴォラ, 口頭
- Kuramoto, A., Sugawara, M., Miwa, K., Morikawa, M., 2015年7月3日-6日, Yeast mannan promotes the growth of *Lemna minor*, 3rd International Conference on Duckweed Research and Application (第三回ウキクサ研究および利用に関する国際会議), 京都, 口頭
- Kusakabe, C., Saitoh, T., 2015年7月27日, Effects of population fluctuation on genetic diversity in the gray-sided vole *Myodes rufocanus*: A comparison of genetic diversity between cyclic and non-cyclic populations, 第5回国際野生動物管理学会議, 札幌, ポスター
- Lee, J., Nakamura, M., Hiura, T., 2016年3月24日, The effects of N fertilization on plant-herbivory interaction across tree diversity gradients, 日本生態学会第63回大会, 仙台, ポスター
- Lopez, J. A. V., Al-Lihaibib, S. S., Alarif, W. M., Abdel-Lateff, A., 鷲尾健司, 森川正章, 沖野龍文. 2015年9月9日, 紅海のシアノバクテリア *Moorea producens* から得られた新規環状ドデカペプチド Wewakazole B, 第57回天然有機化合物討論会, 横浜, ポスター
- Lopez, J. A., Al-Lihaibi, S., Alarif, W., Abdel-Lateff, A., Washio, K., Morikawa, M., Okino, T., 2015年12月18日, Wewakazole B, a new cyclic dodecapeptide from the Red Sea cyanobacterium *Moorea producens*, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015, アメリカ・ホノルル, ポスター
- Mitani, Y., Saijo, D., Abe, T., Sasaki, H., Costa, D., Goetsch, C., Miyashita, K., 2015年12月15日, Hunting in the dark depths: Prey abundance and distribution in the mysterious world of a deep-diving predator, the northern elephant seal, 21st Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals, アメリカ・サンフランシスコ, 口頭
- Mori, S., Tsuchiya, K., Bawm, S., Arai, S., Thwe, T. L., Min, M. Z., Katakura, K., Yasuda, S. P., Suzuki, H., 2015年7月28日, Characterization of coat color variation in Bandicoot rats species from Myanmar using *mc1r* sequence and spectrophotometric data, Vth International Wildlife Management Congress 2015, 札幌, ポスター
- Morimoto, H., Kadoya, R., Takahashi, K., Kasahara, Y., 2015年10月22日-25日, Identification and characterization of the soil-specific expression genes in *Pseudomonas putida*, 第30回日本微生物生態学会, 土浦, ポスター
- Nakamoto, A., Harada, M., Shinohara, A., Tsuchiya, K., Suzuki, H., 2015年7月28日, Impact of ice ages on the genetic population structure of the western Japanese mole inferred from mitochondrial and nuclear DNA sequences, Vth International Wildlife Management Congress 2015, 札幌, ポスター
- Nakamura, M., Tanaka, M., 2015年7月28日, Deer bark stripping alters spatially distribution of

- insect herbivory within a willow tree, Vth International Wildlife Management Congress 2015, 札幌, ポスター
- Nakaoka, M., Kusuzaki, M., Ito, M., 2015年11月29日, Studies on ocean acidification in an estuarine system of cold-current region, 第18回日本サンゴ礁学会, 東京, 口頭
- Nakaoka, M., Leopoldas, V., Momota, K., Hori, M., Shoji, J., 2015年11月11日, Regional variation in multiple ecosystem functions of seagrass beds along temperate coast of Japan, 23rd Biennial CERF Conference, アメリカ・ポートランド, 口頭
- Nakazawa, Y., Uruguchi, K., Saitoh, T., 2015年7月27日, Effects of rodent density (*Myodes* and *Apodemus*) on birth rates of the Red Fox, 第5回国際野生動物管理学会議, 札幌, ポスター
- Noda, T., Iwasaki, A., Fukaya, K., 2016年3月2日, Recovery of rocky intertidal zonation: three years after the 2011 Great East Japan Earthquake, International Symposium on Restoration after Great East Japan Earthquake -Our Knowledge on the Ecosystem and Fisheries,, 東京, ポスター
- Onodera, H., Yasugi, M., Kudoh, H., Nagano, A., Utsumi, S., 2015年10月11日, Genome-wide SNP analysis reveals local evolution of feeding preference in the leaf beetle, 第31回個体群生態学会大会, 彦根, ポスター
- Onodera, H., Yasugi, M., Kudoh, H., Nagano, A., Utsumi, S., 2016年3月24日, How insects act adaptively in a tree canopy? Reciprocal interactions between contemporary evolution and community dynamics know an answer, 日本生態学会第63回大会, 仙台, ポスター
- Sahara, R., Fukaya, K., Okuda, T., Hori, M., Yamamoto, T., Nakaoka, M., Noda, T., 2015年10月11日, Larval dispersal dampens population fluctuation and shapes the interspecific spatial distribution patterns of rocky intertidal gastropods, 第31回個体群生態学会大会, 彦根, ポスター
- Sahashi, G., Morita, K., 2015年6月14日, Environmental effects on von Bertalanffy growth parameters and age at maturity of stream-resident Dolly Varden near the southern distribution limit, 8th International Charr Symposium, ノルウェー・トロムソ, 口頭
- Sakuma, Y., 2015年11月16日, Genetic variation of the coat color genes, *Asip* and *Mc1r*, in the house mouse (*Mus musculus*) from Madagascar, マレーシアサバ大学学術交流会, マレーシア・コタキナバル, 口頭
- Sato, M., Honda, K., Uy, W. H., Baslot, D. I., Genovia, T. G., Nakamura, Y., Kurokochi, H., Pantallano, A.D.S., Lian, C., Nakaoka, M., 2016年3月24日, Biological barrier to larval dispersal into a marine protected area in marine fishes: Top-down control exists?, 日本生態学会第63回大会, 仙台, 口頭
- Shan, B., Nakamura, M., 2016年3月24日, Effects of birch genotypic diversity on ecosystem functions and insect community structure, 日本生態学会第63回大会, 仙台, 口頭
- Sonoki, S., Morita, Y., Minami, K., Shoji, J., Hori, M., Miyashita, K., 2015年5月25日, Quantification on distribution and supporting service of eelgrass beds with seasonal variation using acoustic method, ICES Symposium on Marine Ecosystem Acoustics, フランス・ナント, 口頭
- Sudo, K., Hoson, O., Ishigaki, K., Nakamori, A., Shimabukuro, A., Nakagun, S., Taishi, Y., Masuda, R., Ohtaishi, N., 2015年7月28日, Historical decrease of the Dugong population and its management vision around the Ryukyu archipelago, Japan, Vth International Wildlife Management Congress 2015, 札幌, ポスター
- Sudo, K., Nakaoka, M., Poovachiranon, S., Satapoomin, U., Whanpetch, N., Aryuthaka, C., 2016年2

- 月 24 日, Effects of multiple human impacts for the seagrass beds in Thailand, Asian CORE-COMSEA Seminar on Coastal Marine Ecosystem in Southeast Asia, 柏, ポスター
- Sugai, H., Perschke, M., Lenz, M., *Nakaoka, M.*, 2016 年 3 月 24 日, The effects of microplastics on benthic organisms, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, 口頭
- Sugime, Y., Hayashi, Y., Matsunami, M., Koshikawa, S., *Miura, T.*, 2016 年 3 月 28 日-30 日, Morphogenetic factors required for soldier-caste differentiation in a termite, CDB Symposium “Size in Developmnet”, 神戸, ポスター
- Tanaka, S., Nakano, M., Komai, F., Yanagida, D., Iritani, M., Koyano, S., Shiga, Y., *Araki, H.*, 2015 年 5 月 22 日, Development of onion cropping methods and breeding of short day cultivars for early shipment in Hokkaido, Japan, Internarional Symposium of Edible Allium, トルコ・ニーデ, 口頭
- Terada, C., Yahara, T., Kuroiwa, A., *Saitoh, T.*, 2015 年 7 月 27 日, A sika deer population can be spatially differentiated even in a small habitat: A case study on the yakushima island spatially organized? 第 5 回国際野生動物管理学会議, 札幌, 口頭
- Teranishi, T., Yorisue, T., Isaka, Y., Ahn, H., *Nakaoka, M.*, Bayne C., Tanatitivarapong R., 2016 年 3 月 22 日, Complex habitat structure dose not always protect mesograzers in eelgrass bed, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, ポスター
- Tomiyasu, M., Kao, W. Y., Abe, K., Minami, K., Hamada, T., Hirose, T., Ogawa, M., *Mitani, Y.*, *Miyashita, K.*, 2015 年 5 月 25 日-28 日, Do ribbonfish swim vertically? ~ Relationship between their body angle and acoustic intensity~, Vth International Wildlife Management The ICES Symposium on “Marine Ecosystem Acoustics (Some Acoustics)- observing the ocean interior in support of integrated management”, フランス・ナント, 口頭
- Tsuji, K., Otsuki, M., Akamatsu, T., Matsuo, I., Amakasu, K., Kitamura, M., Kikuchi, T., *Miyashita, K.*, *Mitani, Y.*, 2015 年 12 月 15 日, Migration timing of fin whales and its relationship to physical and biological environments using passive acoustic methods in the Arctic Sea, 21st Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター
- Tsuji, K., Otsuki, M., Akamatsu, T., Matsuo, I., Amakasu, K., Kitamura, M., Kikuchi, T., *Miyashita, K.*, *Mitani, Y.*, 2015 年 5 月 25 日-28 日, Migration timing of fin whales monitored by passive acoustic method in the southern Chukchi Sea, Vth International Wildlife Management The ICES Symposium on “Marine Ecosystem Acoustics (Some Acoustics)- observing the ocean interior in support of integrated management”, フランス・ナント, 口頭
- Uchida K., Suzuki, K., Shimamoto, T., Yanagawa, H., *Koizumi, I.*, 2015 年 7 月 27 日, Urbanization decreases seasonality in vigilance behavior: Flight responses of red squirrels to human approach, Vth International Wildlife Management Congress 2015, 札幌, 口頭
- Uchida, K., Suzuki, K., Shimamoto, T., Yanagawa, H., *Koizumi, I.*, 2015 年 6 月 1 日, Effects of urbanization on vigilance behavior: flight initiation distance and antipredator behavior of Eurasian red squirrels, 7th International Colloquium on Arboreal Squirrels, フィンランド・ヘルシンキ, 口頭
- Uchida, K., Suzuki, K., Shimamoto, T., Yanagawa, H., *Koizumi, I.*, 2016 年 3 月 20 日-24 日, Do urban squirrels distinguish risk levels exposed by different potential predators?, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, 口頭
- Utami, D., Sugawara, M., *Miwa, K.*, *Morikawa, M.*, 2015 年 7 月 3 日-6 日, Effects of external addition

- of plant hormones and some minerals on the growth of duckweed *Lemna minor*, 3rd International Conference on Duckweed Research and Application (第三回ウキクサ研究および利用に関する国際会議), 京都, ポスター
- Wakabayashi, H., Saitoh, T., 2015年7月27日, Interspecific variation of testes size and sperm morphology can be explained by an index of sperm competition (multiple paternity) in field mice, 第5回国際野生動物管理学会議, 札幌, ポスター
- Watanabe, M., Kojima, H., Fukui, M., 2015年6月7日, Characterization of a novel sulfate-reducing bacterium possessing desulfovibridin and vibroid morphology, belonging to the family desulfomicrobiaceae, ヨーロッパ微生物学連合2015大会 (FEMS2015), オランダ・マーストリヒト, ポスター
- Yamada, A., Horimoto, T., Ikenaka, Y., Nakayama, S. M., Mizukawa, H., Ishizuka, M., Mitani, Y., Miyashita, M., 2015年12月15日, Tracing migration of northern fur seals in Russian-Japanese waters using stable isotopes in whiskers, 21st Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター
- Yamakawa, Y., Miwa, K., Kuroda, M., Ike, M., Morikawa, M., 2015年7月3日-6日, Co-adhesion to *Lemna minor* of rapidly colonizing bacteria and *Acinetobacter calcoaceticus* P23 and its effect on the plant growth-promotion, 3rd International Conference on Duckweed Research and Application (第三回ウキクサ研究および利用に関する国際会議), 京都, ポスター
- Yamazaki, H., Yoshida, T., 2016年3月29日, How do major tree and herbaceous seedlings respond to soil properties following mechanical site preparation? 第127回日本森林学会大会, 藤沢, ポスター
- Yamazaki, H., Fukuzawa, K., Kobayashi, M., Yoshida, T., 2016年3月24日, How large do soil properties differ according to combination of disturbance intensity and topographic locations? : Implication for natural regeneration practices, 日本生態学会第63回大会, 仙台, ポスター
- ムチャンガ ラファエル, 荒木肇, 2015年12月7日, 生食用トマト生産における元肥代替としてのヘアリーベッチの活用, 平成27年度北海道園芸研究談話会研究発表会, 札幌, 口頭
- 三宅翔太, 鈴木将太, 荒井克俊, 宗原弘幸, 2016年3月29日, 半クローン発生するクジメ系雑種のホストの識別, 日本水産学会, 東京, 口頭
- 三輪京子, 相原いづみ, 船川寛矢, 廣口寛彦, 2015年6月30日, ホウ酸架橋されたペクチン質多糖による植物細胞の伸長制御, 第67回日本細胞生物学会大会, 東京, 口頭
- 中本あずさ, 原田正史, 篠原明男, 土屋公幸, 鈴木仁, 2015年8月22日, ミトコンドリアDNAおよび核DNAに基づくコウベモグラの遺伝的集団構造についての研究, 日本動物学会北海道支部第60回大会, 札幌, 口頭
- 中村太朗, 本間伸幸, 佐藤信洋, 上田宏, 2015年12月19日, 甲状腺ホルモンがシロザケ稚魚の母川記銘能に与える影響, 平成27年度日本水産学会北海道支部大会, 網走, 口頭
- 中村太朗, 本間伸幸, 佐藤信洋, 上田宏, 2015年12月20日, 甲状腺ホルモンの経口投与がシロザケ稚魚の母川記銘能に与える影響, 第9回サケ学研究会, 札幌, 口頭
- 乃美大佑, 油田照秋, 小泉逸郎, 2016年2月19日, オスの給餌貢献度が高いほど複数回繁殖率が增加する, 2015年度日本生態学会北海道地区大会, 札幌, 口頭
- 乃美大佑, 油田照秋, 小泉逸郎, 2016年3月20日-24日, 雄の給餌貢献度が雌の複数回繁殖率を増加させるか?, 日本生態学会第63回大会, 仙台, 口頭
- 二木和幸, 星野洋一郎, 2016年3月26日-27日, ハスカップとウグイスカグラの種間交雑における胚および胚乳形成過程の組織学的観察, 園芸学会平成28年度春季大会, 厚木, 口頭

- 伊佐田智規, 平譚享, 鈴木光次, 西岡純, 葛西広海, 阿部博哉, 2016年3月14日-18日, 北海道東部沿岸域の厚岸沖における植物プランクトン群集組成と光合成特性の季節変化, 日本海洋学会2016年度春季大会, 東京, 口頭
- 佐々木駿, 川村弥司子, 山岸洋貴, 大原雅, 富松裕, 2016年3月22日, オオバナノエンレイソウの分布域の決定要因: 緯度勾配に沿った適応度成分の比較, 日本生態学会第63回大会, 仙台, ポスター
- 佐久間有希, 2016年2月28日, ハツカネズミのお腹の色とルーツ, 北海道自然史研究会・研究大会, 札幌, 口頭
- 佐久間有希, 田中ちひろ, 大館智志, 城ヶ原貫通, Ranoroosa, M. C., 新井智, 土屋公幸, 鈴木仁, 2015年8月22日, 野生ハツカネズミ (*Mus musculus*) の毛色と *Mc1r* および *Asip* 遺伝子変異の解析, 動物学会支部会, 札幌, 口頭
- 佐橋玄記, 森田健太郎, 2016年2月19日, 人為選択 (ふ化放流) と自然選択 (滝) が生活史分岐を左右する: 同所的に棲むサクラマスとオショロコマにおける検証, 平成27年度日本生態学会北海道地区大会, 札幌, 口頭
- 佐藤郷, 日浦勉, 2016年3月22日, 気象要因が北方針広混交林の40年間の動態に与える影響, 日本生態学会第63回大会, 仙台, ポスター
- 園木詩織, 2016年3月1日, 音響手法を用いた能取湖におけるアマモ場とホッカイエビの分布推定—アマモ場の経済的価値に着目して—, 平成27年度北海道音響資源調査研究情報交換会, 札幌, 口頭
- 堀正和, 濱岡秀樹, 百田恭輔, 仲岡雅裕, 伊藤克敏, 隠塚俊満, 2015年9月3日, アマモ場における葉上動物群集の多様性減少に伴う生態系機能の劣化, 2012年日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会, 札幌, 口頭
- 大久保隆, 高橋英佑, 小泉逸郎, 2015年12月20日, サクラマスの生活史分岐における体サイズ閾値の可塑的变化: 個体群構造が閾値を変える, 第9回サケ学研究会, 札幌, 口頭
- 大久保隆, 高橋英佑, 小泉逸郎, 2016年2月19日, 他個体の存在が成熟閾値を改変する: 生活史二型をもつサクラマスにおける実験的検証, 2015年度日本生態学会北海道地区大会, 札幌, 口頭
- 大友洋平, 阿部拓三, 宗原弘幸, 2015年12月18日, 白尻で採集されたダンゴウオ科魚類1種の分類学的研究, 日本水産学会北海道支部会, 網走, 口頭
- 大平昌史, 岩崎藍子, 金森由妃, 平賀優大, 胡之陽, 立花道草, 深谷肇一, 野田隆史, 2016年3月22日, キタアメリカフジツボの侵入初期の局所個体群動態: 住み着き率と絶滅率の時間変化とその要因, 日本生態学会第63回大会, 仙台, ポスター
- 大日向佑介, 玉田いつみ, ブーンマクチャニタ, 三輪京子, 森川正章, 2015年6月29日-30日, *Geobacillus thermoleovorans* B23株由来 FMN 依存型アルカン水酸化酵素遺伝子の腸菌における機能発現の試み, 環境バイオテクノロジー学会2015年度大会, 東京, ポスター
- 大磯毅晃, 小泉逸郎, 2016年2月19日, 北海道十勝川水系における水生生物の比較系統地理, 2015年度日本生態学会北海道地区大会, 札幌, 口頭
- 大磯毅晃, 小泉逸郎, 2016年3月20日-24日, 北海道十勝川水系における水生生物の比較系統地理, 日本生態学会第63回大会, 仙台, ポスター
- 安房田智司, 佐々木晴香, 後藤智仁, 古屋康則, 武島弘彦, 山崎彩, 宗原弘幸, 2015年12月18日, ホヤヤカイメンに卵を預ける魚の産卵場所選択と産卵管の進化, 日本水産学会北海道支部会, 網走, 口頭
- 宗原弘幸, 堀田海帆, 三宅翔太, 鈴木将太, 2015年12月18日, 半クローン発生するクジメ系雑種の起源と維持, 日本水産学会北海道支部会, 網走, 口頭
- 富樫孝司, 山崎彩, 安房田智司, 古屋康則, 阿部拓三, 鶴岡理, アレックス マルケビッチ, 宗原弘幸, 2016年3月27日, カジカ上科魚類6科47属92種から見た本上科の分子系統, 日本水産学会, 東京, 口頭

- 寺田崇晃, 船津貴成, 村野宏樹, 三浦徹, 2015年8月8日, アブラムシの翅多型における親子間での翅型制御, 第5回日本アブラムシ研究会, 岡崎, 口頭
- 小口晃平, 2015年7月27日, オオシロアリの補充生食虫における性特異的な分化制御, 北陸社会性昆虫勉強会, 富山, 口頭
- 山崎千登勢, 小泉逸郎, 2015年11月21日-22日, 乱婚のヤツメウナギにおける二次性徴と造巣行動の繁殖成功への影響: 雄の形態形質と造巣行動に着目して, 第37回魚類系統研究会, 網走, 口頭
- 山崎彩, 中野翼, 宗原弘幸, 2015年12月18日, ベーリング海およびチャクチ海におけるカジカ科魚類の分布と気候変動に対する応答について, 日本水産学会北海道支部会, 網走, 口頭
- 山崎彩, 津田栄, 西宮佳彦, 宗原弘幸, 2015年8月20日-23日, ギスカジカ属4種の不凍タンパク質アイソフォーム多型と不凍活性, 日本進化学会, 東京, 口頭
- 山田健太郎, 臼井平, 小泉逸郎, 2016年2月19日, ウグイにおける降海性の“逆”緯度ライン, 2015年度日本生態学会北海道地区大会, 札幌, 口頭
- 山田健太郎, 臼井平, 小泉逸郎, 2016年3月20日-24日, ウグイの降海性と緯度ラインの検証, 日本生態学会第63回大会, 仙台, 口頭
- 岩崎藍子, 野田隆史, 2016年3月21日, 岩礁潮間帯生物群集への津波と沈降のインパクト, 第63回日本生態学会全国大会 企画集会「巨大攪乱の生態学的帰結をどう理解するか: 巨大地震が岩礁潮間帯生物群集に及ぼした影響を例に考える」, 仙台, 口頭
- 工藤勲, 神野典勇, 陳世傑, 渡部友日, 2015年9月28日, 陸奥湾における貧栄養化とホタテガイ養殖の関係ーホタテガイ糞粒の沈降フラックスとその生分解性ー, 日本海洋学会 2015年度秋季大会, 松山, 口頭
- 平井涼太, 加藤淳太郎, 星野洋一郎, 2016年3月26日-27日, 液体花粉発芽培地を利用したボタンの花粉管伸長過程の核相変化の解析, 園芸学会平成28年度春季大会, 厚木, ポスター
- 平賀優大, 岩崎藍子, 太平昌史, 金森由妃, 胡之陽, 立花道草, 奥田武弘, 深谷肇一, 野田隆史, 2016年2月19日, 群集集合: 空間的および時間的ニッチ分化の重要性, 2015年度日本生態学会北海道地区大会, 札幌, 口頭
- 廣口覚彦, 三輪京子, 2016年3月18日-20日, ホウ素欠乏に対する感受性が低下したシロイヌナズナ変異株の解析, 第57回植物生理学会年会, 盛岡, 口頭
- 廣田由香, 熊野貴宏, 荒木肇, 2015年12月7日, 北海道における短日系および長日系タマネギ品種の小球形成に及ぼす播種時期の影響, 平成27年度北海道園芸研究談話会研究発表会, 札幌, 口頭
- 朝倉一星, 星野洋一郎, 2016年3月26日-27日, 胚乳培養による2倍体ミヤマカタビ (*Actinidia kolomikta*) からの3倍体植物の再生, 園芸学会平成28年度春季大会, 厚木, ポスター
- 木ノ下菜々, 長里千香子, 本村泰三, 2015年9月8日, 褐藻ムチモ (異形配偶子接合) の走化性における鞭毛運動解析, 日本植物学会第79回大会, 新潟, 口頭
- 木ノ下菜々, 長里千香子, 本村泰三, 2016年3月19日, 褐藻における雄性配偶子の走化性~同形・異形配偶子接合と卵生殖の比較~, 日本藻類学会第40回大会, 東京, 口頭
- 木村舞子, 宮下和士, 三谷曜子, 2016年3月20日, ゼニガタアザラシ (*Phoca vitulina*) 飼育個体への新奇物体提示実験, 市民公開シンポジウム「ず~だなも。動物園大学@in 犬山」, 犬山, ポスター
- 木村舞子, 宮下和士, 三谷曜子, 2016年3月29日, ゼニガタアザラシ (*Phoca vitulina*) がサケ (*Oncorhynchus keta*) を口にするまでー新奇餌生物への摂餌過程, 平成28年度日本水産学会春季大会, 東京, ポスター
- 柴田あかり, 工藤岳, 2015年12月5日, 雌性両全性異株植物ナニワズにおける両性株と雌株の資源分配の比較, 種生物学学会シンポジウム, 岐阜, ポスター
- 柴田あかり, 工藤岳, 2016年3月22日, ナニワズの性的二型性: 両性株と雌株の表現型と繁殖成功度の

比較, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, ポスター

森智子, 土屋公幸, Thida Lay Thwe, Myin Zu Min, 鈴木仁, 2015 年 8 月 22 日, *Bandicota* 属の分子系統と毛色変異~*Mc1r* 配列上の黒色化責任変異の探索~, 日本動物学会北海道支部第 60 回大会, 札幌, 口頭

森本一, 門屋亨介, 高橋一弘, 笠原康裕, 2016 年 3 月 6 日, プロテオーム解析を用いた *Pseudomonas putida* F1 株の土壌特異的発現遺伝子の同定と特性解析, 第 10 回日本ゲノム微生物学会年会, 東京, ポスター

橋本美佳子, 折笠善丈, 吉田磨仁, 2015 年 10 月 26 日, 細菌における長鎖多価不飽和脂肪酸の膜リン脂質への転移メカニズムの研究, 第 68 回日本生物工学会大会, 鹿児島, ポスター

正木志良, 金子賢介, 小林大毅, 石川高史, 西川慶祐, 森本善樹, 鷲尾健司, 森川正章, 沖野 龍文, 2016 年 3 月 30 日, 紅藻マギレソゾ *Laurencia saitoi* 由来プロモペルオキシダーゼの臭素化反応, 日本農芸化学会 2016 年度大会, 札幌, ポスター*

水永優紀, 工藤岳, 2016 年 3 月 22 日, 森林帯-高山帯エコトーンにおける訪花昆虫群集の季節動態と開花フェノロジー構造との関連性, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, ポスター

深野透, 伊藤知慧, 五味満裕, 大崎幸彦, 三輪京子, 森川正章, 2015 年 6 月 29 日-30 日, 微生物間相互作用を用いた便器表面付着細菌阻害の試み, 環境バイオテクノロジー学会 2015 年度大会, 東京, ポスター

渡邊美穂, 2015 年 11 月 23 日, 新たな高次分類群を代表する細菌の分離培養と全ゲノム解析, 細菌学若手コロッセウム, 鹿児島, 口頭

渡邊美穂, 小島久弥, 福井学, 2015 年 10 月 19 日, 南極海洋沿岸堆積物から分離した *Marinifilum* 科の新規耐冷性従属栄養性細菌, 日本微生物生態学会第 29 回大会, 土浦, ポスター

渡部友日, 工藤勲, 陳世傑, 2015 年 9 月 28 日, 亜寒帯沿岸域の底層における硝化活性に与える堆積物の影響, 日本海洋学会 2015 年度秋季大会, 松山, 口頭

熊谷七美, 大原雅, 若菜勇, 2016 年 2 月 19 日, 北海道阿寒湖におけるマリモ大量打ち寄せ現象を介した集団動態, 2015 年度日本生態学会北海道地区大会, 札幌, 口頭

熊野貴宏, 荒木肇, 2015 年 9 月 27 日, メタン発酵消化液施用がチコリの根株生育と可食部収量, 品質に及ぼす影響, 園芸学会平成 27 年度秋季大会, 徳島, ポスター

熊野貴宏, 荒木肇, 2016 年 3 月 26 日, メタン発酵消化液の多量施用がチコリおよびギニアグラスの生育に与える影響, 園芸学会平成 28 年度春季大会, 厚木, 口頭

片山歩美, 牧田直樹, 高木理恵, 李眞, 安宅未央子, 中路達郎, 日浦勉, 2016 年 3 月 24 日, 窒素施肥により落葉広葉樹林の土壌呼吸および地下部炭素動態はどう変化するのか?, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, ポスター

牛腸健司, 橋本美佳子, 堀内綾乃, 横山愛, 吉田磨仁, 折笠善丈, 2015 年 10 月 26 日, ポリクローナル抗体を用いた細菌由来の多価不飽和脂肪酸合成酵素の検出, 第 68 回日本生物工学会大会, 鹿児島, ポスター

田代郷史, 津田裕一, 伊藤隆臣, 宮下和士, 三谷耀子, 2015 年 9 月 22 日, 日本南方海域におけるジンベエザメの移動と海洋環境の関係, 日本水産学会秋季大会, 福岡, 口頭

百田和幸, 宗原弘幸, 2016 年 3 月 27 日, DNA バーコーディングを用いた白尻周辺海域に出現する仔稚魚の分類学的研究, 日本水産学会, 東京, 口頭

相原(尾島)いづみ, 平井達也, 尾之内均, 内藤哲, 三輪京子, 2016 年 3 月 18 日-20 日, ホウ酸輸送体 *BOR1* の 5'-UTR によるホウ素依存的な翻訳抑制の植物体における解析, 第 57 回植物生理学会年会, 盛岡, 口頭

相原いづみ, 三輪京子, 2015 年 9 月 13 日-15 日, ホウ素の恒常性維持に貢献するホウ酸輸送体 *BOR1* の

転写後制御の分子機構, 平成 27 年度新学術領域若手ワークショップ/第 9 回細胞壁ネットワーク定例研究会, 大阪, ポスター

石川高史, 金子賢介, 湯曉蓉, 鷲尾健司, 森川正章, 沖野龍文, 2016 年 1 月 19 日, 紅藻ミツデソゾ (*Laurencia okamurae*) 由来プロモペルオキシダーゼの性状解析, 化学系学協会北海道支部 2016 年冬季研究発表会, 札幌, 口頭*

福井翔, 2016 年 3 月 5 日, 外来カワマスと在来アメマスの種間交雑, 第 29 回北海道水生昆虫研究会, 札幌, 口頭

福澤加里部, 舘野隆之輔, 鶴川信, 渡辺恒大, 細川奈々枝, 今田省吾, 柴田英昭, 2016 年 3 月 28 日, 森林における冬季の土壤凍結が細根動態に及ぼす影響: 積雪除去操作によるアプローチ, 日本森林学会大会, 藤沢, 口頭

秋元佐紀, 山田敏也, 齊藤隆, 2016 年 3 月 22 日, 遺伝的多様性の年次変化と密度・分散の関係: 変動様式が違うヤチネズミ個体群の比較, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, ポスター

秋元佑香, 小野寺緑也, 島田卓哉, 齊藤隆, 2016 年 3 月 22 日, 北海道に同所的に生息する 3 種の野ネズミにおけるタンニン摂取量の季節変化, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, ポスター

立花道草, 野田隆史, 2016 年 3 月 22 日, 岩礁潮間帯における固着生物群集の時空間変異, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, ポスター

篠原義典, 山岸洋貴, 速水将人, 大西央士郎, 大原雅, 2015 年 12 月 5 日, 着生様式の異なる 2 タイプの開放花を生産するイブキスミレにおける繁殖戦略の集団間変異, 第 47 回種生物学会, 羽島, ポスター

篠原義典, 山岸洋貴, 速水将人, 大西央士郎, 大原雅, 2016 年 2 月 19 日, 無茎種と有茎種の中間的な開花特性を示すイブキスミレの繁殖生態に関する研究, 2015 年度日本生態学会北海道地区大会, 札幌, 口頭

細川奈々枝, 磯部一夫, 浦川梨恵子, 舘野隆之輔, 福澤加里部, 渡辺恒大, 柴田英昭, 2016 年 3 月 28 日, 土壤の凍結・融解が細根リターを介して土壤の窒素動態におよぼす影響—北海道東部における野外操作実験からの考察—, 第 127 回日本森林学会, 藤沢, ポスター

胡之陽, 野田隆史, 2016 年 3 月 21 日, マルチレベル攪乱: 巨大地震が局所攪乱後の遷移に及ぼす影響, 第 63 回日本生態学会全国大会 企画集会「巨大攪乱の生態学的帰結をどう理解するか: 巨大地震が岩礁潮間帯生物群集に及ぼした影響を例に考える」, 仙台, 口頭

船津貴成, 松浦優, 村野宏樹, 三浦徹, 2015 年 8 月 8 日, エンドウヒゲナガアブラムシの表現型多型における共生細菌動態, 第 5 回日本アブラムシ研究会, 岡崎, 口頭

船川寛矢, 三輪京子, 2015 年 9 月 13 日-15 日, ホウ素要求量が低下したシロイヌナズナ *bor1-1* 抑圧変異株の単離と遺伝学的解析, 平成 27 年度新学術領域若手ワークショップ/第 9 回細胞壁ネットワーク定例研究会, 大阪, 口頭

船川寛矢, 相原いづみ, 三輪京子, 2015 年 9 月 9 日-11 日, ホウ素要求量が低下したシロイヌナズナ変異株の単離と遺伝学的解析, 日本土壤肥料学会 2015 年度京都大会, 京都, 口頭

花崎香織里, 中本あずさ, 鈴木祐太郎, 木下豪太, 友澤森彦, 土屋公幸, 鈴木仁, 2015 年 9 月 19 日, 第四紀の環境変動に伴う日本産アカネズミ属 2 種の集団動態およびミトコンドリア DNA の進化速度の推定, 日本動物学会第 86 回大会, 新潟, 口頭

芳賀真帆, 内海俊介, 2016 年 3 月 22 日, 堅果の防衛シグナル処理はどのように実生の運命を変えるか?, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, ポスター

若林紘子, 齊藤隆, 2016 年 3 月 22 日, マルチプルパタニティ頻度を用いた複数オス交尾頻度の推定・エゾヤチネズミを例に, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, ポスター

荒木希和子, 島谷健一郎, 大原雅, 2016 年 3 月 24 日, クロウン成長の推移行列モデル-地下茎伸長のダイ

ナミクス-, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, ポスター

荒木肇, 熊野貴宏, 山形定, 2015 年 9 月 26 日, 冬季に温泉廃湯とボイラー室からの熱供給により形成されるハウス内温度環境, 園芸学会平成 27 年度秋季大会, 徳島, 口頭

藤沼潤一, 2016 年 3 月 22 日, 半島マレーシア熱帯丘陵林におけるタケ類の株内 ramet 動態と genet サイズ分布の推定, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, 口頭

見原悠美, 矢部和夫, 植村滋, 2016 年 3 月 22 日, 湿原内部に成立した矮生ハンノキ群落の動態と養分利用, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, ポスター

辻井浩希, 大槻真友子, 赤松友成, 松尾行雄, 甘糟和男, 喜多村稔, 菊地隆, 宮下和士, 三谷曜子, 2015 年 11 月 9 日, 設置型水中録音装置を用いたチャクチ海南部におけるナガスクジラ (*Balaenoptera physalus*) の鳴音モニタリング, GRENE 北極気候変動研究事業 海洋生態系シンポジウム「ここまですで分かった海洋生態系の変化 海氷が減ると、生態系は、水産資源は、どうなるの?」, 立川, ポスター

速水将人, 工藤純一, 武田眞一, 小花宰, 青島正幸, 大原雅, 2016 年 2 月 19 日, オオバキスミレと近縁種における異なる繁殖様式の進化, 2015 年度日本生態学会北海道地区大会, 札幌, 口頭

野口大輔, 平田聡之, 荒木肇, 2016 年 3 月 24 日, ヘアリーベッチと初冬播き春コムギの輪作における養分吸収, 農作業学会平成 28 年度春季大会, 仙台, 口頭

金森由妃, 深谷肇一, 野田隆史, 2015 年 10 月 11 日, 岩礁潮間帯固着生物群集における季節性のパターンとプロセスの環境勾配に沿った変化, 第 31 回個体群生態学会大会, 彦根, ポスター

金森由妃, 深谷肇一, 野田隆史, 2016 年 2 月 19 日, 岩礁潮間帯固着生物群集における季節性のパターンとプロセスの環境勾配に沿った変化, 2015 年度日本生態学会北海道地区大会, 札幌, 口頭

金森由妃, 深谷肇一, 野田隆史, 2016 年 3 月 1 日, eigenvector sensitivity analysis による生物群集の季節動態を駆動するプロセスの環境勾配に沿った空間パターン, 第 13 回数学総合若手研究集会, 札幌, 口頭

金森由妃, 深谷肇一, 野田隆史, 2016 年 3 月 21 日, 岩礁潮間帯固着生物群集における季節性のパターンとプロセスの環境勾配に沿った変化, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, 口頭

鍵谷進乃介, 内海俊介, 2015 年 10 月 11 日, 森林の群集遺伝学: 昆虫群集の年変異は樹木の遺伝変異で説明できるか?, 第 31 回個体群生態学会大会, 彦根, ポスター

陳世傑, 工藤勲, 渡部友日, 伊藤良博, 吉田達, 2015 年 9 月 3 日, 付着生物が陸奥湾の貧栄養化とホタテガイ成長に与える影響, 日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会, 札幌, 口頭

雨谷教弘, 工藤岳, 2016 年 3 月 22 日, ハイマツ実生の発生と生存に作用する要因, 日本生態学会第 63 回大会, 仙台, ポスター

須貝洋海, Perschke, M., Lenz, M., 仲岡雅裕, 2015 年 9 月 4 日, マイクロプラスチック汚染が海洋ベントスに与える影響, 2012 年日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会, 札幌, ポスター

鶴野哲郎, 熊野貴宏, Nicola, S., 荒木肇, 2016 年 3 月 26 日, 夏秋季における地中熱を活用したチコリ生産スペースの温度制御, 園芸学会平成 28 年度春季大会, 厚木, 口頭

<平成 26 年度報告書以前の掲載漏れ>

橋本美佳子, 2015 年 3 月 2 日, 極域サンプル由来のグラム陽性細菌における多価不飽和脂肪酸の分布の可能性, 平成 27 年度国立極地研究所学生研究発表会, 東京, 口頭

環境物質科学専攻

Brown, P. A., Inomata, S., Tanimoto, H., Sakamoto, Y., Yajima, R., Hirokawa, J., 2015 年 10 月 19 日-21

- 日, Oxygen atom release during the dissociation of energy-rich Criegee intermediates produced by ozonolysis of cycloalkenes, 第 21 回大気化学討論会, 東京, ポスター
- Casalme, L., Sato, A., Ameda, Y., Umezawa, T., Matsuda, F., 2015 年 7 月 18 日, Synthetic study on dolastatin 16, 日本化学会北海道支部 2015 年夏季研究発表会, 函館, 口頭
- Casalme, L., Sato, A., Ameda, Y., Umezawa, T., Matsuda, F., 2015 年 9 月 9 日, Synthetic study on dolastatin 16, 第 57 回天然有機化合物討論会, 横浜, ポスター
- Casalme, L., Umezawa, T., Matsuda, F., 2016 年 3 月 24 日, Synthetic study on dolastatin 16, 日本化学会第 96 春季年会, 京田辺, 口頭
- Endo, M., Wei, Z., Kowalska, E., Ohtani, B., 2016 年 1 月 19 日, Visible light-induced antimicrobiological activity of titania modified with mono and bi-metallic (Au/Ag) nanoparticles, 化学系学協会北海道支部 2016 年冬季研究発表会, 札幌, ポスター
- Endo, M., Wei, Z., Ohtani, B., Kowalska, E., 2015 年 12 月 4 日, Mono and bi-metallic (Au/Ag) titania photocatalysts with enhanced antimicrobial activity under visible-light irradiation, 第 22 回シンポジウム「光触媒反応の最近の展開」, 野田, ポスター
- Hirayama, J., Kamiya, Y., 2015 年 5 月 26 日, Purification of actual groundwater polluted with nitrate by photocatalytic reduction over Pt/TiO₂-SnPd/Al₂O₃ system, The 15th Korea - Japan Symposium on Catalysis, 韓国・釜山, 口頭
- Hirayama, J., Kamiya, Y., 2015 年 8 月 30 日, Combining the photocatalyst Pt/TiO₂ and the non-photocatalyst SnPd/Al₂O₃ for effective photocatalytic purification of groundwater polluted with nitrate, Europa Cat 2015, ロシア・カザン, 口頭
- Hirokawa, J., Yajima, R., Sakamoto, Y., Inomata, S., 2015 年 8 月 9 日-10 日, Particle formation from ozonolysis of unsaturated organic compounds, International Workshop on Heterogeneous Kinetics Related to Atmospheric Aerosols, 中国・北京, 口頭
- Hori, H., Takase, M., Ohtani, B., 2015 年 10 月 14 日, Mechanistic study based on the analysis of light-intensity dependence of bismuth-tungstate photocatalyst particles, 1st International Symposium of Institute for Catalysis--Global Collaboration in Catalysis Science toward Sustainable Society, 札幌, ポスター
- Ikeda, R., Ohtani, B., Kowalska, E., 2015 年 6 月 27 日, Preparation and photocatalytic activity of metallic bismuth-loaded titania photocatalysts, 第 31 回ライラックセミナー・第 21 回若手研究者交流会・産官学フォーラム講演会合同大会, 札幌/小樽, ポスター
- Ikeda, R., Ohtani, B., Remita, H., Colbeau-Justin, C., Kowalska, E., 2016 年 3 月 31 日, Preparation and photocatalytic activity of metallic bismuth-modified titania photocatalysts, 電気化学会第 83 回大会, 吹田, 口頭
- Inomata, S., Tanimoto, H., Sato, K., Fujitani, Y., Morino, Y., Tanabe, K., Yajima, R., Sakamoto, Y., Hirokawa, J., 2015 年 8 月 9 日-10 日, A simultaneous and time-resolved measurement of α -pinene ozonolysis products in gaseous and aerosol phases for the determination of gas-aerosol partitioning, International Workshop on Heterogeneous Kinetics Related to Atmospheric Aerosols, 中国・北京, 口頭
- Iwasaki, M., Kobayashi, N., Shichibu, Y., Konishi, K., 2015 年 12 月 15 日-20 日, Optical responses of octanuclear gold clusters modifying thiolate ligands, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, ポスター
- Kabiraz, D. C., Morita, K., Kawaguchi, T., 2015 年 9 月 11 日, Surface plasmon resonance immunosensor using AU nanoparticle modified antibody, 電気化学秋季大会, 深谷, 口頭

- Kabiraz, D. C., Morita, K., *Kawaguchi, T.*, 2016年1月19日-20日, Kinetic study of indirect competitive inhibition immunoassay using AuNP modified antibody, 化学系学協会北海道支部 2016年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- Kabiraz, D. C., Morita, K., *Kawaguchi, T.*, 2016年3月10日, Surface plasmon resonance immunosensor using AU nanoparticle modified antibody, PITTCON 2016, アメリカ・シカゴ, 口頭
- Kabiraz, D. C., Morita, K., *Kawaguchi, T.*, 2016年3月29日, Kinetics study of Au nanoparticle-labeled antibody for SPR immunosensing, 電気化学会第83回大会, 吹田, 口頭
- Kamiya, Y.*, Hirayama, J., 2015年8月30日, Photocatalytic reduction of nitrate to Nitrogen in water under visible light irradiation in the presence of Pt/SrTiO₃:Rh photocatalyst and SnPd/Al₂O₃ non-photocatalyst, Europa Cat 2015, ロシア・カザン, ポスター
- Kamiya, Y.*, Mahardiani, L., 2015年5月27日, Activity enhancement of cobalt oxide catalyst by repeated use for catalytic ozonation of ammonium ion in water, The 15th Korea - Japan Symposium on Catalysis, 韓国・釜山, 口頭
- Kato, M.*, Kimijima, K., Shibata, M., Notsu, H., Ogino, K., Inokuma, K., Ohta, N., Oyaizu, N., Uehara, H., Ohba, T., Uemura, Y., Takakusagi, S., Asakura, K., *Yagi, I.*, 2015年10月4日-9日, In situ X-ray absorption fine structure spectroscopy of dinuclear copper catalyst under oxygen reduction reaction conditions, 66th Annual Meeting of the International Society of Electrochemistry, 台湾・台北, ポスター
- Kato, M.*, Kimijima, K., Shibata, M., Notsu, H., Ogino, K., Inokuma, K., Ohta, N., Oyaizu, N., Uehara, H., Ohba, T., Uemura, Y., Takakusagi, S., Asakura, K., *Yagi, I.*, 2015年5月24日-28日, Deprotonation of a multi-nuclear copper complex for high oxygen reduction reaction activity investigated by in situ X-ray absorption fine structure spectroscopy, 227th ECS Meeting, アメリカ・シカゴ, 口頭
- Kato, M.*, Kimijima, K., Shibata, M., Notsu, H., Ogino, K., Inokuma, K., Ohta, N., Uehara, H., Uemura, Y., Oyaizu, N., Ohba, T., Takakusagi, S., Asakura, K., *Yagi, I.*, 2015年10月14日-15日, In situ X-ray absorption fine structure spectroscopy of dinuclear copper catalyst under oxygen reduction reaction conditions, First International Symposium of Institute for Catalysis - Global Collaboration in Catalysis Science toward Sustainable Society, 札幌, ポスター
- Konishi, K.*, Kobayashi, N., Iwasaki, M., *Shichibu, Y.*, 2015年7月26日-29日, Chromism behaviors of organic-functionalized ultrasmall gold clusters, Gold 2015, イギリス・カーディフ, 口頭
- Kowalska, E.*, Endo, M., Markowska-Szczupak, A., Wei, Z., Janczarek, M., Rosa, L., Juodkazis, S., *Ohtani, B.*, 2016年3月23日, Plasmonic photocatalysts for environmental applications, The 9th International Conference on Nanophotonics (ICNP2016), 台湾・台北, 口頭
- Kowalska, E.*, Wei, Z., *Ohtani, B.*, 2015年9月4日, Morphology-dependent photocatalytic activity of octahedral anatase particles (OAPs) prepared by ultrasonication-hydrothermal reaction of titanate nanowires (TNWs), The Third International Conference on Photocatalytic and Advanced Oxidation Technologies (PAOT-3), ポーランド・グダニスク, 口頭
- Liang, Y., Qiao, L., *Osawa, M.*, *Ye, S.*, 2016年1月29日, Structure and stability of monolayer of unsaturated lipids with different polar groups, 第5回統合物質国際シンポジウム, 名古屋, ポスター
- Mahardiani, L., *Kamiya, Y.*, 2015年8月30日, Acceleration of catalytic ozonation of ammonium ion in water over cobalt oxide catalyst by repeated use, Europa Cat 2015, ロシア・カザン, ポスター

- Miyano, N., Umezawa, T., Matsuda, F., 2015年12月19日, Synthetic study on (-)-Kainic acid using SmI_2 , The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, ポスター
- Murotani, T., Kato, M., Yagi, I., 2015年12月15日-20日, Iron and Copper co-doped Oxygen Reduction Reaction Catalysts, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, ポスター
- Muto, M., Kato, M., Yagi, I., 2015年10月4日-9日, Copper-incorporated carbon catalysts for oxygen reduction reaction, 66th Annual Meeting of the International Society of Electrochemistry, 台湾・台北, ポスター
- Nishide, D., Kubo, K., Noro, S., Nakamura, T., 2015年11月10日-11日, Crystal structures of sandwich-type lanthanide-polyoxometalates, The 16th RIES-Hokudai International Symposium “術”, 札幌, ポスター
- Nitta, A., Takase, M., Murakami, N., Ohtani, B., 2016年1月7日, Energy-resolved measurement of electron-trap density toward elucidation of particulate photocatalysis mechanism, HU-UCB Joint Symposium on Chemical Sciences and Engineering, 札幌, 口頭
- Nitta, A., Takase, M., Ohtani, B., 2015年12月17日, Evaluation of energy-resolved density of electron traps in particulate photocatalysts by reversed double-beam photoacoustic spectroscopy, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, 口頭
- Nitta, A., Takase, M., Ohtani, B., 2015年9月3日, Photoacoustic spectroscopic analysis of energy distribution of electron-trap density toward elucidation of photocatalysis, First International Symposium on Recent Progress of Energy and Environmental Photocatalysis (Photocatalysis 1), 野田, ポスター
- Ohtani, B., Arima, T., Takase, M., Kuncewicz, J., 2015年12月18日, Visible light-induced photocatalysis by rhodium-doped titania particles, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, 口頭
- Ohtani, B., Nitta, A., Takase, M., 2015年11月21日, Energy-resolved distribution of electron traps as the key issue for photocatalysis, EMN Meeting on Photocatalysis, アメリカ・ラスベガス, 口頭
- Ohtani, B., Nitta, A., Takase, M., 2015年5月24日, Energy-resolved measurement of electron traps in metal-oxide particulate photocatalysts by newly developed reversed double-beam photoacoustic spectroscopy, 227th Meeting of the Electrochemical Society, アメリカ・シカゴ, 口頭
- Ohtani, B., Nitta, A., Takase, M., 2015年9月2日, Breaking the spell of band structure: energy-resolved distribution of electron traps as the key issue for photocatalysis, The Third International Conference on Photocatalytic and Advanced Oxidation Technologies (PAOT-3), ポーランド・グダニスク, 口頭
- Ohtani, B., Nitta, A., Takase, M., Takashima, M., Murakami, N., 2016年3月28日, A finger print of titania and the other metal oxide powders--Energy-resolved distribution of electron traps, 2016 EMN Meeting on Titanium-Oxides, アメリカ・ホノルル, 口頭
- Ohtani, B., Takeuchi, S., Hori, H., Takase, M., 2015年9月10日, Light intensity and particle size-dependent photocatalytic activity in heterogeneous photocatalysis, 2015年光化学討論会, 大阪, 口頭
- Ohtani, B., Takeuchi, S., Takase, M., 2015年11月16日, Intensity and size-dependent photocatalytic

- activity of suspended titania particles for decomposition of water, The 20th International Conference on Semiconductors Photocatalysis and Solar Energy Conversion (SPASEC-20), アメリカ・サンディエゴ, 口頭
- Ohtani, B., Takeuchi, S., Takase, M.*, 2015年9月25日, Proof of multi electron transfer in heterogeneous photocatalysis, Seminar at Faculty of Chemistry, ポーランド・クラクフ, 口頭
- Ordonez, C., Shichibu, Y., Konishi, K.*, 2015年11月27日, Unusual behavior of ferrocenyl-modified gold clusters, 第4回錯体化学若手の会北海道支部勉強会, 札幌, ポスター
- Ordonez, C., Shichibu, Y., Konishi, K.*, 2015年8月28日-29日, Redox behavior of redox active gold clusters, 2015年度北海道高分子若手研究会, 札幌, ポスター
- Ordonez, C., Shichibu, Y., Konishi, K.*, 2015年9月21日-23日, Structural and spectral studies of a novel gold cluster containing redox-active ligands, 第65回錯体化学討論会, 奈良, ポスター
- Ordoñez Castillo, C. E., Shichibu, Y., Konishi, K.*, 2015年10月13日-15日, Synthesis and properties of novel redox-active gold clusters, 第5回CSJ化学フェスタ2015, 東京, ポスター
- Oshima, Y., Kubo, K., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T.*, 2015年12月15日-20日, Crystal structure and physical properties of (p-phenylenediamine)₂(H⁺)₃(DCH[18]crown-6)₃ double-decker type supramolecular cation in [Ni(dmit)₂] salt, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, ポスター
- Otsuka, Y., Yamada, K., Sakurai, S.*, 2015年12月19日, Synthesis of fluorescent solvatochromic dyes based on 2-Pyridylthiophene compound and tuning of absorption and emission wavelengths by coordination at the pyridyl nitrogen, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, ポスター
- Qiao, L., Liang, Y., Ye, S.*, 2015年11月27日, Structure and stability of lipid monolayers under low-level of ozone investigated by sfg and afm, 表面・界面スペクトロスコーピー2015, 嵐山, 口頭
- Qiao, Y., Liu, C., Zhou, Y., Ye, S.*, 2016年1月29日, Oxygen reduction and evolution reactions (ORR/OER) with a Redox Mediator for Li-O₂ Battery, 第5回統合物質国際シンポジウム, 名古屋, ポスター
- Qiao, Y., Ye, S.*, 2015年10月6日, In situ study of oxygen reduction in DMSO solution, ISE meeting, 台湾・台北, 口頭
- Qiao, Y., Zhou, Y., Ye, S.*, 2015年11月11日, In situ study of oxygen electrochemical reduction for development of Li-O₂ battery, 第56回電池討論会, 名古屋, 口頭
- Sakamoto, Y., Goda, M., Hirokawa, J.*, 2015年6月3日-5日, A kinetics study of the gaseous bromine release via the heterogeneous reaction between gaseous ozone and aqueous bromide solution, 31st Symposium on Chemical Kinetics and Dynamics, 札幌, 口頭
- Shichibu, Y., Ordoñez Castillo, C. E., Konishi, K.*, 2016年3月24日-27日, Unique properties of ferrocenyl modified ultrasmall gold clusters, 日本化学会第96春季年会, 京田辺, 口頭
- Shichibu, Y., Yoshida, K., Konishi, K.*, 2015年12月15日-20日, Syntheses and characterizations of tiara-shaped metal-thiolate macrocyclic hosts, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, ポスター
- Shichibu, Y., Yoshida, K., Konishi, K.*, 2015年9月21日-23日, Inclusion of silver ions by tiara-shaped metal-thiolate macrocyclic hosts, 錯体化学会第65回討論会, 奈良, 口頭
- Shichibu, Y., Yoshida, K., Ozawa, S., Konishi, K.*, 2016年3月24日-27日, Host-guest properties of metal-thiolate macrocyclic clusters, 日本化学会第96春季年会, 京田辺, 口頭
- Shichibu, Y., Zhang, M., Konishi, K.*, 2015年12月15日-20日, Unique optical properties of

- shape-controlled gold clusters: Surprising correlation between geometric and electronic structures, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, 口頭
- Shichibu, Y., Zhang, M., Konishi, K.*, 2015年7月26日-29日, Unique absorptions of non-spherical gold clusters: Correlation between geometric and electronic structures, Gold 2015, イギリス・カーディフ, 口頭
- Sugiuchi, M., Kobayashi, N., Shichibu, Y., Konishi, K.*, 2015年7月26日-29日, Crystal structures and solid-state optical properties of di-alkynylated octanuclear gold clusters, 7th International Gold Conference, イギリス・カーディフ, ポスター
- Sugiuchi, M., Shichibu, Y., Konishi, K.*, 2015年12月15日-20日, Effects of the alkynyl substituents on the geometrical and electronic structures of “Magic-Number” Au₁₃ cluster, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, ポスター
- Sugiuchi, M., Shichibu, Y., Konishi, K.*, 2016年3月24日-27日, Electronic coupling behavior of sub-nanometer sized gold clusters, 日本化学会第96春季年会, 東京, 口頭
- Takase, M., Kimura, S., Ohtani, B.*, 2015年12月20日, Preparation, characterization and application of chiral molecule-stabilized noble-metal colloids, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, 口頭
- Takase, M., Kimura, S., Ohtani, B.*, 2015年8月31日, Characterization and application of gold and platinum colloids stabilized by chiral molecules, 15th International Conference on Chiroptical Spectroscopy (CD2015), 札幌, ポスター
- Takase, M., Kobayashi, K., Matsui, K., Ohtani, B.*, 2015年9月3日, Preparation of decahedral-shaped anatase titania particles and their surface modification with gold and platinum nanoparticles, First International Symposium on Recent Progress of Energy and Environmental Photocatalysis (Photocatalysis 1), 野田, ポスター
- Takeuchi, S., Takase, M., Ohtani, B.*, 2015年12月19日, Light-intensity and particle-size dependence of heterogeneous photocatalytic oxidation of water, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, 口頭
- Takeuchi, S., Takase, M., Ohtani, B.*, 2015年9月3日, Light-intensity and particle-size dependences of heterogeneous photocatalytic oxygen evolution, First International Symposium on Recent Progress of Energy and Environmental Photocatalysis (Photocatalysis 1), 野田, ポスター
- Takeuchi, S., Takase, M., Takashima, M., Ohtani, B.*, 2016年1月29日, Proving multi-electron transfer mechanism based on light-intensity dependence of photocatalytic oxygen evolution, The 4th International Conference on MEXT Project of Integrated Research on Chemical Synthesis: Molecular Functions in Complex Systems, 名古屋, ポスター
- Wang, K., Kowalska, E., Ohtani, B.*, 2015年11月25日, Anatase and rutile polymorphic forms isolated from commercial P25 titania for photocatalytic degradation of chemical and microbiological pollutants, The 18th Hokkaido University-Seoul National University Symposium, 韓国・ソウル, 口頭
- Wang, K., Markowska-Szczupak, A., Endo, M., Ohtani, B., Kowalska, E.*, 2016年1月19日, Anatase and rutile polymorphic forms isolated from commercial P25 titania for photocatalytic degradation of chemical and microbiological pollutants, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

- Wang, K., Ohtani, B., Kowalska, E., 2015年6月27日, Difference in photocatalytic activities of anatase and rutile particles for methanol dehydrogenation with loaded platinum cocatalyst, 第31回ライラックセミナー・第21回若手研究者交流会・産官学フォーラム講演会合同大会, 札幌/小樽, ポスター
- Wang, K., Ohtani, B., Kowalska, E., 2015年10月14日, Influence of platinum-loading amount on photocatalytic activities of titania particles prepared from Evonik P25, 1st International Symposium of Institute for Catalysis--Global Collaboration in Catalysis Science toward Sustainable Society, 札幌, ポスター
- Wang, K., Ohtani, B., Kowalska, E., 2015年9月3日, Photocatalytic activities of anatase and rutile isolated from P25 titania with platinum deposits for methanol dehydrogenation, First International Symposium on Recent Progress of Energy and Environmental Photocatalysis (Photocatalysis 1), 野田, 口頭
- Wang, K., Ohtani, B., Kowalska, E., 2016年1月29日, Influence of platinum-loading amount on photocatalytic activities of titania particles obtained from Evonik P25, The 4th International Conference on MEXT Project of Integrated Research on Chemical Synthesis: Molecular Functions in Complex Systems, 名古屋, ポスター
- Wang, K., Ohtani, B., Kowalska, E., 2016年3月23日, Influence of platinum-loading on photocatalytic activities of particles separated from an anatase-rutile mixed titania, The 9th International Conference on Nanophotonics (ICNP2016), 台湾・台北, ポスター
- Wei, Z., Endo, M., Ohtani, B., Kowalska, E., 2015年10月22日, Preparation of octahedral anatase titania particles for decomposition of chemical and microbiological pollutants, 4th European Conference on Environmental Applications of Advanced Oxidation Processes (EAAOP-4), ギリシア・アテネ, ポスター
- Wei, Z., Endo, M., Ohtani, B., Kowalska, E., 2016年3月21日, Octahedral anatase particles modified with plasmonic nanoparticles with enhanced photocatalytic activity, The 9th International Conference on Nanophotonics (ICNP2016), 台湾・台北, ポスター
- Wei, Z., Kowalska, E., Ohtani, B., 2015年10月14日, Morphology-dependent photocatalytic activity of octahedral anatase particles, 1st International Symposium of Institute for Catalysis--Global Collaboration in Catalysis Science toward Sustainable Society, 札幌, ポスター
- Wei, Z., Kowalska, E., Ohtani, B., 2015年7月3日, Influence of particle morphology on photocatalytic activity of octahedral anatase titania particles, 統合物質創製化学事業第6回若手研究会, 別府, ポスター
- Wei, Z., Kowalska, E., Ohtani, B., 2015年9月4日, Influence of particle morphology on photocatalytic activity of octahedral anatase titania particles, First International Symposium on Recent Progress of Energy and Environmental Photocatalysis (Photocatalysis 1), 野田, 口頭
- Wei, Z., Kowalska, E., Ohtani, B., 2016年1月19日, Influence of particle morphology on photocatalytic activity of octahedral anatase titania particles, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- Wei, Z., Kowalska, E., Ohtani, B., 2016年1月29日, Morphology-dependent photocatalytic activity of octahedral anatase particles, The 4th International Conference on MEXT Project of Integrated Research on Chemical Synthesis: Molecular Functions in Complex Systems, 名古屋, ポスター
- Wei, Z., Ohtani, B., Kowalska, E., 2015年10月22日, Morphology-dependent photocatalytic activity of octahedral anatase particles prepared by ultrasonication-hydrothermal reaction, 4th

European Conference on Environmental Applications of Advanced Oxidation Processes (EAAOP-4), ギリシア・アテネ, 口頭

Xiong, J., Kubo, K., Noro, S., Nakamura, T., 2015年7月18日, Self-assembled structure of inorganic-organic hybrid crystals based on Keggin polyoxometallates [$\text{SMo}_{12}\text{O}_{40}^{2-}$] and supramolecular cations, 日本化学会北海道支部2015年夏季研究発表会, 函館, 口頭

Xiong, J., Kubo, K., Noro, S., Nakamura, T., 2015年12月15日-20日, Design of POMs-based self-assembled chiral crystals by induced crown ether supramolecular cations, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, ポスター

Yajima, R., Sakamoto, Y., Inomata, S., Hirokawa, J., 2015年6月3日-5日, Secondary organic aerosol formation from cyclohexene ozonolysis, 31st Symposium on Chemical Kinetics and Dynamics, 札幌, ポスター

Yamaki, K., Kato, M., Tosya, T., Yagi, I., 2015年9月13日-15日, Electrochemical behavior of bacterial nitric oxide reductase immobilized on gold electrodes via self-assembled monolayers, 第53回日本生物物理学会年会, 金沢, ポスター

Ye, S., Qiao, Y., 2015年8月14日, in situ study of oxygen reduction in nonaqueous solution, The Fifteenth International Symposium on Electroanalytical Chemistry (15th ISEAC), 中国・長春, 口頭

Ye, S., Qiao, Y., Liu, C., 2015年8月8日, In situ study of oxygen electrochemical reduction for development of Li-O₂ battery, The 18th National Conference on Electrochemistry, 中国・ハルビン, 口頭

Yoshiiri, K., Ohtani, B., Kowalska, E., 2015年6月27日, Photocatalytic activity of titania modified with plasmonic nanoparticle and metal complex working under UV and visible-light irradiation, 第31回ライラックセミナー・第21回若手研究者交流会・産官学フォーラム講演会合同大会, 札幌/小樽, ポスター

Yoshiiri, K., Ohtani, B., Kowalska, E., 2015年7月26日, Plasmonic nanoparticle and metal complex-modified titania photocatalysts working under UV and visible-light irradiation, 第55回オーロラセミナー, 沼田, ポスター

Yoshiiri, K., Ohtani, B., Kowalska, E., 2015年9月3日, UV and visible light-induced photocatalysis by titania modified with plasmonic nanoparticle and metal complex, First International Symposium on Recent Progress of Energy and Environmental Photocatalysis (Photocatalysis 1), 野田, ポスター

Yoshitake, M., Kubo, K., Nishihara, S., Inoue, K., Akutagawa, T., Noro, S., Nakamura, T., 2015年12月15日-20日, Structure and physical properties of chiral $[\text{MnCr}(\text{oxalate})_3]^-$ crystals with supramolecular cations, The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015), アメリカ・ホノルル, ポスター

Zheng, X., Fukuhara, K., Takahashi, Y., Kubo, K., Noro, S., Nakamura, T., 2015年11月10日-11日, Carbon dioxide adsorption property of a flexible one-dimensional porous coordination polymer with bulky fluorinated anions, The 16th RIES-Hokudai International Symposium “術”, 札幌, ポスター

Zheng, X., Fukuhara, K., Takahashi, Y., Kubo, K., Noro, S., Nakamura, T., 2015年11月27日, Carbon dioxide adsorption property of a flexible one-dimensional porous coordination polymer with bulky fluorinated anions, 2015年度錯体化学若手の会北海道支部第4回勉強会, 札幌, ポスター

- Liu, C., 喬羽, 叶深, 2015年11月11日, リチウム酸素電池のカソード電極表面のその場 AFM 観察, 第 56 回電池討論会, 名古屋, 口頭
- Liu, C., 喬羽, 叶深, 2015年9月11日, 非水溶媒中における酸素還元反応のその場 AFM 観察, 2015年電気化学秋季大会, 深谷, 口頭
- 大島雄, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2015年7月18日, (3-Fluoroadamantylammonium)([18]crown-6 誘導体)[Ni(dmit)₂]超分子結晶における分子運動, 日本化学会北海道支部 2015年夏季研究発表会, 函館, 口頭
- 七分勇勝, 張明喆, 小西克明, 2015年5月11日-13日, Au₆核を基軸とする新奇金クラスター群が織り成すユニークな光化学特性, ナノ学会第13回大会, 仙台, 口頭
- 三栖紗也香, 平山純, 神谷裕一, 2016年1月19日, チタン化合物のみを原料とする還元型酸化チタンの合成, 化学系学協会北海道支部 2016年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 中田暉, 諸角達也, 松田冬彦, 2015年7月18日, 可視領域蛍光発色団を修飾したシクロデキストリンによる界面活性剤検出試薬の改良, 日本化学会北海道支部および日本分析化学会、高分子学会、触媒学会、日本エネルギー学会、石油学会、有機合成化学協会の各北海道支部、日本セラミックス協会東北・北海道支部, 函館, 口頭
- 丹野駿, 熊谷諒太, 加藤優, 保田諭, 村越敬, 八木一三, 2016年1月19日-20日, Au電極表面に構築したグラフェンへの電気化学的分子修飾, 化学系学協会北海道支部 2016年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 今敬太, 加藤優, 八木一三, 2015年10月23日-24日, 新規コバルト錯体のシクロデキストリンへの包接と電気化学特性, 第8回新電極触媒シンポジウム&宿泊セミナー, 三島, ポスター
- 今敬太, 加藤優, 八木一三, 2016年3月24日-27日, 新規コバルト錯体の合成および可視光照射下での水素発生能評価, 日本化学会第96春季年会, 京田辺, 口頭
- 佐藤匠, 梅澤大樹, 松田冬彦, 2015年7月18日, クロロスルホリピッド類の合成研究, 日本化学会北海道支部 2015年夏季研究発表会, 函館, 口頭
- 保田修平, 神谷裕一, 2015年8月5日, H₃PMo₁₂O₄₀上でのメタクロレイン選択酸化反応における水蒸気添加の有無による触媒特性の変化, 第36回触媒学会若手会 夏の研修会, 渋川, ポスター
- 保田修平, 菅野充, 二宮航, 大谷内健, 神谷裕一, 2015年9月16日, 12-モリブドリン酸触媒上でのメタクロレイン選択酸化反応に対する水蒸気の役割, 第116回触媒討論会, 津, 口頭
- 冨田修, 苧坪敬榮, 佐藤亨祐, 東正信, 大谷文章, 阿部竜, 2015年12月3日, パラジウム担持型酸化タングステン光触媒を用いた 2-プロパノール酸化反応, 第34回固体・表面光化学討論会, 宇都宮, 口頭
- 加藤優, 君島堅一, 柴田真里, 野津英男, 荻野和也, 猪熊喜芳, 太田鳴海, 小柳津暢久, 上原広充, 大場惟史, 上村洋平, 高草木達, 朝倉清高, 八木一三, 2015年12月1日-3日, カーボン担持銅二核錯体からなる酸素還元電極触媒の in situ XAFS 観察, 第35回表面科学学術講演会, つくば, 口頭
- 加藤優, 今敬太, 八木一三, 2015年7月17日-18日, コバロキシム錯体-シクロデキストリン包接化合物による電気化学的水素発生, 日本化学会北海道支部 2015年夏季研究発表会, 函館, 口頭
- 加藤優, 今敬太, 八木一三, 2015年9月21日-23日, コバルト錯体のシクロデキストリンへの包接化合物による電気化学的水素発生, 錯体化学会第65回討論会, 奈良, ポスター
- 加藤優, 君島堅一, 柴田真里, 野津英男, 荻野和也, 猪熊喜芳, 太田鳴海, 小柳津暢久, 上原広充, 大場惟史, 上村洋平, 高草木達, 朝倉清高, 八木一三, 2015年7月29日-31日, 銅二核錯体をベースとした酸素還元電極触媒の in situ XAFS による 活性中心構造の解明, 第18回 XAFS 討論会, つくば, ポスター
- 加藤優, 君島堅一, 柴田真里, 野津英男, 荻野和也, 猪熊喜芳, 太田鳴海, 小柳津暢久, 上原広充, 大場惟

- 史, 上村洋平, 高草木達, 朝倉清高, 八木一三, 2015年9月2日, 銅二核錯体をベースとした酸素還元電極触媒の in situ XAFS による 活性中心構造の解明, 第3回 FC-Cubic 技術交流会, 東京, ポスター
- 加藤優, 武藤毬佳, 八木一三, 2015年9月11日-12日, 多核銅錯体をカーボンに組み込んだ非白金系電極触媒, 2015年電気化学秋季大会, 深谷, 口頭
- 加藤優, 武藤毬佳, 八木一三, 2016年3月24日-27日, 銅組み込み型カーボン電極触媒による酸素還元, 日本化学会第96春季年会, 京田辺, 口頭
- 番羽, 叶深, 2015年9月12日, DMSO 電解質溶液中における酸素還元反応のその場研究, 2015年電気化学秋季大会, 深谷, 口頭
- 堀晴菜, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年5月12日, ナノマイクロ階層構造をもつタングステンビスマス光触媒粒子の調製, 特性評価と光触媒活性, ナノ学会第13回大会, 仙台, 口頭
- 堀晴菜, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年6月27日, タングステン酸ビスマス粒子の高次構造形成機構と光触媒活性支配因子の解析, 第31回ライラックセミナー・第21回若手研究者交流会・産官学フォーラム講演会合同大会, 札幌/小樽, ポスター
- 堀晴菜, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年7月18日, タングステン酸ビスマス粒子系光触媒反応における速度の粒径・光強度依存性の解析, 日本化学会北海道支部2015年夏季研究発表会, 函館, 口頭
- 堀晴菜, 高瀬舞, 天野史章, 大谷文章, 2015年7月18日, 水熱法によるフレークボール形状タングステン酸ビスマス光触媒粒子の生成機構, 日本化学会北海道支部2015年夏季研究発表会, 函館, 口頭
- 大島雄, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2015年9月21日-24日, ダブルデッカー型超分子カチオン(p-phenylenediamine)₂(H⁺)₃(dicyclohexano[18]crown-6)₃結晶の動的構造, 第9回分子科学討論会2015, 東京, 口頭
- 大谷文章, 新田明央, 村上直也, 高島舞, 高瀬舞, 2015年11月28日, 逆二重励起光音響分光法による金属酸化物粒子中の電子トラップのエネルギー分布解析, 表面・界面スペクトロスコーピー2015, 嵐山, 口頭
- 大谷文章, 竹内脩悟, 堀晴菜, 高瀬舞, 2015年6月19日, 不均一系光触媒反応速度の光強度/粒子サイズ依存性にもとづく機構解析, 第34回光がかかわる触媒化学シンポジウム, 東京, 口頭
- 大谷文章, 竹内脩悟, 堀晴菜, 高瀬舞, 2015年6月26日, 不均一系光触媒反応における電子/正孔移動の粒子サイズ・光強度依存性解析, 第39回有機電子移動化学討論会, 長崎, 口頭
- 奥井学, 加藤優, 八木一三, 2016年1月19日-20日, 錫を修飾した金属単結晶電極を用いた硝酸還元, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 奥井学, 加藤優, 八木一三, 2016年3月29日-31日, スズで修飾した単結晶金属電極を用いた硝酸還元, 電気化学会第83回大会, 吹田, 口頭
- 室谷岳志, 加藤優, 八木一三, 2016年3月29日-31日, 異種金属複合活性中心を有する電極還元活性, 電気化学会第83回大会, 吹田, 口頭
- 宮野奈津美, 梅澤大樹, 松田冬彦, 2015年7月18日, ニヨウ化サマリウムを用いたカイニン酸の合成研究, 日本化学会北海道支部2015年夏季研究発表会, 函館, 口頭
- 小林健太, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年6月27日, 十面体形状アナタース型酸化チタンへの金属担持の結晶面選択性, 第31回ライラックセミナー・第21回若手研究者交流会・産官学フォーラム講演会合同大会, 札幌/小樽, ポスター
- 小林健太, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年7月26日, 十面体形状アナタース型酸化チタンに析出させた金属微粒子の結晶面選択性, 第55回オーロラセミナー, 沼田, ポスター
- 小林健太, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年9月11日, 十面体形状アナタース型酸化チタン上への金属微粒子担持の結晶面選択性, 2015年電気化学秋季大会, 深谷, 口頭

小澤駿, 吉田圭佑, 七分勇勝, 小西克明, 2016年3月24日-27日, 金属チオレート骨格を有するティアラ型環状クラスターの銀イオン認識挙動, 日本化学会第96春季年会, 京田辺, ポスター

小石真樹, 梅澤大樹, 松田冬彦, 2015年7月18日, Hachijojimalleneの合成研究, 日本化学会北海道支部2015年夏季研究発表会, 函館, 口頭

山木邦亮, 加藤優, 當舎武彦, 八木一三, 2015年9月16日-19日, 金電極表面への一酸化窒素還元酵素(NOR)固定とその電気化学活性, 第9回分子科学討論会2015, 東京, ポスター

山本洋平, 平山純, 神谷裕一, 2015年9月16日, 水中硝酸イオン光還元分解に対するSn-Pd修飾金属酸化物半導体の光触媒性能支配因子, 第116回触媒討論会, 津, ポスター

岩崎光紘, 小林直貴, 七分勇勝, 小西克明, 2016年3月24日-27日, 近傍 π 電子系を利用したサブナノ金クラスターの特性制御, 日本化学会第96春季年会, 京田辺, 口頭

岩崎光紘, 小林直貴, 七分勇勝, 小西克明, 2015年10月13日-15日, π 共役系を導入したサブナノ金クラスターの光応答機能, 第5回CSJ化学フェスタ2015, 東京, ポスター

岩崎光紘, 小林直貴, 七分勇勝, 小西克明, 2015年11月27日, π 相互作用を利用したサブナノ金クラスターの光学特性の制御, 第4回錯体化学若手の会北海道支部勉強会, 札幌, ポスター

岩崎光紘, 小林直貴, 七分勇勝, 小西克明, 2015年8月28日-29日, チオレート配位子を有するサブナノ金クラスターの光応答機能, 30th Summer University in Hokkaido & 2015年度北海道高分子若手研究会, 札幌, ポスター

岩崎光紘, 小林直貴, 七分勇勝, 小西克明, 2015年9月21日-23日, π 共役系との連携により発現するサブナノ金クラスターの光学応答特性, 錯体化学会第65回討論会, 奈良, 口頭

岩崎光紘, 小林直貴, 七分勇勝, 小西克明, 2016年1月19日-20日, π 相互作用の制御を基軸としたサブナノ金クラスターの特性チューニング, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

岩崎光紘, 小林直貴, 杉内瑞穂, 七分勇勝, 小西克明, 2015年5月11日-13日, チオレート配位子を有するサブナノ金クラスターの光機能, ナノ学会第13回大会, 仙台, ポスター

岸和樹, 山田幸司, 2015年5月23日, 3-アミノボロンジピロメテン誘導体を用いた変色型蛍光インジケータの開発, 日本分析化学会第75回分析化学討論会, 甲府, 口頭

平山純, 安田佳一郎, 神谷裕一, 2015年9月16日, 担持金属触媒上での水中亜硝酸イオン水素化反応の生成物選択率に与える酸素ガスの添加効果, 第116回触媒討論会, 津, 口頭

平山純, 神谷裕一, 2015年8月5日, Pt/TiO₂光触媒 SnPd/Al₂O₃熱触媒の協奏作用による実地下水中の硝酸イオン光還元分解, 第36回触媒学会若手会 夏の研修会, 渋川, ポスター

平山純, 神谷裕一, 2016年3月21日, Pt/TiO₂とSnPd/Al₂O₃を共分散させたタンデム型反応系による水中硝酸イオン光還元, 第117回触媒討論会, 大阪, 口頭

張明喆, 七分勇勝, 小西克明, 2015年5月27日-29日, 異方構造を有するサブナノ金クラスターの超分子的集合と光学応答, 第64回高分子学会年次大会, 札幌, ポスター

彭奇齡, 喬琳, 大澤雅俊, 叶深, 2015年9月17日, SFG分光法による炭素-電解質溶液界面の構造研究, 第9回分子科学討論会, 東京, 口頭

徳田翔一, 加藤優, 八木一三, 2016年1月19日-20日, Pt-Ni合金ナノ構造体の調製とキャラクターゼーション, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

徳田翔一, 加藤優, 八木一三, 2016年3月24日-3月27日, Pt-Ni合金ナノ構造体電極触媒の合成とその電極触媒活性評価, 日本化学会第96春季年会, 京田辺, 口頭

新田明央, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年6月27日, 電子トラップのエネルギー分布解析にもとづく光触媒反応の機構解明の試み, 第31回ライラックセミナー・第21回若手研究者交流会・産官学フォーラム講演会合同大会, 札幌/小樽, ポスター

新田明央, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年7月26日, 不均一系光触媒反応における機構解明のための電子トラップ密度のエネルギー分布解析, 第55回オーロラセミナー, 沼田, ポスター

新田明央, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年9月11日, 光触媒活性支配因子としての電子トラップ密度のエネルギー分布解析, 2015年電気化学秋季大会, 深谷, 口頭

新田明央, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年10月15日, 不均一系光触媒反応における機構解明のための電子トラップ密度のエネルギー分布解析, 第5回CSJ化学フェスタ2015, 東京, 口頭

新田明央, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年11月27日, 酸化チタン粒子中の電子トラップ密度と光触媒活性との相関解析, 表面・界面スペクトロスコープ2015, 嵐山, ポスター

新田明央, 高瀬舞, 村上直也, 高島舞, 大谷文章, 2016年3月26日, 不均一系光触媒反応の鍵となる電子トラップ密度のエネルギー分布解析, 日本化学会第96春季年会, 京田辺, 口頭

新田明央, 高瀬舞, 高島舞, 村上直也, 大谷文章, 2016年1月20日, 半導体粒子による光触媒反応の活性支配因子としての電子トラップ密度の解析, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

新田明央, 高瀬舞, 高島舞, 村上直也, 大谷文章, 2016年3月21日, 逆二重励起光音響分光法による光触媒活性支配因子としての電子トラップ密度の解析, 第117回触媒討論会, 堺, 口頭

杉内瑞穂, 七分勇勝, 小西克明, 2015年10月13日-15日, 固相でのサブナノ金クラスターの配列変化と発光応答性, 第5回CSJ化学フェスタ2015, 東京, ポスター

杉内瑞穂, 七分勇勝, 小西克明, 2015年5月11日-13日, サブナノAu₈クラスターの固相での分子間相互作用と光機能特性, ナノ学会第13回大会, 仙台, ポスター

杉内瑞穂, 七分勇勝, 小西克明, 2015年5月27日-29日, 構造明確なサブナノAuクラスターを構成単位とする多量体の合成と性質, 第64回高分子学会年次大会, 札幌, ポスター

杉内瑞穂, 七分勇勝, 小西克明, 2015年9月21日-23日, サブナノAuクラスター間でおきる特異な電子的相互作用, 第65回錯体化学討論会, 奈良, ポスター

松宮卓也, 山田幸司, 2016年1月20日, 蛍光ソルバトクロミック色素の部分構造をクロスカップリングしたボロンジピロメテン誘導体の合成, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

松峰陸, 七分勇勝, 小西克明, 2016年1月21日, PEG修飾Au(I)-チオラート配位高分子の合成と特性, 第50回高分子学会北海道支部冬季研究発表会, 札幌, ポスター

松峰陸, 七分勇勝, 小西克明, 2016年3月24日-27日, PEG鎖が導入されたAu(I)-チオラート配位高分子の合成と特性, 日本化学会第96春季年会, 京田辺, 口頭

武藤毬佳, 加藤優, 八木一三, 2015年10月23日-24日, 多核銅錯体をカーボンに組み込んだ酵素模倣電極触媒, 第8回新電極触媒シンポジウム&宿泊セミナー, 三島, ポスター

武藤毬佳, 加藤優, 八木一三, 2015年12月1日-3日, 多核銅錯体をカーボンに組み込んだ酸素還元電極触媒, 第35回表面科学学術講演会, つくば, 口頭

武藤毬佳, 加藤優, 八木一三, 2015年6月27日-28日, 多核銅錯体をカーボンに組み込んだ非白金系電極触媒, 第31回ライラックセミナー・第21回若手研究者交流会・産官学フォーラム講演会合同大会, 札幌, ポスター

武藤毬佳, 加藤優, 八木一三, 2015年7月17日-18日, 多核銅錯体をカーボンに組み込んだ酸素模倣電極触媒, 日本化学会北海道支部2015年夏季研究発表会, 函館, 口頭

武藤毬佳, 加藤優, 八木一三, 2016年3月29日-31日, グラフェンに多核銅錯体を組み込んだ酸素還元電極触媒, 電気化学会第83回大会, 吹田, 口頭

池田玲雄, 大谷文章, コワルスカ エバ, 2015年7月26日, 金属ビスマスを持させたチタニア粒子の調製と光触媒活性, 第55回オーロラセミナー, 沼田, ポスター

泉館広隆, 七分勇勝, 小西克明, 2015年8月28日-29日, PEG修飾された双二十面体 Au₂₅ クラスターの合成と特性, 2015年度北海道高分子若手研究会, 札幌, ポスター

泉館広隆, 七分勇勝, 小西克明, 2016年1月21日, 双二十面体 Au₂₅ クラスターの多様な配位子導入と特性探索, 第50回高分子学会北海道支部冬季研究発表会, 札幌, 口頭

泉館広隆, 七分勇勝, 小西克明, 2015年11月27日, PEG修飾された双二十面体 Au₂₅ クラスターの合成と特性, 第4回錯体化学若手の会北海道支部勉強会, 札幌, ポスター

泉館広隆, 七分勇勝, 小西克明, 2016年1月21日, 双二十面体 Au₂₅ クラスターの多様な配位子導入と特性探索, 第50回高分子学会北海道支部研究発表会, 札幌, 口頭

渡辺裕也, 今敬太, 加藤優, 八木一三, 2016年1月19日-20日, コバルト錯体包接シクロデキストリン単分子膜における電気化学特性, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

渡辺裕也, 今敬太, 加藤優, 八木一三, 2016年3月24日-27日, コバルト錯体のシクロデキストリンへの単分子膜における電気化学特性, 日本化学会第96春季年会, 京田辺, 口頭

瀧澤大, 高瀬舞, 高島舞, 大谷文章, 2016年1月19日, 昇温 X 線回折による酸化チタン粉末の結晶相転移の解析, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

矢嶋亮次, 坂本陽介, 猪俣敏, 廣川淳, 2015年10月19日-21日, モノテルペン類の気相オゾン分解からの二次粒子生成の研究, 第21回大気化学討論会, 東京, ポスター

矢嶋健人, 山田健太, 中村英博, 佐藤久, 川口俊一, 2015年7月18日, 電気化学バイオセンサによる病原性大腸菌の検出, 日本化学会北海道支部2015年夏季研究発表会, 函館, 口頭

矢野祥平, 加藤優, 八木一三, 2016年1月19日-20日, 撥水性鉄含有炭素電極における電極触媒活性, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

矢野祥平, 加藤優, 八木一三, 2016年3月24日-27日, アイオノマー複合鉄含有炭素電極の撥水性及び酸素還元活性, 日本化学会第96春季年会, 京田辺, 口頭

福世泰秀, 山田幸司, 2016年1月19日, 蛍光色素母骨格へのフタルヒドラジド部位のクロスカップリングによる化学発光色素の合成, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

竹内脩悟, 高島舞, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年12月3日, 光触媒酸素生成反応の光強度依存性解析にもとづく多電子移動機構の解明, 第34回固体・表面光化学討論会, 宇都宮, 口頭

竹内脩悟, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年6月27日, 不均一系光触媒反応における反応速度の粒径・光強度依存性にもとづく機構解析, 第31回ライラックセミナー・第21回若手研究者交流会・産官学フォーラム講演会合同大会, 札幌/小樽, ポスター

竹内脩悟, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年7月26日, 反応速度の粒径・光強度依存性にもとづく不均一系光触媒多電子反応の機構解析, 第55回オーロラセミナー, 沼田, ポスター

竹内脩悟, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年9月18日, 不均一系光触媒酸素生成反応における反応速度の粒径・光強度依存性にもとづく機構解析, 第116回触媒討論会, 津, 口頭

竹内脩悟, 高瀬舞, 大谷文章, 2015年10月15日, 反応速度の粒子サイズ・光強度依存性にもとづく不均一系光触媒酸素生成反応の機構解析, 第5回CSJ化学フェスタ2015, 東京, 口頭

竹内脩悟, 高瀬舞, 高島舞, 大谷文章, 2016年1月20日, 不均一系光触媒酸素生成反応の光強度依存性にもとづく多電子移動機構の解析, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

竹内脩悟, 高瀬舞, 高島舞, 大谷文章, 2016年3月21日, 反応速度の光強度依存性にもとづく不均一系光触媒反応における多電子移動機構の解析, 第117回触媒討論会, 堺, ポスター

荒木愛, 加藤優, 田口哲, 八木一三, 2015年7月17日-18日, アークプラズマ蒸着により調製した金属ナノ粒子の評価, 日本化学会北海道支部2015年夏季研究発表会, 函館, 口頭

荒木愛, 加藤優, 田口哲, 八木一三, 2016年1月19日-20日, ナノ粒子電極触媒の硝酸還元活性, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

- 西出大輔, 久保和也, 野呂真一郎, 中村貴義, 2015年11月27日, サンドウィッチ型ランタニド-ポリオキソメタレート¹の結晶構造及び磁気挙動, 2015年度錯体化学若手の会北海道支部第4回勉強会, 札幌, ポスター
- 西出大輔, 久保和也, 野呂真一郎, 中村貴義, 2016年1月19日-20日, 欠損型ポリオキソメタレートでサンドイッチされた三核ランタニド錯体の合成, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, ポスター
- 野島淳, 神谷裕一, 2015年9月16日, 水中硝酸イオン還元反応に与える担持ニッケル触媒への第二成分添加の影響, 第116回触媒討論会, 津, ポスター
- 長谷川裕己, 梅澤大樹, 松田冬彦, 2015年7月18日, バイオマスを用いる新規船底防汚剤の開発, 日本化学会北海道支部2015年夏季研究発表会, 函館, 口頭
- 高瀬舞, 小林健太, 松井計樹, 大谷文章, 2015年9月9日, 十面体形状アナタース型酸化チタンの調製と金属微粒子による表面修飾, 2015年光化学討論会, 大阪, 口頭
- 高瀬舞, 木村駿介, 大谷文章, 2015年5月12日, キラル分子修飾貴金属ナノコロイドの光物性と触媒反応, ナノ学会第13回大会, 仙台, 口頭
- 高瀬舞, 木村駿介, 大谷文章, 2015年6月25日, キラル分子修飾貴金属コロイドを利用するプロキラル化合物の接触還元, 第39回有機電子移動化学討論会, 長崎, 口頭
- 魚谷明日香, 大谷文章, 2015年6月27日, 粉末懸濁系光触媒反応によるL-リシンからピペコリン酸の合成, 第31回ライラックセミナー・第21回若手研究者交流会・産官学フォーラム講演会合同大会, 札幌/小樽, ポスター
- 齋藤夏実, 神谷裕一, 2016年1月19日, 酸素存在下においてもアナモックス類似反応に活性を示す担持金属触媒の探索, 化学系学協会北海道支部2016年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

13-4 受賞

環境起学専攻

- Sakti, S. C. W., Narita, Y., Tanaka, S., 2015年5月23日, 若手講演ポスター賞, 第75回分析化学討論会
- 今井悠, 三浦一輝, 渡辺のぞみ, 根岸淳二郎, 中村太士, 2015年9月10日, 最優秀口頭発表賞, 応用生態工学会第19回全国大会, 発表者の中で1件最優秀を選出
- 三浦一輝, 渡辺のぞみ, 根岸淳二郎, 2016年2月19日, 若手研究奨励賞, 日本生態学会北海道地区会大会, 若手発表者の中で3件優秀発表に対して奨励賞を選出

<平成26年度報告書以前の記載漏れ>

- 田中朱美, 2015年3月16日, 2015年度日本農業気象学会賞(奨励賞), 博士論文(2013年度)の内容を含む研究が評価された

地球圏科学専攻

- 吉田和広, 2015年7月31日, ベストポスタープレゼンテーションアワード, Croucher Summer Course "Climate Change and Marine Ecosystems"
- 坂崎貴俊, 2015年年10月29日, 日本気象学会2015年度山本賞, 研究業績: 対流圏・成層中間における

1 日周期潮汐波の力学

箕輪昌紘, 2015 年 9 月 17 日, 学生優秀発表賞ポスター発表部門優秀賞, 日本雪氷学会雪氷研究大会, 学会大会における若手対象の優秀発表賞

<平成 26 年度報告書以前の記載漏れ>

中田和輝, 2015 年 3 月 23 日, 若手ベストポスター賞, 2015 年度日本海洋学会春季大会

生物圏科学専攻

Kazila, E., 高津邦夫, 岸田治, 2016 年 2 月 19 日, 若手研究奨励賞, 日本生態学会北海道地区会大会, 若手発表者の中で 3 件優秀発表に対して奨励賞を選出

Mori, S., 2015 年 7 月 30 日, MSJ 優秀ポスター賞, Vth International Wildlife Management Congress (IWMC)

Nakamoto, A., 2015 年 7 月 30 日, MSJ 優秀ポスター賞, Vth International Wildlife Management Congress (IWMC)

ウタミ デスイ, 2015 年 6 月 2 日-7 日, ベストポスター賞, International Student Conference on Environment and Sustainability

鍵谷進乃介, 内海俊介, 2015 年 10 月 11 日, ポスター発表最優秀賞, 第 31 回個体群生態学会

佐橋玄記, 森田健太郎, 2016 年 2 月 19 日, 若手研究奨励賞, 日本生態学会北海道地区会大会, 若手発表者の中で 3 件優秀発表に対して奨励賞を選出

深野透, 伊藤知慧, 五味満裕, 大崎幸彦, 三輪京子, 森川正章, 2015 年 6 月 29 日-30 日, ポスター賞, 環境バイオテクノロジー学会 2015 年度大会

渡邊美穂, 2016 年 3 月 22 日, 平成 27 年度北海道大学大塚賞

渡邊美穂, 2016 年 3 月 2 日, 第 6 回日本学術振興会育志賞

内田健太, 2015 年 7 月 27 日-30 日, MSJ 最優秀ポスター賞, Vth International Wildlife Management Congress

富安信, 2015 年 5 月 25 日-28 日, Early career scientist award, The ICES Symposium on “Marine Ecosystem Acoustics (Some Acoustics)– observing the ocean interior in support of integrated management”

環境物質科学専攻

オールドニェス カルロス, 2015 年 11 月 12 日, 優秀ポスター発表賞, 第 5 回 CSJ 化学フェスタ 2015

岩崎光紘, 2015 年 8 月 29 日, 優秀ポスター賞, 2015 年度北海道高分子若手研究会

新田明央, 2015 年 10 月 15 日, 優秀ポスター発表賞, 第 5 回 CSJ 化学フェスタ 2015

新田明央, 2015 年 7 月 26 日, 優秀ポスター賞, 第 55 回オーロラセミナー

杉内瑞穂, 2015 年 11 月 12 日, 優秀ポスター発表賞, 第 5 回 CSJ 化学フェスタ 2015

泉舘広隆, 2015 年 8 月 29 日, 最優秀ポスター賞, 2015 年度北海道高分子若手研究会

竹内脩悟, 2015 年 10 月 15 日, 優秀ポスター発表賞, 第 5 回 CSJ 化学フェスタ 2015

竹内脩悟, 2015 年 9 月 3 日, Photocatalysis 1 Young Poster Award (優秀ポスター賞), First International Symposium on Recent Progress of Energy and Environmental Photocatalysis (Photocatalysis 1)

武藤毬佳, 2015 年 6 月 28 日, ポスター賞, 第 31 回ライラックセミナー・第 21 回若手研究者交流会・産

官学フォーラム講演会合同大会

堀晴菜, 2015年7月18日, 平成27年度夏季北海道支部優秀講演賞, 2015年日本化学会北海道支部夏季
研究発表会

矢嶋亮次, 2015年6月4日, ベストポスター賞, 第31回化学反応討論会

1 4 修了後の進路

1 4 - 1 博士後期課程修了者

平成27年度修了者（平成28年5月1日現在）

就職先別統計

学術研究 9, 教育・学習支援 2, 情報通信業 2, その他 1, 計 14

環境起学専攻

東海大学附属第四高等学校, ゴーガ, ウェザー・ニュース

地球圏科学専攻

Mawlana Bhashani Science and Technology University, 北大低温科学研究所, 北極域研究センター

生物圏化学専攻

琉球大学, 北海道立中央水産試験場, ミンダナオ州立大学, 北海道立総合研究機構, 北海道立総合研究機構栽培水産試験場

環境物質科学専攻

国立苫小牧工業高等専門学校, Cardiff Catalysis Institute, アルプスシステムインテグレーション

14-2 修士（博士前期）課程修了者

平成27年度（平成28年5月1日現在）

就職先別統計

博士後期課程進学（他大学院を含む） 14, 農業・林業 5, 漁業 1, 建設業 4, 製造業 22, 電気・ガス・熱・水道 4, 情報通信 7, 運輸・郵便 1, 卸売・小売 5, 学術研究 15, 宿泊業, 飲食サービス業 1, 生活関連サービス 2, 教育・学習支援 1, 医療・福祉 3, その他サービス 4, 公務員 5, その他 2, 計 96

環境起学専攻

札幌市, 北海道庁, シミック, 国土交通省北海道運輸局, 文一総合出版, 北日本貿易, アサヒ飲料, マルハニチロ, フィールズ, 東武トップツアーズ, 王子木材緑化, ホクレン肥料, 太平洋セメント, アトックス, フューチャーアーキテクト, 和光技研, パシフィックコンサルタンツ

地球圏科学専攻

東日本電信電話, アクセンチュア, アビームシステムズ, PLUS, ソフトコム, 北海道大学, 北海道教育委員会, マリン・ワーク・ジャパン, 青木松風庵グループ【青木松風庵/天平庵】, 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）, 富士通エフ・アイ・ピー

生物圏科学専攻

ユニ・チャーム, イーピーエス, プロスペリティ・ナーシングサービス, 札幌市役所, 医学生物学研究所（MBL）, 林野庁, 清水建設, 東海物産, ヴェオリア・ジャパン, ホクリヨウ, WDB, 北海道漁業協同組合連合会, 加森観光, DHC, 東日本高速道路, 海洋研究開発機構, 東京ガス, 講談社, 北海道電力, オルガノ, 環境テクニカルサービス, 水産庁, 兼松, BO-GA, 東京都庁, 海遊館, 浅虫水族館, TOTO ハイリビング, アラタナ, 日本森林技術協会, リンクイベントプロデュース, 伊藤園

環境物質科学専攻

電気化学工業, 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター, 住友化学, 大東化成工業, 日立化成, 日本データスキル, 日清食品, ブレイブソフト, テイ・エステック, ポラテクノ, 帝人, 日立化成, 三井化学東セロ, ニチレキ, ホクレン農業協同組合連合会, 東芝, パナソニック, 住友精化, 富士フイルムメディカル, 日産自動車, LIXIL

V 補 遺

15 規程

北海道大学大学院環境科学院規程

平成17年4月1日
海大達第49号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人北海道大学組織規則（平成16年海大達第31号）第27条の3第4項の規定に基づき、環境科学院（以下「本学院」という。）の教育課程等に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第1条の2 本学院は、自然科学に基礎をおき、地球規模の環境問題の解明と解決を目指す教育研究を行うとともに、これらの課題に取り組む研究者及び高度専門職業人の養成を目的とする。

第1章の2 専攻及び課程

(専攻)

第1条の3 本学院に、次の専攻を置く。

環境起学専攻
地球圏科学専攻
生物圏科学専攻
環境物質科学専攻

(課程)

第2条 本学院の課程は、博士課程とする。

第2章 入学、再入学、転学、所属変更及び転専攻

(入学)

第3条 本学院に入学することのできる者は、北海道大学大学院通則（昭和29年海大達第3号。以下「通則」という。）第4条第4項に規定する修士課程（以下「修士課程」という。）にあっては、通則第10条第1項各号のいずれかに、通則第4条第4項に規定する博士後期課程（以下「博士後期課程」という。）にあっては、通則第10条第2項各号のいずれかに該当する者とする。

2 前項に規定する者のうち、本学院の行う選考に合格した者については、教授会の議を経て、総長が入学を許可する。

(再入学及び転学)

第4条 通則第13条各号に該当する者が本学院に再入学又は転学を願い出た場合は、選考の上、教授会の議を経て、総長がこれを許可することがある。

(所属変更及び転専攻)

第4条の2 通則第13条の2第1号に該当する者が本学院に所属の変更を願い出た場合及び通則第13条の2第2号に該当する者が転専攻を願い出た場合は、選考の上、教授会の議を経て、学院長がこれを許可することがある。

第3章 授業科目、修了要件、履修方法及び試験

(授業科目及び単位)

第5条 各専攻の授業科目及び単位は、別表のとおりとする。

2 前項に規定する授業科目のほか、必要がある場合においては、教授会の議を経て、臨時の授業科目を設けることができる。

(単位数の計算の基準)

第5条の2 各授業科目の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実習については、45時間の授業をもって1単位とする。

(課程の修了要件)

第6条 修士課程の修了要件は、大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士課程の目的に応じ、本学院の行う修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 本学院において教育上有益と認めるときは、他の専攻、研究科、他の学院若しくは教育部の専攻又は学部の授業科目を指定して履修させ、修士課程の単位とすることができる。

3 本学院において教育上有益と認めるときは、北海道大学大学院理工系専門基礎科目規程（平成22年海大達第60号）に定める授業科目（以下この項及び次条において「理工系専門基礎科目」という。）のうち、別表に掲げる授業科目以外の理工系専門基礎科目を指定して履修させ、修士課程の単位とすることができる。

4 本学院において教育上有益と認めるときは、北海道大学大学院共通授業科目規程（平成12年海大達第24号）に定める授業科目（次条において「共通授業科目」という。）を指定して履修させ、修士課程の単位とすることができる。

第7条 博士課程の修了要件は、大学院に5年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学し、修士課程において30単位以上、博士後期課程において10単位以上をそれぞれ修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本学院の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に3年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

2 前条第1項ただし書の規定による在学期間をもって修士課程を修了した者の博士課程の修了の要件については、前項中「5年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）」とあるのは「修士課程における在学期間に3年を加えた期間」と、「3年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）」とあるのは「3年（修士課程における在学期間を含む。）」と読み替えて、前項の規定を適用する。

3 前2項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第156条の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士課程の後期3年の課程に入学した場合の博士課程の修了の要件は、大学院に3年以上在学し、10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本学院の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。

4 本学院において教育上有益と認めるときは、理工系専門基礎科目のうち、別表に掲げる授業科目以外の理工系専門基礎科目を指定して履修させ、第1項の規定により修得すべき単位とすることができる。

5 本学院において教育上有益と認めるときは、共通授業科目を指定して履修させ、第1項の規定により修得すべき単位とすることができる。

(長期履修)

第8条 本学院において、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、教授会の議を経て、その計画的な履修（以下「長期履修」という。）を認めることができる。

2 長期履修に関し通則第4条の2に定めるもののほか、本学院において必要な事項は、教授会の議を経て、学院長が別に定める。

(他大学の大学院等における履修等)

第9条 本学院において教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学生が他の大学の大学院の授業科目を履修し、又は外国の大学の大学院若しくは国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（次条において「国際連合大学」という。）において学修することを認めることができる。

2 前項の規定により学生が履修した授業科目について修得した単位又は学修の成果については、修士課程及び博士後期課程を通して10単位を超えない範囲において、教授会の議を経て第6条第1項又は

第7条の規定により修得すべき単位の一部とみなすことができる。

- 3 本学院において教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学生が他の大学の大学院若しくは研究所等又は外国の大学の大学院若しくは研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし、修士課程の学生について認める場合には、当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第10条 本学院において教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、新たに本学院に入学した学生が、本学院に入学する前に本学若しくは他の大学の大学院において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として履修した授業科目について修得した単位を含む。)又は外国の大学の大学院若しくは国際連合大学において学修した成果を、本学院に入学した後の本学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は、本学大学院において修得した単位以外のものについては、修士課程及び博士後期課程を通して10単位を超えない範囲において、第6条第1項又は第7条の規定のより修得すべき単位の一部とすることができる。

(履修方法)

第11条 授業科目の履修方法の細目については、教授会の議を経て、学院長が定める。

(試験)

第12条 各授業科目の試験(以下「科目試験」という。)は、当該授業科目の授業が終了した学期末に行う。ただし、やむを得ない事由があるときは、教授会の議を経て、臨時に実施することができる。

(成績の評価)

第13条 科目試験の成績は、秀、優、良、可及び不可の5種とし、秀、優、良及び可を合格とする。

(学位論文の提出期日)

第14条 修士課程及び博士課程の学位論文は、本学院の定める期日までに提出しなければならない。

第4章 課程修了の認定

(課程修了の認定)

第15条 修士課程及び博士課程の修了は、当該課程の修了要件を満たした者について、教授会の議を経て、総長がこれを認定する。

第5章 特別聴講学生、特別研究学生及び外国人留学生

(特別聴講学生)

第16条 本学院において特定の授業科目を履修し、単位を修得しようとする他の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生があるときは、教授会の議を経て、特別聴講学生としてこれを許可することができる。

- 2 特別聴講学生は、学期又は学年ごとに許可する。

- 3 特別聴講学生に係る試験及び成績の評価については、第12条及び第13条の規定を準用する。

(特別研究学生)

第17条 本学院において研究指導を受けようとする他の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生があるときは、教授会の議を経て、特別研究学生としてこれを許可することができる。

第18条 削除

(外国人留学生)

第19条 通則第47条の規定による外国人留学生の入学については、教授会の議を経て、総長がこれを許可することがある。

附 則

- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

- 2 北海道大学大学院通則の一部を改正する規則(平成17年海大達第45号)附則第2項に規定する地球環境科学研究科の地圏環境科学専攻、生態環境科学専攻、物質環境科学専攻又は大気海洋圏環境科学専攻に在学する者(以下「地球環境科学研究科在学者」という。)に係る教育課程の実施及び課程修了の認定は、同附則第4項の規定に基づき環境科学院が行うものとし、当該地球環境科学研究科在学者に係る教育課程、課程修了の要件その他教育に関し必要な事項は、環境科学院において別に定める。

- 3 北海道大学大学院地球環境科学研究科規程(平成5年海大達第15号)は、廃止する。

附 則(平成18年4月1日海大達第95号)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成19年4月1日海大達第140号）

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日に本学大学院に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年4月1日以降に在学者の属する年次に入学する者については、改正後の第13条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成19年12月26日海大達第285号）

この規程は、平成19年12月26日から施行する。

附 則（平成20年4月1日海大達第83号）

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日に本学大学院に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年4月1日以降に在学者の属する年次に入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成22年4月1日海大達第95号）

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成23年4月1日海大達第121号）

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成27年4月1日海大達第128号）

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日に本学大学院に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び同年4月1日以降に在学者の属する年次に入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表（第5条関係）

環境起学専攻

授業科目	単位	備考
修士課程 (必修科目)		修士課程の修了要件 必修科目12単位を含み、合計30単位 以上を修得すること。
環境起学論文講読Ⅰ	4	
環境起学特別研究Ⅰ (選択科目)	8	
環境科学基礎論	2	
国際環境保全学総論	2	
環境汚染比較特論	2	
地生態資源学特論	2	
気候変動影響特論	2	
自然環境学総論	2	
環境解析学総論	2	
生態解析学特論	2	
水循環学特論	2	
環境情報地理学特論	2	
水資源学特論	2	
流域環境学特論	2	
保全生態学特論	2	
環境保全学特論	2	
寒冷陸圏環境学特論	2	
環境解析法演習Ⅰ	2	
環境解析法演習Ⅱ	2	
山岳環境観測法実習	4	
統合自然環境調査法実習	2	
統合環境地理調査法実習	4	
環境適応学総論	2	
環境適応学特論	2	
環境計量学特論	2	
統合環境分析法実習	4	
実践環境科学総論Ⅰ	2	
実践環境科学総論Ⅱ	2	
実践環境科学特論	2	
実践環境科学演習Ⅰ	1	
実践環境科学演習Ⅱ	1	
実践環境科学実習Ⅰ	1	

実践環境科学実習Ⅱ	1	
実践環境科学インターンシップⅠ	2	
実践環境科学インターンシップⅡ	2	
国際科学コミュニケーション法特論	2	
環境起学特別講義Ⅰ	2	
環境起学特別講義Ⅱ	2	
環境起学特別講義Ⅲ	2	
環境科学英語ライティング特論	2	
博士後期課程 (必修科目)		
環境起学論文講読Ⅱ	4	
環境起学特別研究Ⅱ	8	

地球圏科学専攻

授業科目	単位	備考
修士課程 (必修科目)		修士課程の修了要件 必修科目12単位を含み、合計30単位 以上を修得すること。
地球圏科学論文講読Ⅰ	4	
地球圏科学特別研究Ⅰ (選択科目)	8	
古環境学基礎論	2	
地球雪氷学基礎論	2	
大気海洋物理学基礎論	2	
大気海洋化学基礎論	2	
古海洋学特論	2	
対流圏化学特論	2	
陸圏物質循環学特論	2	
古気候変動学特論	2	
大気圏化学特論	2	
化学海洋学特論	2	
海洋生物地球化学特論	2	
環境分析化学特論	2	
生物地球科学特論	2	
氷河・氷床学特論	2	
雪氷水文学特論	2	
寒冷圏気象・気候学特論	2	
理論雪氷学特論	2	
大気環境科学特論	2	
極域海洋学特論	2	

大気力学特論	2	
海洋力学特論	2	
気候変動特論	2	
気候モデリング特論	2	
地球流体力学特論	2	
大気海洋解析法特論	2	
遠隔情報学特論	2	
地球圏科学特別講義Ⅰ	2	
地球圏科学特別講義Ⅱ	2	
地球圏科学特別講義Ⅲ	2	
地球圏科学特別講義Ⅳ	2	
地球圏科学演習Ⅰ	4	
地球圏科学演習Ⅱ	4	
地球圏科学実習Ⅰ	4	
地球圏科学実習Ⅱ	4	
地球雪氷学実習Ⅰ	2	
地球雪氷学実習Ⅱ	2	
博士後期課程 (必修科目)		
地球圏科学論文講読Ⅱ	4	
地球圏科学特別研究Ⅱ	8	

生物圏科学専攻

授業科目	単位	備考
修士課程 (必修科目)		修士課程の修了要件 必修科目12単位を含み、合計30単位 以上を修得すること。
生物圏科学論文講読Ⅰ	4	
生物圏科学特別研究Ⅰ (選択科目)	8	
多様性生物学基礎論	2	
生態学基礎論	2	
分子生物学基礎論	2	
海洋生物環境学基礎論	2	
フィールド科学基礎論	2	
生物生産学基礎論	2	
多様性生物学特論Ⅰ	2	
多様性生物学特論Ⅱ	2	
生態遺伝学特論Ⅰ	2	
生態遺伝学特論Ⅱ	2	

環境分子生物学特論 I	2	
環境分子生物学特論 II	2	
植物生態学特論 I	2	
植物生態学特論 II	2	
動物生態学特論 I	2	
動物生態学特論 II	2	
海洋生物圏環境科学特論 I	2	
海洋生物圏環境科学特論 II	2	
水圏科学特論 I	2	
水圏科学特論 II	2	
森林圏科学特論 I	2	
森林圏科学特論 II	2	
森林圏科学特論 III	2	
森林圏科学特論 IV	2	
耕地圏科学特論 I	2	
耕地圏科学特論 II	2	
生物圏科学特別講義 I	2	
生物圏科学特別講義 II	2	
生物圏科学実習 I	4	
生物圏科学実習 II	4	
フィールド科学特別実習 I	1	
フィールド科学特別実習 II	1	
博士後期課程 (必修科目)		
生物圏科学論文講読 II	4	
生物圏科学特別研究 II	8	

環境物質科学専攻

授業科目	単位	備考
修士課程 (必修科目)		修士課程の修了要件
環境物質科学論文講読 I	4	必修科目18単位, 選択必修科目から8単位以上を含み, 合計30単位以上を修得すること。ただし, 環境物質科学実習 I 及び環境物質科学実習 II の単位は, 修了に必要な単位数に算入することができない。
環境物質科学特別研究 I	8	
環境物質科学基礎論 I	2	
環境物質科学基礎論 II	2	
環境物質科学基礎論 III	2	
(選択必修科目)		
分子環境学特論 I	2	
生体物質科学特論 I	2	

生体物質科学特論Ⅱ	2	
ナノ環境材料化学特論Ⅰ	2	
ナノ環境材料化学特論Ⅱ	2	
ナノ環境材料化学特論Ⅲ	2	
光電子科学特論Ⅰ	2	
光電子科学特論Ⅱ	2	
環境触媒化学特論Ⅰ	2	
環境触媒化学特論Ⅱ	2	
(選択科目)		
分子環境学特論Ⅱ	2	
分子環境学特論Ⅲ	2	
環境物質科学特別講義Ⅰ	1	
環境物質科学特別講義Ⅱ	1	
環境物質科学特別講義Ⅲ	1	
環境物質科学特別講義Ⅳ	1	
環境物質科学実習Ⅰ	4	
環境物質科学実習Ⅱ	4	
博士後期課程 (必修科目)		
環境物質科学論文講読Ⅱ	4	
環境物質科学特別研究Ⅱ	8	

環境科学院共通科目

授業科目	単位	備考
修士課程 (選択科目)		
環境科学総論	2	
国際環境科学実習Ⅰ	1	
国際環境科学実習Ⅱ	1	
国際環境科学研究Ⅰ	2	
国際環境科学研究Ⅱ	2	
博士後期課程 (選択科目)		
国際環境科学特別研究Ⅰ	2	
国際環境科学特別研究Ⅱ	2	
国際環境科学特別研究Ⅲ	2	

1.6 予算

年度	(単位：千円)
	運営費交付金
平成27年度	10,028

1.7 安全管理

実施項目	防災訓練
実施日	5月29日
実施内容：実際の避難経路を利用した避難訓練の実施，化学薬品吸着剤の取り扱い，排風機の取り扱い，AEDの使用方法，防火・防災に関するスライド上映	
実施項目	安全教育
実施時期	4月～5月
実施内容：「安全の手引き」，「安全の手引き DVD 版」，「化学薬品の取扱いについて」，「安全マニュアル 環境科学院」を活用して安全教育を各研究室等单位で実施	
実施項目	職場巡視
実施時期	10月～11月
実施内容：各研究室・実験室等における労働災害等を未然に防止するため，また省エネルギーの意識高揚を目的に，全ての実験室・居室等を対象に実施	

1 8 国際交流協定

部局間交流協定

	国名	機関名	締結日	備考
1	アメリカ合衆国	イリノイ大学大学院シカゴ校 UIC Graduate College, The University of Illinois at Chicago	平成5年7月14日	
2	インドネシア共和国	パランカラヤ大学 University of Palangka Raya	平成7年3月16日 (更新：平成15年11月21日)	※
3	英国 (UK)	ノッティンガム大学 University of Nottingham	平成8年2月9日 (廃止：平成14年2月6日)	
4	ネパール連邦民主共和国	トリブバン大学科学技術研究科 Tribhuvan University	平成9年10月17日 (更新：平成17年1月20日)	※
5	中華人民共和国	蘭州大学資源環境学院 School of Earth and Environmental Sciences, Lanzhou University	平成9年11月17日	※
6	マレーシア連邦	マレーシア・サバ大学科学技術研究科 School of Science and Technology, Universiti Malaysia Sabah	平成10年1月16日 (廃止：平成15年1月15日)	
7	中華民国 (台湾)	国立成功大学 National Cheng Kung University	平成22年9月2日	※
8	ドイツ連邦民主共和国	GEOMAR ヘルムホルツ キール海洋研究センター Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel	平成24年5月31日	
9	中華民国 (台湾)	国立東華大学 College of Environmental Studies, National Dong Hwa University	平成24年6月25日	
10	アメリカ合衆国	ユタ大学大学院・ナノ研究所 Graduate School/ Nano Institute of Utah, University of Utah	平成25年1月22日	
11	マレーシア連邦	マレーシア・サバ大学 熱帯生物保全研究所 Institute for Tropical Biology and Conservation, Universiti Malaysia Sabah	平成26年2月5日	
12	マレーシア連邦	マレーシア大学テレンガヌ校海洋科学・環境科学部 School of Marine Science and Environment, Universiti Malaysia Terengganu	平成26年9月19日	
13	ノルウェー王国	オスロ大学地球科学科 Department of Geosciences, University of Oslo	平成27年2月16日	
14	中華人民共和国	香港科技大学理学院 School of Science, The Hong Kong University of Science and Technology	平成27年12月28日	
15	アメリカ合衆国	カリフォルニア大学サンディエゴ校スクリプス海洋研究所 The Regents of the University of California on behalf of its San Diego campus's Scripps Institution of Oceanography	平成28年3月17日	

※：後日大学間交流締結

大学間交流協定

	国名	機関名	締結日	備考
1	大韓民国	ソウル大学校 Seoul National University	平成9年10月1日 (更新：平成14年10月1日, 平成19年10月1日)	
2	大韓民国	釜慶大学校 Pukyong National University	平成12年10月25日 (更新：平成17年10月25日, 平成22年10月25日)	
3	フィンランド共和国	オウル大学 University of Oulu	平成13年12月11日	
4	アメリカ合衆国	ハワイ大学マノア校 University of Hawaii at Manoa	平成15年6月30日	
5	中華人民共和国	南開大学 Nankai University	平成18年5月11日 (更新：平成23年5月11日)	
6	インドネシア共和国	パランカラヤ大学 University of Palangka Raya	平成18年8月26日 (更新：平成23年8月26日)	※
7	スイス連邦	スイス連邦工科大学 Swiss Federal Institute of Technology Zurich (ETH)	平成19年6月13日 (更新：平成23年6月13日)	※

	国名	機関名	締結日	備考
8	ロシア連邦	極東連邦大学 Far Eastern Federal University	平成19年11月12日	
9	オーストラリア連邦	タスマニア大学 University of Tasmania	平成21年1月9日	
10	ロシア連邦	ロシア科学アカデミー極東支部 Far Eastern Branch of Russian Academy of Sciences	平成21年7月23日	
11	ドイツ連邦民主共和国	ブレーメン大学 Universität Bremen	平成22年2月11日	
12	中華人民共和国	蘭州大学 Lanzhou University	平成22年4月9日	
13	ネパール連邦民主共和国	トリブバン大学 Tribhuvan University	平成22年10月24日	※
14	中華人民共和国	東南大学 Southeast University	平成22年10月29日	※
15	中華人民共和国	廈門大学 Xiamen University	平成22年11月25日	
16	中華人民共和国	中国海洋大学 Ocean University of China	平成23年2月3日	
17	中華人民共和国	西北農林科技大学 Northwest A&F University	平成23年10月13日	
18	中華民国（台湾）	国立中興大学 National Chung Hsing University	平成24年3月14日	
19	ロシア連邦	北東連邦大学 North-Eastern Federal University	平成24年4月2日	
20	大韓民国	成均館大学校 Sungkyunkwan University	平成24年12月27日	
21	中華民国（台湾）	国立成功大学 National Cheng Kung University	平成25年1月23日	
22	インドネシア共和国	バンドン工科大学 Institut Teknologi Bandung	平成26年3月20日	
23	フィリピン共和国	フィリピン大学 The University of The Philippines	平成26年7月16日	※

※：責任部局として参画

大学院環境科学院
年 次 報 告 書
平成 2 7 年度

平成 2 9 年 3 月 発行

発行者 北海道大学大学院環境科学院
〒060-0810
札幌市北区北 1 0 条西 5 丁目
TEL 011-706-2202
URL <http://www.ees.hokudai.ac.jp/>